



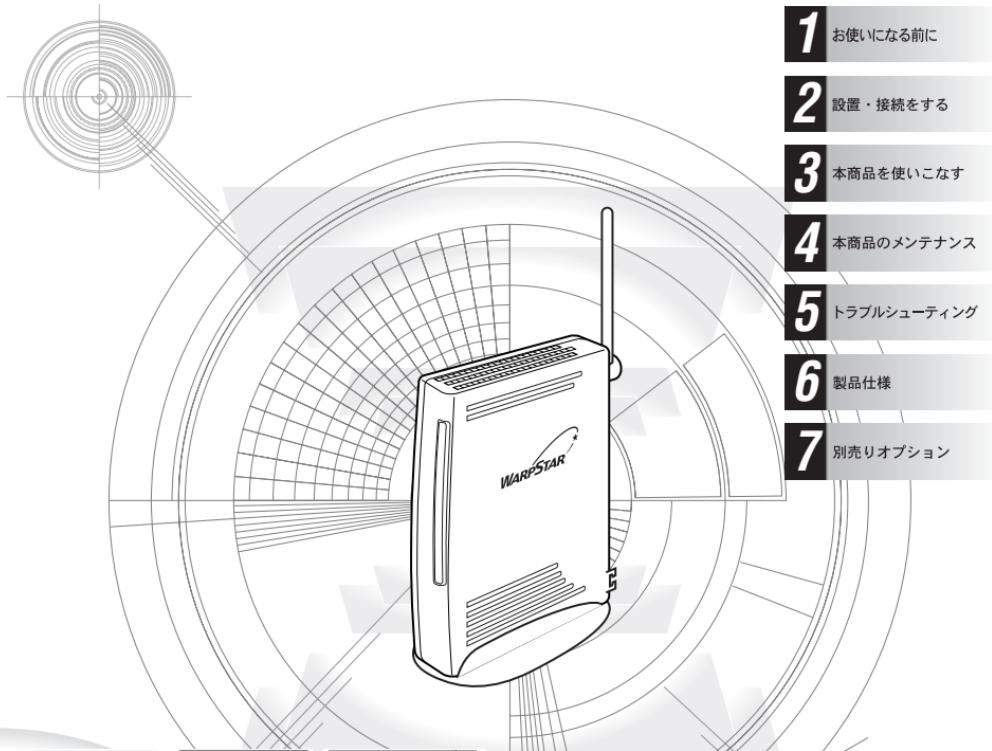
NEC

Aterm® WR7870S シリーズ

取扱説明書

[第1版]

- 1 使いになる前に
- 2 設置・接続をする
- 3 本商品を使いこなす
- 4 本商品のメンテナンス
- 5 トラブルシューティング
- 6 製品仕様
- 7 別売りオプション



*WL54SE2およびWL54SU2はXRに対応していません。

- ・本書をお読みになる前に別冊「つなぎかたガイド」をご覧ください。インターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
- ・「ソフトウェアのご使用条件」は、5ページに記載されています。添付CD-ROMを開封する前に必ずお読みください。

はじめに

この度はAterm WARPSTAR（エーターム ワープスター）シリーズをお買い上げいただきまことにありがとうございます。

Aterm WR7870S（以下、無線LANアクセスポイント（親機）と呼びます）は、IEEE802.11a（5GHz帯（W52/W53/W56））、IEEE802.11b（2.4GHz帯）、IEEE802.11g（2.4GHz帯）の無線LAN規格に準拠したワイヤレスブロードバンドルータです。

本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

■マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。



つなぎかたガイド(小冊子)

基本的な接続パターンを例にインターネットが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。



取扱説明書(本書)

本商品の基本機能についての説明書です。



機能詳細ガイド(HTMLファイル)

本書には記載されていない本商品のより詳細な機能について解説しています。

「機能詳細ガイド」はホームページに掲載されています。下記URLからご覧ください。

AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) より、[サポートデスク] - [機能詳細ガイド] を選択してください。



お知らせ

- 本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
WARPSTARベース	無線LANアクセスポイント（親機）
Aterm WR7870S	WR7870S（親機）
WARPSTARサテライト	無線LAN端末（子機）
Aterm WL54SC2	WL54SC2（無線LANカード）
Aterm WL54SE2	WL54SE2（イーサネットコンバータ）
Aterm WL54SU2	WL54SU2（無線USBスティック）

■電波に関する注意事項

- 本商品は IEEE802.11a 通信利用時は、5GHz 帯域の電波を使用しております。なお、5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を屋外で使用することは、電波法により禁じられています。
- IEEE802.11a で使用するチャネルは 36,40,44,48ch (W52) と 52,56,60,64ch (W53) と 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) です。無線 LAN アクセスポイント（親機）としては、従来の IEEE802.11a で使用の 34,38,42,46ch (J52) の装置と IEEE802.11a での通信はできません。

IEEE802.11b/g	W52 (5.2GHz 帯/36,40,44,48ch),
IEEE802.11a	W53 (5.3GHz 帯/52,56,60,64ch),
J52 W52 W53 W56	W56 (5.6GHz 帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) が利用できます。

無線 LAN 端末（子機）として利用する機器は、以下のマークがついたものを推奨します。

IEEE802.11b/g	J52 (5.2GHz 帯/34,38,42,46ch),
IEEE802.11a	W52 (5.2GHz 帯/36,40,44,48ch),
J52 W52 W53 W56	W53 (5.3GHz 帯/52,56,60,64ch), W56 (5.6GHz 帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch) が利用できます。

- W53 (52/56/60/64ch) または W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・ 各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 - ・ 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。
2.4GHz 帯使用の Bluetooth 機器との通信はできません。
- IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信利用時は、2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しており、干渉距離は 40m です。



2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線設備を示す
DS/OF:DS-SS 方式および OFDM 方式を示す
4 : 想定される干渉距離が 40m 以下であることを示す
■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

- (1) 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- (2) 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
- (3) その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。



Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vista is either a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

※本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、
Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ 32
ビット (x86) 版のみに対応しています。

※Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソ
コン、またはメーカーが Windows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートし
ています。自作のパソコンはサポートしておりません。

Windows®XP は、Microsoft®Windows®XP Home Edition operating system および
Microsoft®Windows®XP Professional operating system の略です。

Windows®2000 Professional は、Microsoft®Windows®2000 Professional operating
system の略です。

Windows® Me は、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system の略
です。

Windows® 98SE は、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Edition の
略です。

Mac、Macintosh は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。
AirMac は、米国および他の国々で登録された Apple Computer, Inc. の商標です。

Netscape® は、米国 Netscape Communications Corporation の登録商標です。

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または
登録商標です。

PLAYSTATION®、プレイステーションおよび PSP® は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。

ニンテンドーDS®、Wii® は、任天堂株式会社の商標または登録商標です。

JavaScript® は、米国 Sun Microsystems, Inc. の登録商標です。

Linux® は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Acrobat® Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国お
よびその他の国における登録商標または商標です。

Atheros™、ABG、Super AG、XR および Total 802.11 のロゴは Atheros Communications,
Inc. の商標であり、NEC アクセステクニカ株式会社は同社の許可に基づき、同社のために当該
商標を使用しています。

その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

© NEC Corporation 2007、© NEC AccessTechnica, Ltd. 2007

日本電気株式会社および NEC アクセステクニカ株式会社の許可なくソフトウェア、および取
扱説明書の全部または一部を複製・改版、および複製物を配布することはできません。

ソフトウェアのご使用条件

お客様へのお願い

添付の CD-ROM を開封される前に必ずお読みください。

このたびは、弊社 Aterm シリーズをお求めいただきありがとうございます。本商品に添付の CD-ROM には、弊社が提供する各種ユーティリティやドライバソフトウェアが含まれています。弊社が提供するソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについては、下記の「NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件」をご同意いただく必要があります。

添付の CD-ROM を開封された場合はご同意をいただけたものと致します。

NEC・NEC アクセステクニカが提供するソフトウェアのご使用条件

日本電気株式会社・NEC アクセステクニカ株式会社（以下「弊社」とします。）は、本使用条件とともに提供するソフトウェア製品（以下「許諾プログラム」とします。）を日本国内で使用する権利を、下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項にご同意いただくものとします。なお、お客様が期待された効果を得るために許諾プログラムの選択、許諾プログラムの導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 期間

- (1) 本ソフトウェアの使用条件は、お客様が添付 CD-ROM を開封されたときに発効します。
- (2) お客様は 1 ヶ月以上事前に、弊社宛に書面により通知することにより、いつでも本使用条件により許諾される許諾プログラムの使用権を終了させることができます。
- (3) 弊社は、お客様が本使用条件のいずれかの条項に違反されたときは、いつでも許諾プログラムの使用権を終了させることができるものとします。
- (4) 許諾プログラムの使用権は、上記 (2) または (3) により終了するまで有効に存続します。
- (5) 許諾プログラムの使用権が終了した場合には、本使用条件に基づくお客様のその他の権利も同時に終了するものとします。お客様は、許諾プログラムの使用権の終了後、ただちに許諾プログラムおよびそのすべての複製物を破棄するものとします。

2. 使用権

- (1) お客様は、許諾プログラムを一時に 1 台のコンピュータにおいてのみインストールし、使用することができます。ただし、複数のコンピュータ接続ポートを持つ Aterm シリーズに同数のコンピュータを一時に接続して使用になるお客様は、その接続ポート数までを限度としてコンピュータにインストールし、使用することができます。
- (2) お客様は、前項に定める条件に従い、日本国内においてのみ許諾プログラムを使用することができます。

3. 許諾プログラムの複製、改変、および結合

- (1) お客様は、滅失、毀損などに備える目的でのみ、許諾プログラムを一部に限り複製することができます。
- (2) お客様は、許諾プログラムのすべての複製物に許諾プログラムに付されている著作権表示およびその他の権利表示を付するものとします。

ソフトウェアのご使用条件

- (3) 本使用条件は、許諾プログラムに関する無体財産権をお客様に移転するものではありません。

4. 許諾プログラムの移転など

- (1) お客様は、貯蔵借、リースその他のいかなる方法によっても許諾プログラムの使用を第三者に許諾してはなりません。ただし、第三者が本使用条件に従うこと、ならびにお客様が保有する Aterm シリーズ、許諾プログラムおよびその他関連資料をすべて引き渡すことを条件に、お客様は、許諾プログラムの使用権を当該第三者に移転することができます。
- (2) お客様は、本使用条件で明示されている場合を除き許諾プログラムの使用、複製、改変、結合またはその他の処分をすることはできません。

5. 逆コンパイルなど

- (1) お客様は、許諾プログラムをリバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることはできません。

6. 保証の制限

- (1) 弊社は、許諾プログラムについていかなる保証も行いません。許諾プログラムに関し発生する問題は、お客様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。
- (2) 前項の規定に関わらず、お客様による本商品のご購入の日から 1 年以内に弊社が許諾プログラムの誤り（バグ）を修正したときは、弊社は、かかる誤りを修正したプログラムもしくは修正のためのプログラム（以下「修正プログラム」といいます。）または、かかる修正に関する情報をお客様に提供するものとします。ただし、当該修正プログラムまたは情報をおアフターサービスとして提供する決定を弊社がその裁量により為した場合に限ります。お客様に提供された修正プログラムは許諾プログラムと見なします。弊社では、弊社がその裁量により提供を決定した機能拡張のためのプログラムを提供する場合があります。このプログラムも許諾プログラムと見なします。
- (3) 許諾プログラムの記録媒体に物理的欠陥（ただし、許諾プログラムの使用に支障をきたすものに限ります。）があった場合において、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から 14 日以内にかかる日付を記した領収書（もしくはその写し）を添えて、お求めになった取扱店に許諾プログラムを返却されたときには弊社は当該記憶媒体を無償で交換するものとし（ただし、弊社が当該欠陥を自己の責によるものと認めた場合に限ります。）これをもって記録媒体に関する唯一の保証とします。

7. 責任の制限

- (1) 弊社はいかなる場合もお客様の逸失利益、特別な事情から生じた損害（損害発生につき弊社が予見し、また予見し得た場合を含みます。）および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害についていっさい責任を負いません。また弊社が損害賠償責任を負う場合には、弊社の損害賠償責任はその法律上の構成の如何を問わずお客様が実際にお支払いになった Aterm シリーズの代金額をもってその上限とします。

8. その他

- (1) お客様は、いかなる方法によっても許諾プログラムおよびその複製物を日本国外から輸出してはなりません。
- (2) 本契約に関する紛争は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所として解決するものとします。

以上

安全にお使いいただくために必ず お読みください

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

⚠ 警 告 : 人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意 : 人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い : 本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

⚠ 警 告

電源

- AC100Vの家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。火災、感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のACアダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
- 本商品のACアダプタ（電源プラグ）は、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。
- ACアダプタ（電源プラグ）は必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付のACアダプタ（電源プラグ）は、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

！警 告

- ACアダプタ（電源プラグ）に物をのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。
- 本商品添付のACアダプタ（電源プラグ）は日本国内AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。
- ACアダプタ（電源プラグ）は風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本商品を水や海水につけたり、ぬらさないでください。万一内部に水が入ったり、ぬらした場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。
- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先に修理をご依頼ください。
- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品のACアダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いて、別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

⚠ 警 告

禁止事項

- 本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。
- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因になることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本商品のそばに花びん、植木鉢、カップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
 - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
 - ・じゅうたんや布団の上に置く
 - ・テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、本商品を縦置きで使用する場合は、必ず添付のスタンドを使用して、本商品の両側は十分なスペースを確保してください。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。

⚠ 注意

電源

- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）はコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず AC アダプタ（電源プラグ）をもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の AC アダプタ（電源プラグ）とコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから抜いてください。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。
- 本商品（WR7870S、WL54SE2）のアンテナを誤って目に刺さないようにしてください。

その他のご注意事項

- 本商品は動作中に高温になる場合があります。本商品の移動や取り外しの際には、ご注意ください。

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
 - ・振動が多い場所
 - ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
 - ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
 - ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れことがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどを使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）と無線LAN端末（子機）の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。

STOP お願い

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 本商品を移動するときは、パソコンから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。
- WL54SU2 の USB コネクタを回転させるときやご使用中は、WL54SU2 に無理な力が加わらないようにしてください。故障や破損の原因となります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。

その他のご注意

- 通信中にパソコンの電源が切れたり、本商品を取り外したりすると通信ができなくなったり、データが壊れたりします。重要なデータは元データと照合してください。

無線 LAN に関する注意

- 最大 54Mbps（規格値）や最大 11Mbps（規格値）は、IEEE802.11 の無線 LAN 規格で定められたデータ転送クロックの最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）ではありません。
- 無線 LAN の伝送距離や伝送速度は壁や家具・什器などの周辺環境により大きく変動します。
- IEEE802.11a 通信の 5.2GHz、5.3GHz 帯域の電波を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。

無線 LAN 製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）特定の人物になりますして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解したうえで、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

目次

はじめに	2
ソフトウェアのご使用条件	5
安全にお使いいただくために必ずお読みください	7
目次	15
「機能詳細ガイド」目次	17
本商品に添付のCD-ROMについて	18
1 お使いになる前に	19
1-1 本商品でできること	19
1-2 箱の中身を確認しよう	27
1-3 各部の名前とはたらき	29
WR7870S（無線LANアクセスポイント（親機））	29
WL54SC2（無線LANカード）	31
WL54SU2（無線USBスティック）	32
WL54SE2（イーサネットコンバータ）	33
1-4 あらかじめ確認してください	35
回線契約とプロバイダの加入について	35
パソコンの準備	35
1-5 設定方法について	45
2 設置・接続をする	46
2-1 無線LANアクセスポイント（親機）を設置する	46
無線LANアクセスポイント（親機）の置き場所を決めよう	46
2-2 無線LAN端末（子機）を接続する	48
WL54SC2（無線LANカード）／WL54SU2（無線USBスティック）で 無線LAN接続する	48
WL54SE2（イーサネットコンバータ）で無線LAN接続する	59
2-3 無線LAN内蔵パソコンから接続する	67
らくらく無線スタートEXで設定する（Windows Vista™／ Windows® XP (Service Pack2以降) の場合のみ）	68
ワイヤレスネットワークの設定で設定する（Windows Vista™／ Windows® XPの場合）	74
2-4 無線LAN内蔵のゲーム機から接続する	84

目 次

3 本商品を使いこなす	85
3-1 クイック設定 Web の使い方	85
無線 LAN アクセスポイント（親機）の場合	85
WL54SE2（イーサネットコンバータ）の場合	87
3-2 セキュリティ対策をする	89
セキュリティ機能について	89
他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できないようにする	90
3-3 便利な機能	93
複数の接続先に接続する設定（PPPoE マルチセッション）	93
PPPoE ブリッジ機能	94
IPv6 ブリッジ機能	95
DMZ ホスティング	96
VPN パススルー	96
IP パケットフィルタリング	96
ポートマッピング	96
UPnP 機能	96
3-4 無線 LAN アクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）	97
無線 LAN アクセスポイントモード設定	98
3-5 他の無線 LAN 端末（子機）から接続する	102
4 本商品のメンテナンス	106
4-1 フームウェアやユーティリティをバージョンアップする	106
4-2 初期化	110
無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化する	110
WL54SE2（イーサネットコンバータ）を初期化する	112
5 トラブルシューティング	114
5-1 トラブルシューティング	114
設置に関するトラブル	114
ユーティリティに関するトラブル	126
ご利用開始後のトラブル	132
添付の CD-ROM に関するトラブル	135
6 製品仕様	136
6-1 製品仕様	136
WR7870S（親機）ハードウェア仕様	136
ETHERNET ポートインターフェース	137
WL54SC2（無線 LAN カード）仕様	138
WL54SU2（無線 USB スティック）仕様	139
WL54SE2（イーサネットコンバータ）仕様	140
7 別売りオプション	141
7-1 別売りオプション	141
索引	142

「機能詳細ガイド」目次

本商品の詳細な機能について説明した「**⑩機能詳細ガイド**」がホームページにて掲載されています。以下に記載されている項目を示します。

機能詳細ガイド : AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) より、[サポートデスク] - [機能詳細ガイド] を選択してください。

〈機能一覧〉

■ルータ機能■

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| ブロードバンドルータ機能 | アドバンスドNAT (IP マスカレード/NAPT) |
| ポートマッピング (アドバンスドNATオプション) | 静的NAT |
| 静的ルーティング | IP パケットフィルタリング |
| ダイナミックポートコントロール機能 | DHCP サーバ機能 |
| DNS フォワーディング | 不正アクセス検出機能 |
| 通信情報ログ (アクセスログ機能) | 無線LANアクセスポイントモード (ルータ機能を停止する) |
| UPnP 機能 | DMZ ホスティング機能 |
| RIP | |

■WAN側機能■

- | | |
|----------------|----------------|
| PPPoE ブリッジ | IPv6 ブリッジ |
| PPPoE マルチセッション | 複数固定IPサービス対応 |
| 無通信監視タイム | シングルユーザアクセスモード |
| VPN パススルー機能 | PPP キープアライブ |

■パソコンインターフェース■

100BASE-TX/10BASE-T スイッチングHUB (4 ポート)

■無線機能■

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| IEEE802.11a 無線LAN | IEEE802.11b 無線LAN |
| IEEE802.11g 無線LAN | Super AG |
| XR | 暗号化 |
| MACアドレスフィルタリング機能 | ネットワーク名 (SSID) によるセキュリティ機能 |
| ESS-ID ステルス機能 (SSIDの隠蔽) | 無線LAN中継機能 |
| アドホック通信 | オートチャネルセレクト |
| らくらく無線スタート機能 | らくらく無線スタートEX機能 |
| ストリーミングモード | |

■その他の機能■

- | | |
|----------------|------------------|
| 管理者パスワードの変更 | 時刻設定 |
| 通信確認 (疎通確認テスト) | 情報表示 (装置情報、状態表示) |
| ファームウェアの更新 | |

〈クイック設定 Web の使い方〉

〈無線機能の使い方〉

- 機能一覧 (無線)
- クイック設定 Web の使い方 (無線)
- ユーティリティの使い方
- 無線LAN端末 (子機) の使い方
- 無線セキュリティ

〈高度な使い方〉

- 外部にサーバを公開する
- ネットワーク対応アプリケーション
- ファイルとプリントの共有

〈お困りのときには〉

本商品に添付の CD-ROM について

添付の CD-ROM には下記内容のソフトウェアやファイルが収録されています。ご使用の際には、表示される「メニュー画面」をよくお読みください。

- ① 無線 LAN カード、無線 USB スティックの無線 LAN のセキュリティ設定や状態表示を行う「サテライトマネージャ」(Windows® 版)
- ② 無線 LAN カード、無線 USB スティック用のドライバー式 (Windows® 版)
- ③ 無線 LAN 内蔵パソコンから無線接続を行う「らくらく無線スタート EX」(Windows Vista™ および Windows® XP (Service Pack2 以降) のみ)

【ご使用上のご注意】

- Windows Vista™の場合、添付の CD-ROM をセットして [自動再生] 画面が表示されたら、[Menu.exe の実行] をクリックしてください。
- 添付の CD-ROM をセットしても「メニュー画面」が起動しない場合は、以下の操作を行います。
 - ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) をクリックし、[すべてのプログラム] – [アクセサリ] – [ファイル名を指定して実行] を選択する
※Windows® XP/2000 Professional の場合は、[スタート] をクリックし、[ファイル名を指定して実行] を選択する
 - ② 名前の欄に、CD-ROM ドライブ名と ¥menu.exe と入力し、[OK] をクリックする
(例：CD-ROM ドライブ名が Q の場合、Q : ¥menu.exe)
また、パソコンにより異なりますが、自動起動しないようにするには、P135 を参照してください。
- CD-ROM をパソコンから取り出す時は、「メニュー画面」を閉じたあとに行ってください。
- Windows Vista™ および Windows® XP/2000 Professional でサテライトマネージャ、ドライバのアンインストールを実行する場合は、Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。
- 「メニュー画面」とサテライトマネージャの画面がお互いの画面の背面に隠れて消えてしまった場合には、Alt キーを押しながら、Tab キーを押すことで画面を切り替えることができます。

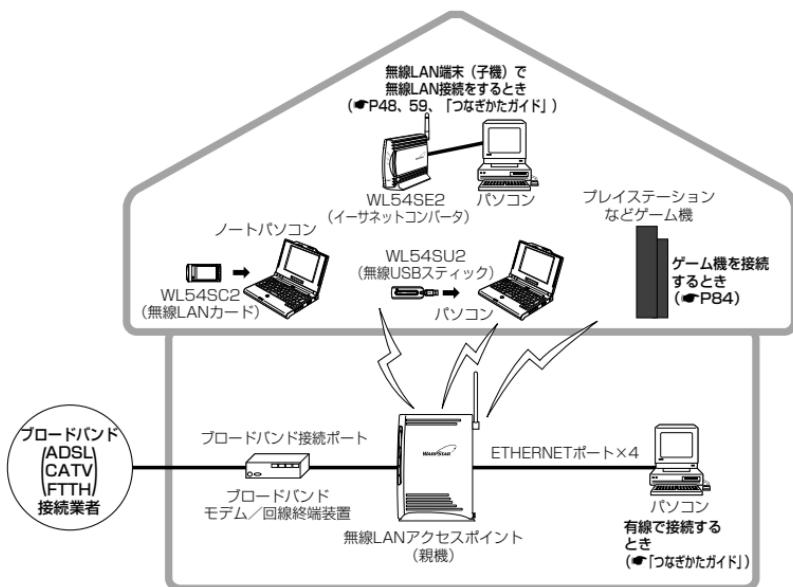
■ CD-ROM の動作環境

- Windows Vista™ または Windows® XP/2000 Professional が正しく動作し、CD-ROM ドライブが使用できること。
- 推奨環境
 - ・ Windows® の推奨環境以上のパーソナルコンピュータ
 - ・ ハードディスク容量：40MB 以上を推奨
 - ・ メモリ容量：Windows Vista™ の場合、512MB 以上を推奨
Windows® XP/2000 Professional の場合、256MB 以上を推奨
 - ・ 800 × 600 High-Color 以上表示可能なビデオカードを備えたパソコンと、同解像度以上に対応したカラーモニタ
上記以外でも設定できますが、画像にモアレ模様や色ずれが発生する場合があります。

※本商品の対応 OS については、P36 を参照してください。

1-1 本商品でできること

本商品は、外付け ADSL モデム／CATV ケーブルモデム／FTTH 回線終端装置を接続してインターネットを利用できるブロードバンドルータです。



インターネットに接続するまでの接続、設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

本商品では、さらに本書の「3 本商品を使いこなす」およびホームページに掲載されている「 機能詳細ガイド」で記載している機能をご利用になることができます。設定方法については、それぞれの参考先をご覧ください。



お知らせ

- 本書では、機器名称を次のように呼びます。

機器名称	本文中で使用している名称
ADSL モデム、CATV ケーブルモデム	ブロードバンドモデム
FTTH 回線終端装置	回線終端装置

1-1 本商品でできること

■ 無線 LAN 通信

- IEEE802.11a (5GHz 帯)、IEEE802.11b (2.4GHz 帯)、IEEE802.11g (2.4GHz 帯) に準拠した無線 LAN 端末（子機）と無線通信を行うことができます。

※無線で届く範囲は、環境によって異なります。

- IEEE802.11a 通信で W52 帯、W53 帯、W56 帯対応

本商品は IEEE802.11a 通信で 5GHz 帯 (W52/W53/W56) に対応しており、5GHz 帯で 19 チャネルがご利用になれます。

タイプ	チャネル	周波数帯域
J52	34, 38, 42, 46ch	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz)
W52	36, 40, 44, 48ch	5.2GHz 帯 (5150-5250MHz)
W53	52, 56, 60, 64ch	5.3GHz 帯 (5250-5350MHz)
W56	100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch	5.6GHz 帯 (5470-5725MHz)

ただし、W52 帯、W53 帯、W56 帯をご利用になるには、ご利用の無線 LAN 端末（子機）が W52 帯、W53 帯、W56 帯に対応している必要があります。

従来の J52 帯を使用する無線 LAN 端末（子機）とは通信できません。

以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

バージョンアップ対応機種などの最新情報は、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

無線 LAN 端末（子機）	IEEE802.11a (J52) 対応 無線 LAN 端末（子機）	WL54SC2/WL54SU2/ WL54SE2 (J52/W52/W53/W56)
WR7870S IEEE802.11a (W52/W53/W56) 対応 無線 LAN アクセスポイント（親機）	×	◎
IEEE802.11a (J52) 対応 無線 LAN アクセスポイント（親機）	△	△
IEEE802.11a (W52/W53) 対応 無線 LAN アクセスポイント（親機）	×	○

◎：W52 帯 (5150-5250MHz)、W53 帯 (5250-5350MHz)、W56 帯 (5470-5725MHz) を使用して、最大 19 チャネルから選択が可能です。

○：W52 帯 (5150-5250MHz)、W53 帯 (5250-5350MHz) を使用して、最大 8 チャネルから選択が可能です。

△：J52 帯 (5150-5250MHz) を使用して、最大 4 チャネルから選択が可能です。

×：利用不可。

■ 無線 LAN 通信

- WR7870S（親機）では、IEEE802.11a（5GHz）通信、IEEE802.11b または IEEE802.11g（2.4GHz）通信を同時に利用できます。

2台の無線 LAN 端末（子機）で、5GHz（IEEE802.11a）と 2.4GHz（IEEE802.11b または IEEE802.11g）のそれぞれの無線通信モードを占有して無線通信をしたり、電波状態の良い無線通信モードで通信することができます。

それぞれの無線通信モードごとに電波出力、ネットワーク名（SSID）、暗号化キー、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）、MAC アドレスフィルタリングの設定をすることができます。（ただし、それぞれの無線通信モードで同じネットワーク名（SSID）を設定している場合は、暗号化モードや暗号化キーも同じにしてください。）

※「らくらく無線スタート」で設定する無線 LAN 設定は、本商品の初期値では、2.4GHz モードです。5GHz モードの無線 LAN 設定を行う場合は、クリック設定 Web の【無線 LAN 設定】 - 【無線 LAN 基本設定】でらくらく無線スタート動作モードを変更して設定する（☞機能詳細ガイド）か、サテライトマネージャ、クリック設定 Web で設定してください。（☞P53、62）

● 無線 LAN 内のセキュリティ対策

他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続されるのを防いだり、無線通信を暗号化して、通信の傍受を防ぎます。（☞P89）

無線通信が外から覗かれたり、無線 LAN アクセスポイント（親機）に他の無線 LAN 端末（子機）が無断で接続されるのを防ぐためセキュリティ対策をお勧めします。



(次ページに続く)

■ 無線 LAN 通信

● 無線 LAN 端末（子機）を増設する（ P102）

無線 LAN 端末（子機）として別売りの次の機器を増設できます。

IEEE802.11a 通信：WL54SC2/WL54SC/WL300NC/WL54SU2/WL54SU/
WL54SE2/WL54SE

IEEE802.11b 通信：WL54SC2/WL54SC/WL54AG/WL300NC/WL130NC/
WL54SU2/WL54SU/WL54TU/WL54SE2/WL54SE/
WL54TE/WL11CB/WL11CA/WL11C2/WL11C/
WL11U/WL11U (W) /WL11E2

IEEE802.11g 通信：WL54SC2/WL54SC/WL54AG/WL300NC/WL130NC/
WL54SU2/WL54SU/WL54TU/WL54SE2/WL54SE/
WL54TE

※WL54AG-SD、WL54AG (S) は WL54AG に含まれます。

※接続する無線 LAN 端末（子機）によって通信速度が異なります。

※WL11C/WL11U/WL11U (W) を接続する場合、親機の無線 LAN 暗号化設定を WEP64bit に変更する必要があります。

※WL11E2 を接続する場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線 LAN 暗号化設定は、WEP128bit 16進に設定を変更する必要があります。

※無線 LAN 端末（子機）の対応 OS については、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

また、無線 LAN アクセスポイント（親機）が使用している通信規格と同じ通信規格の無線 LAN 内蔵パソコンを増設できます。（パソコンの機種により、機能制限があり、接続できない場合があります。）

無線 LAN は、10 台以下でのご使用をお勧めします。

※ IEEE802.11a (J52 のみ) 対応の無線 LAN 端末（子機）や無線 LAN 内蔵パソコンでは使用する周波数帯／チャネルが異なるため、IEEE802.11a での通信はご利用になれません。IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信をご利用ください。
IEEE802.11a (J52) に対応した Aterm シリーズ無線 LAN 端末（子機）のバージョンアップ対応など最新情報は、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

● 無線 LAN 端末（子機）どうしで通信する（アドホック通信）（ 機能詳細ガイド）

無線 LAN アクセスポイント（親機）を経由しないで、無線 LAN 端末（子機）どうしでデータ通信ができます。

※ IEEE802.11a、IEEE802.11b 通信のみです。IEEE802.11g 通信では、アドホック通信（アドホックモード）はご利用になれません。

※ WL54SE2 では、アドホック通信（アドホックモード）はご利用になれません。

■セキュリティ対策をする (☞P89)

ブロードバンド回線側からの不正なアクセスについてセキュリティ対策をすることができます。(☞機能詳細ガイド)

- ・IPパケットフィルタリング
- ・アドバンスドNAT (IPマスクレード/NAPT)
- ・不正アクセス検出機能
- ・ダイナミックポートコントロール機能

■オートチャネルセレクト

本商品の起動時に、周囲にあるアクセスポイントを検出し、2.4GHz帯および5GHz帯のそれぞれで電波状態の良いチャネルを自動選択します。

工場出荷状態では5GHz帯はW52のみサーチするに設定されています。

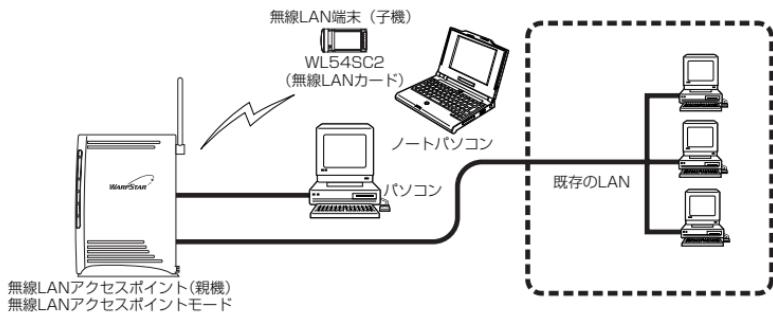
クリック設定Webで設定することにより、W53、W56もサーチ対象帯域に加え、最大19チャネルから自動選択させることも可能です。

※無線ネットワーク内にW53、W56が利用できない無線LAN端末がある場合は、サーチ対象帯域にW53、W56を加えないようにご注意ください。

■本商品を無線LANアクセスポイントとして使う (☞P97)

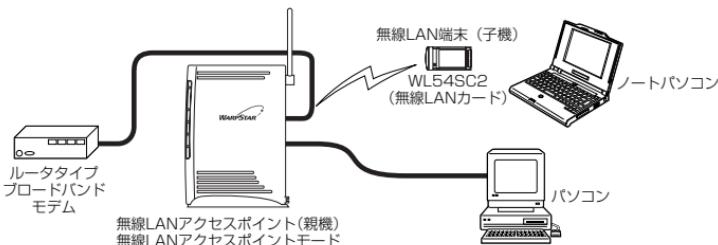
●既存LANに接続する場合

既存LANに有線・無線で接続する場合に、本商品のルータ機能を停止してハブや無線LANアクセスポイントとして使用することができます。



●ルータに接続する場合

ルータタイプのブロードバンドモ뎀に接続するときには、本商品のルータ機能を停止してアクセスポイントモードで接続します。



1-1 本商品でできること

■ ゲーム機を接続する (☞P84)

“PlayStation® 2” および “PlayStation® 3” などネットワークゲーム機を接続することができます。

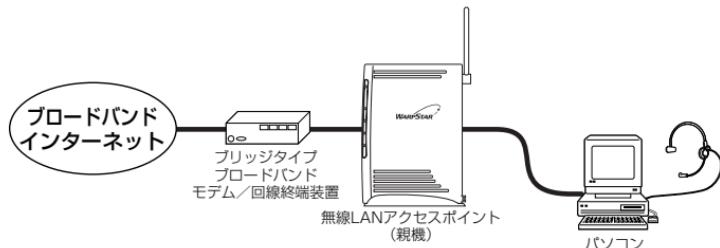
使用するゲーム機やゲームソフトが PPPoE での通信を前提としている場合は、PPPoE ブリッジ機能 (☞P94) で接続できます。(※使用する回線が PPPoE 接続方式の場合のみ)

■ パソコンのネットワークゲームや TV 電話を利用する

次の機能を利用して、ネットワークゲームをすることができます。

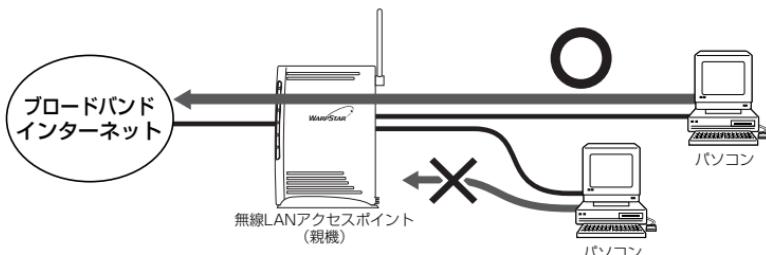
- ・ポートマッピングの設定 (☞P96)
- ・PPPoE ブリッジ機能 (☞P94)
- ・IPv6 ブリッジ機能 (☞P95)
- ・シングルユーザアクセスモード (☞機能詳細ガイド)

また、UPnP 機能を使用して Windows Vista™ の “Windows Live Messenger”、Windows® XP の “Windows Messenger” サービスなどで TV 電話などの機能をご利用になります。(☞P96)



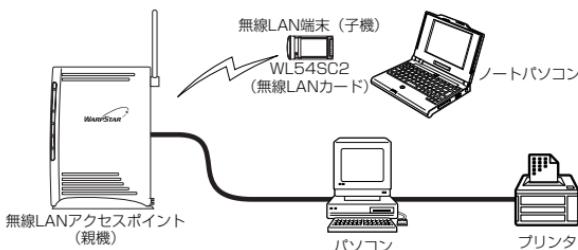
● シングルユーザアクセスモード (☞機能詳細ガイド)

ゲームなどのアプリケーションを利用する場合などに、一時的に 1 台のパソコンでインターネット接続を占有できます。



■ ファイルやプリンタを他のパソコンと共有する

(④機能詳細ガイド)



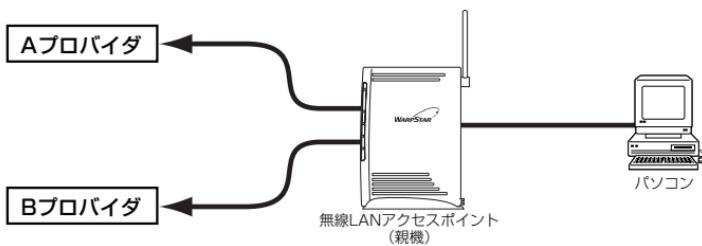
※本商品の機能ではありません。Windows® の共有機能の設定になります。

■ インターネットの通信を切断する

- ・ クイック設定 Web の【情報】 - 【現在の状態】で切断できます。(④機能詳細ガイド)
- ・ 無通信監視タイマ (④機能詳細ガイド)

■ 複数のアクセス先（プロバイダ）を設定する

クイック設定 Web で複数の接続先を登録できます。



● PPPoE マルチセッション (●P93)

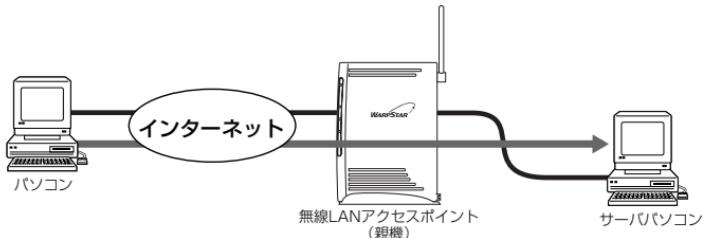
1つの回線契約で複数（最大3セッション）の接続先へ同時に接続を行うことができます。

※ご利用の接続事業者やプロバイダとの契約内容で、マルチセッション接続が許可されている必要があります。

同時に接続できるセッション数は契約内容により異なりますので、ご利用の接続事業者やプロバイダにご確認ください。

■ SOHO で使用するときに便利な機能

- ホームページを公開するなど、外部にサーバを公開する
(機能詳細ガイド)
ポートマッピング（アドバンスドNATオプション）、DMZホスティング機能を利用して外部にサーバを公開できます。



- 複数のグローバル固定IPアドレスを付与するサービスを利用する (PPPoE接続利用時のみ)
(複数固定IPサービス対応) (機能詳細ガイド)
- 会社のネットワークに自宅から接続するなどVPNに接続する
(VPN (PPTP/IPsec) パススルー機能) (機能詳細ガイド)
VPN (Virtual Private Network : 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。
※ご利用には設定が必要です。設定方法は機能詳細ガイドを参照してください。

■ 知っておくと便利な機能 無線LANアクセスポイント (親機)

- バージョンアップする (P106)
各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、新しい機能を追加したり、場合によっては動作を改善します。
- 設定を保存する (機能詳細ガイド)
クイック設定 Web で、現在の設定内容を保存できます。無線 LAN アクセスポイント (親機) を初期化した場合に、保存済みのバックアップファイルから無線 LAN アクセスポイント (親機) に設定内容を復元することができます。
- 初期化する (P110)
設定内容を工場出荷の状態に戻します。
うまく動作しない場合や、もう一度初めから設定したいときにお使いいただけます。

1-2 箱の中身を確認しよう

設置を始める前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがある場合は、別紙に示すお問い合わせ先にお問い合わせください。

● 構成品

- WR7870S
無線LANアクセスポイント
(親機)



- WR7870S用
スタンド



- ETHERNETケーブル
(ストレート)



イーサネットコンバータセットには2本添付されています。
ワイヤレスカードセット、
USBスティックセット、
WR7870S単体モデルには1
本添付されています。

- 取扱説明書(本書)



- つなぎかたガイド



- CD-ROM
(ユーティリティ集)



- 保証書
(取扱説明書に含む)

1-2 箱の中身を確認しよう

WL54SC2 無線 LAN カード



ワイヤレスカードセットにのみ添付されています。

WL54SU2 無線 USB スティック



USB スティックセットにのみ添付されています。

WL54SE2 イーサネットコンバータ



イーサネットコンバータセットにのみ添付されています。

セットの場合にはいずれかが添付されています

WL54SE2 用縦置き スタンド



WL54SE2 用 ラバーシート



WL54SE2 用 AC アダプタ

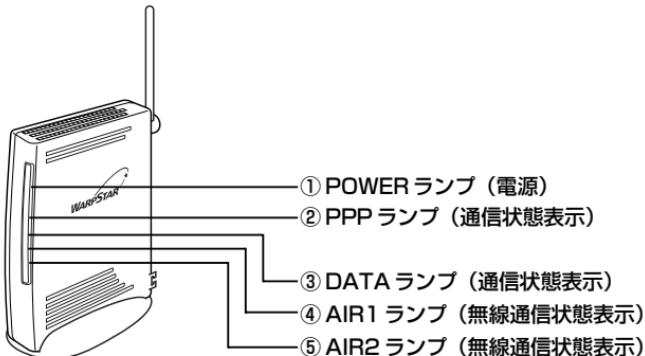


※「WL54SE 専用アダプタ」と記載されています。

※AC アダプタの形状は変更になる場合があります。

WR7870S（無線 LAN アクセスポイント（親機））

● 前面図

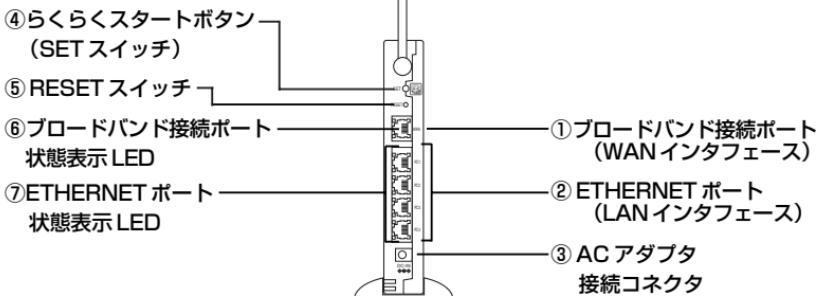


【ランプ表示】

ランプの種類	ランプの色(つきかた)	本商品の状態
① POWER ランプ (電源)	緑（点灯）	電源が入っているとき
	橙（点灯）	ファームウェアをバージョンアップしているとき、またはらくらく無線スタートの設定が完了したとき
	緑（点滅）／ 橙（点滅）	らくらく無線スタートで設定をしているとき (➡「つなぎかたガイド」)
	赤（点滅）	初期化準備状態のとき
	赤（点灯）	らくらく無線スタートの設定が失敗したとき
② PPP ランプ (通信状態表示)	緑（点灯）	PPPoE 接続で PPP リンクが確立しているとき
	緑（遅い点滅）	動作モードが PPPoE モードの場合に PPP 認証が失敗したとき（1秒間隔）(➡P120)
	緑（速い点滅）	動作モードが PPPoE モードの場合に相手から応答がないとき (➡P120)
	橙（点灯）	動作モードが無線 LAN アクセスポイントモードのとき
	消灯	動作モードがルータモード（ローカルルータモード）のとき、または PPP 未接続のとき
③ DATA ランプ (通信状態表示)	緑（点滅）	ETHERNET ポートに接続された機器が無線 LAN アクセスポイント（親機）とデータの送受信をしているとき または無線で接続された機器が WAN 側とデータの送受信をしているとき
④ AIR1 ランプ (無線通信状態表示)	緑（点灯）	2.4GHz モードで通信可能なとき
	緑（点滅）	2.4GHz モードでデータ送受信中
⑤ AIR2 ランプ (無線通信状態表示)	緑（点灯）	5GHz モードで通信可能なとき
	緑（点滅）	5GHz モードでデータ送受信中
	赤（点滅）	5GHz モードで W53、W56 を設定した場合、または設定されている状態で電源を入れた場合に干渉する電波（レーダー波）がないか検出しているとき

1-3 各部の名前とはたらき

● 背面図



名 称	説 明		
①ブロードバンド接続ポート (WANインターフェース)	ブロードバンドモデム／回線終端装置との接続に使用します。		
②ETHERNET ポート (LANインターフェース)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。		
③ACアダプタ接続コネクタ	WR7870S用ACアダプタを接続します。		
④らくらくスタートボタン (SETスイッチ)	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。(☞「つなぎかたガイド」) 無線 LAN アクセスポイントモードに設定するときに使用します。 (☞P97)		
⑤RESETスイッチ	初期化するときに使用します。(☞P111)		
⑥ブロードバンド接続ポート状態表示LED	緑 点灯	ブロードバンドモデムが接続され、100Mbpsでリンクが確立しているとき	
	点滅	ブロードバンドモデムと100Mbpsでデータ送受信中	
	赤 点灯	ブロードバンドモデムが接続され、10Mbpsでリンクが確立しているとき	
	点滅	ブロードバンドモデムと10Mbpsでデータ送受信中	
⑦ETHERNET ポート 状態表示LED	緑 点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、100Mbpsでリンクが確立しているとき	
	点滅	パソコンまたはゲーム機などと100Mbpsでデータ送受信中	
	赤 点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、10Mbpsでリンクが確立しているとき	
	点滅	パソコンまたはゲーム機などと10Mbpsでデータ送受信中	

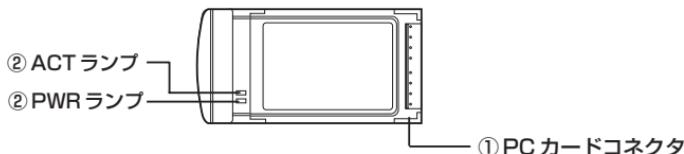


お知らせ

- ブロードバンド接続ポートは、ストレート、クロスタイプのETHERNETケーブルを自動認識できます。(Auto MDI-X 対応)
- PPPoE の外付けブロードバンドモデルを使用するとき、ブロードバンドモデルに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に1台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデルに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定してください。

WL54SC2（無線 LAN カード）

ワイヤレスカードセットにのみ添付されています。



①PC カードコネクタ

パソコンの PC カードスロットに差し込みます。

(注) ドライバのインストール時は、ユーティリティで指示があるまでは差し込まないでください。

②PWR ランプ（電源）／ACT ランプ（通信表示）

【ランプ表示】

PWR ランプ、ACT ランプのつきかた	WL54SC2（無線 LAN カード）の状態
2 つのランプが同時に青点滅	通信中 (通信量により点滅速度が変化します)
2 つのランプが同時に遅く青点滅	通信待機中 (通信可能状態ですが、データ送受信が行われていません)
2 つのランプが交互に遅く青点滅	無線 LAN アクセスポイント（親機）をサーチ中（無線接続が確立されていません）
PWR ランプのみ青点滅 (ACT ランプ消灯)	電源が入っていないとき (無線接続設定がされていないとき、またはドライバ無効の状態)

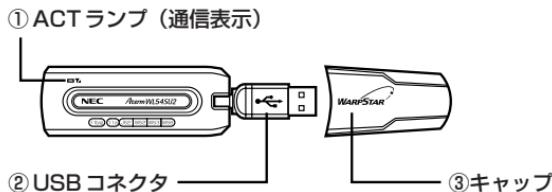


- PC カードコネクタには手を触れないでください。故障の原因となります。
- WL54SC2（無線 LAN カード）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernet ポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1 台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは 1 つだけにしてください。
- WL54SC2（無線 LAN カード）は、無線 LAN 端末（子機）専用です。無線 LAN アクセスポイント（親機）に装着してご使用になることはできません。

1-3 各部の名前とはたらき

WL54SU2（無線USBスティック）

USBスティックセットにのみ添付されています。



① ACTランプ

通信可能状態および、データ通信中に青色で点滅します。

② USBコネクタ

パソコンのUSBポートに差し込み接続します。

③ キャップ

使用するときは、キャップを外してください。

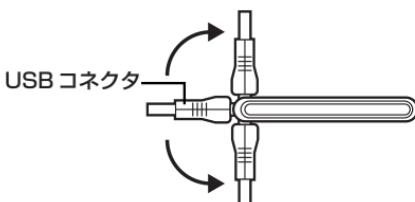
● お願い

- WL54SU2（無線USBスティック）を同じパソコンに複数同時に使用することはできません。また、他のネットワークデバイス（Ethernetポートデバイスなど）とも同時に使用することはできませんので、1台のパソコンに対して使用するネットワークデバイスは1つだけにしてください。



お知らせ

- USBコネクタは、下図のように折り曲げたり、回転して使用できます。
- 回転させるときは、無理な方向に力を加えないようにしてください。故障や破損の原因となります。

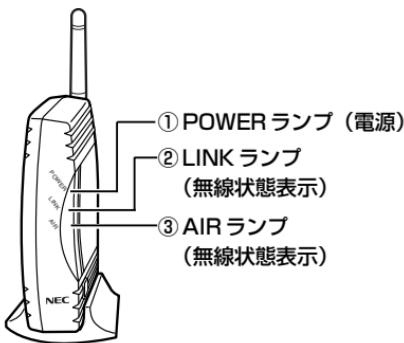


USBコネクタ

WL54SE2（イーサネットコンバータ）

イーサネットコンバータセットにのみ添付されています。

● 前面図

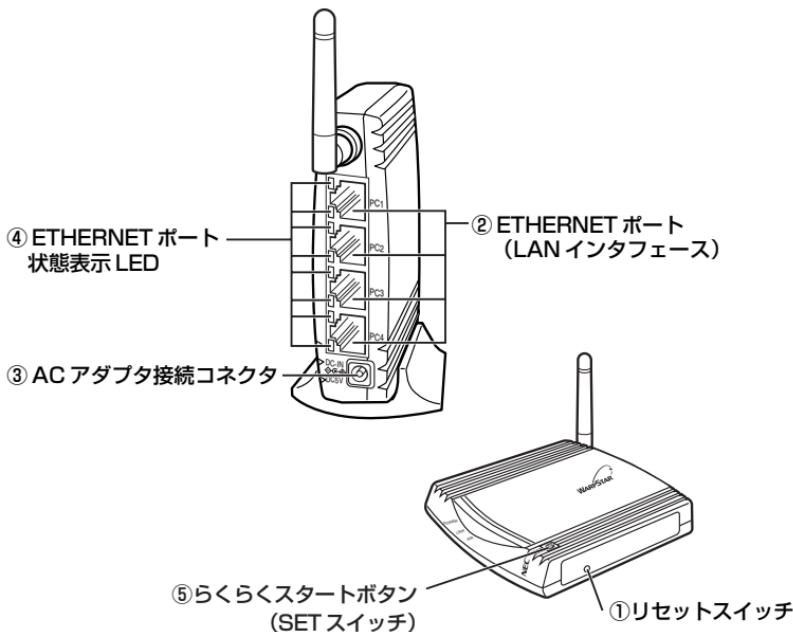


【ランプ表示】

ランプの種類	点灯状態		WL54SE2（イーサネットコンバータ）の状態
① POWER ランプ (電源)	緑	点灯	電源が入っているとき
		点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき (●「つなぎかたガイド」)
	橙	点灯	ファームウェアをバージョンアップしているとき、または らくらく無線スタートの設定が完了したとき
		点滅	らくらく無線スタートで設定をしているとき (●「つなぎかたガイド」)
	赤	点灯	らくらく無線スタートの設定が失敗したとき
		点滅	初期化準備状態のとき
消灯		電源が入っていないとき	
② LINK ランプ (無線状態表示)	緑	点灯	IEEE802.11b, IEEE802.11g 通信で無線アクセスポイント（親機）とのリンクが確立しているとき
	橙	点灯	IEEE802.11a 通信で無線アクセスポイント（親機）との リンクが確立しているとき
	消灯		無線 LAN アクセスポイント（親機）とのリンクが確立さ れていないとき
③ AIR ランプ (無線状態表示)	緑	点滅	無線 LAN でデータ送受信中
	赤	点滅	WL54SE2 の DHCP サーバが動作しているとき
	消灯		無線 LAN でデータ送受信がないとき

1-3 各部の名前とはたらき

●背面図／底面図



名称	説明		
①リセットスイッチ (RESET)	初期化するときに使用します。		
②ETHERNET ポート (PC1～PC4)	パソコンまたはゲーム機などと接続します。		
③AC アダプタ接続 コネクタ	添付のWL54SE2用ACアダプタを接続します。		
④ETHERNET ポート 状態表示 LED	緑	点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、100Mbpsでリンクが確立しているとき
		点滅	パソコンまたはゲーム機などと100Mbpsでデータ送受信中
	赤	点灯	パソコンまたはゲーム機などが接続され、10Mbpsでリンクが確立しているとき
		点滅	パソコンまたはゲーム機などと10Mbpsでデータ送受信中
⑤らくらくスタートボタン (SETスイッチ)	らくらく無線スタートで設定するときに使用します。(☞「つなぎかたガイド」) クイック設定Webで設定を行う際、DHCPサーバ機能を動作させるときに使用します。(☞P62)		

本商品を接続する前に次のことを確認しておきましょう。

回線契約とプロバイダの加入について

本商品をお使いの前にあらかじめ回線契約とプロバイダの契約を済ませ、ブロードバンド回線が開通していることを確認してください。

本商品の設定に必要な情報（接続ユーザー名／接続パスワード、IP アドレス）を契約時に入手した接続情報の書類で確認してください。

※ 接続できるサービスについては、ホームページ AtermStation の「サポートデスク」 - 「動作検証情報」にある「接続確認済ブロードバンド事業者リスト」をご確認ください。

パソコンの準備

お使いのパソコンが本商品をご利用になれる環境になっているか順番に確認してください。

- ・ WWW ブラウザの設定が「ダイヤルしない」になっていること (☞P42)
- ・ プロバイダから配付される PPPoE などの接続ツールが停止してあること
- ・ ファイアウォールなど、すべてのソフトの停止
本商品設定の前に、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。停止しない（起動したままでいる）と本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。（パソコンによっては、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがあらかじめインストールされている場合があります。）
- ・ クイック設定 Web で設定を行う場合は、JavaScript® を有効にする設定にしておいてください (☞P43)

〈無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに有線で接続する場合、WL54SE2（イーサネットコンバータ）から無線で接続する場合〉

- ・ ETHERNET ポート（LAN ポート）を装備していること
お使いのパソコンに ETHERNET ポートがない場合は、本商品の設置を始める前に、100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードを取り付けておいてください。
- ・ TCP/IP プロトコルスタックに対応していること
必要なネットワークコンポーネントがインストールされていない場合は、パソコンの取扱説明書を参照してインストールしてください。Windows® の場合のインストール方法はホームページに掲載されている「④機能詳細ガイド」「ファイルとプリンタの共有」を参照してください。
- ・ パソコンのネットワークの設定を確認すること (☞P37)
- ・ WL54SE2（イーサネットコンバータ）にゲーム機を接続し、ゲームを使用するときは WL54SE2（イーサネットコンバータ）と接続機器の間にハブなどを接続しないでください。

〈WL54SC2（無線 LAN カード）から無線で接続する場合〉

- ・ CardBus（カードバス）準拠の PC カードスロットが装備されていること

〈WL54SU2（無線 USB スティック）から無線で接続する場合〉

- ・ USB ポート（USB2.0 推奨）を装備していること

※ USB 1.1 の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0 でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンは AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) をご覧ください。WL54SU2（無線 USB スティック）の USB ハブとの接続は保証の限りではありません。

1-4 あらかじめ確認してください

〈接続可能な機器〉

OS など	無線 LAN アクセスポイント (親機) の ETHERNET ポート	WL54SC2 (無線 LAN カード)	WL54SE2 (イーサネットコンバータ)	WL54SU2 (無線 USB スティック)
Windows®	○	○ Windows Vista™ および Windows® XP/2000 Professional (日本語版) のみ	○	○ Windows Vista™ および Windows® XP/2000 Professional (日本語版) のみ
Macintosh	○	×	○	×
その他 OS (Linux など)	○	×	○	×
ゲーム機	○	×	○	×

※ Windows Vista™をご利用の場合

本商品は、Windows Vista™ Home Basic、Windows Vista™ Home Premium、Windows Vista™ Business および Windows Vista™ Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版のみに対応しています。

Windows Vista™がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコンまたはメーカーが Windows Vista™の利用を保証しているパソコンのみサポートしています。
自作のパソコンはサポートしておりません。



- OS のアップグレードなどパソコンの動作環境を変更される場合は、あらかじめホームページ AtermStation から本商品の最新のファームウェア、ユーティリティ、マニュアルなどをダウンロードしてください。

パソコンのネットワークの確認

パソコンのネットワークの設定が、Windows® の場合は「IP アドレスを自動的に取得する」、Mac OS の場合は「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。

Windows Vista™ の場合

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット] – [ネットワークと共有センター] をクリックし、[タスク] 欄の [ネットワーク接続の管理] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする
- 5 [インターネットプロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 6 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 7 [OK] をクリックする
- 8 [OK] または [閉じる] をクリックする



お知らせ

- Windows Vista™ の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows Vista™ の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記述しています。

1-4 あらかじめ確認してください

Windows® XPをご利用の場合

- 1 [スタート] – [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] をクリックする



お知らせ

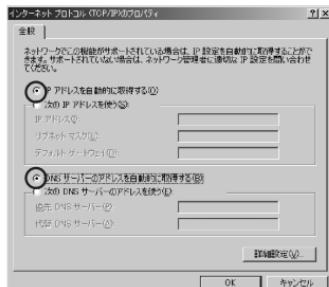
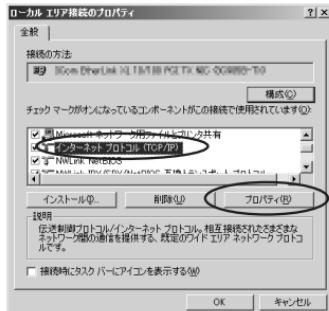
- Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。
- ここでは、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記述しています。

Windows® 2000 Professionalをご利用の場合

- 1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する
- 2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする
- 3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする
- 4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする
- 5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する
- 6 [OK] をクリックする
- 7 [OK] をクリックする

1

お使いになる前に



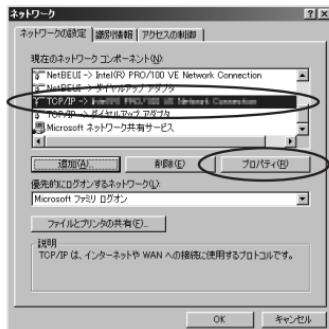
1-4 あらかじめ確認してください

Windows® Me/98SEをご利用の場合

1 [スタート] - [設定] - [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

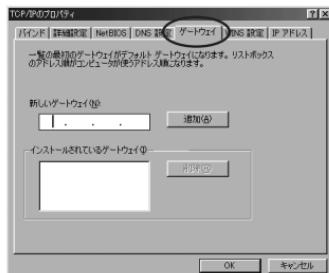
3 リストの [TCP/IP-> (お使いの LAN カードまたはお使いの LAN ポート)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



1-4 あらかじめ確認してください

6 [DNS 設定] タブをクリックし、
[DNS を使わない] を選択する



7 [OK] をクリックする

8 [OK] をクリックする
画面の指示に従ってパソコンを再起動してください。

1

お使いになる前に

1-4 あらかじめ確認してください

WWW ブラウザの設定確認

WWW ブラウザ (Internet Explorer など) の接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に変更します。

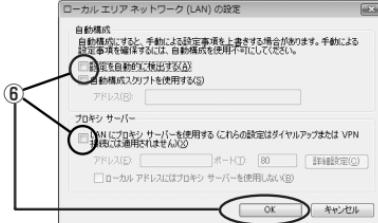
以下は Windows Vista™で Internet Explorer 7.0 をご利用の場合の設定方法の一例です。お客様の使用環境(プロバイダやソフトウェアなど)によっても変わりますので詳細はプロバイダやソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

- ① Internet Explorer を起動する。
- ② [ツール] の [インターネットオプション] を選択する。
- ③ [接続] タブをクリックする。
- ④ ダイヤルアップの設定の欄で、[ダイヤルしない] を選択する。



- ⑤ [LAN の設定] をクリックする。
- ⑥ 「設定を自動的に検出する」と [LAN にプロキシサーバーを使用する] の を外して [OK] をクリックする。

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、従ってください。



- ⑦ [OK] をクリックする。



お知らせ

- プロバイダ専用の CD-ROM やパソコンにプリインストールされているサインアッププログラム（プロバイダへの申し込みソフト）は、ダイヤルアップ接続（アナログモデムやターミナルアダプタの接続）専用のものがあります。その場合、本商品に LAN 接続されたパソコンからは実行できません。また、専用の接続ソフトが必要なプロバイダにはルータ接続できない場合があります。プログラムの使用方法など、詳細につきましてはプロバイダやパソコンメーカーにご確認ください。

JavaScript® の設定を確認する

WWWブラウザ（クリック設定 Web）で設定を行うには JavaScript® の設定を有効にする必要があります。

※ WWW ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の管理者パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript® を「有効にする」に設定してください。

Windows® で Internet Explorer をご利用の場合

以下は、Windows Vista™で Internet Explorer 7.0 を使用している場合の例です。なお、Windows® XP/2000 Professional/Me/98SE で設定する場合や Internet Explorer 5.5以上を使用している場合にも、下記と同様の手順で設定できます。

- 1 [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [コントロールパネル] – [クラシック表示] – [インターネットオプション] をダブルクリックする

※ Windows® XP の場合は、[スタート] – [コントロールパネル] – [クラシック表示に切り替える] – [インターネットオプション] をダブルクリックします。

※ Windows® 2000 Professional/Me/98SE の場合は、[スタート] – [設定] – [コントロールパネル] – [インターネットオプション] をダブルクリックします。

- 2 [セキュリティ] タブをクリックし、[信頼済みサイト] をクリックする

- 3 [サイト] をクリックする

- 4 [このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする] のチェックを外す



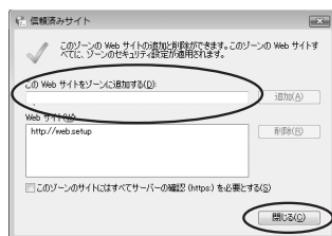
(次ページに続く)

1-4 あらかじめ確認してください

5

[この Web サイトをゾーンに追加する] に [http://web.setup/] を入力し、[追加] をクリックして、[閉じる] をクリックする

※ Internet Explorer 6 以前をご使用の場合は、[次の web サイトをゾーンに追加する] に [http://web.setup/] を入力し、[追加] をクリックして、[OK] をクリックします。



* IP アドレス (工場出荷時は 192.168.0.1) を入力して設定画面を開く場合には、IP アドレスを入力します。

(例：「192.168.0.1」)

無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合や IP アドレスを変更した場合は、設定した IP アドレスを入力してください。

6

[レベルのカスタマイズ] をクリックし、下向き▼ (矢印) をクリックし、画面をスクロールする

7

[アクティブ スクリプト] を [有効にする] に変更し、[OK] をクリックする



8

[OK] をクリックする

1-5 設定方法について

インターネット接続までの設定は「つなぎかたガイド」を参照して行ってください。
無線 LAN で設定する場合には①らくらく無線スタート→②クイック設定 Web の順で設定してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポートに接続したパソコンから設定する場合は、クイック設定 Web で設定します。

1 ● 子機を自動で設定する（らくらく無線スタートで親機の無線設定を子機に設定する）

無線 LAN 端末（子機）を接続する場合の設定方法です。

WL54SC2／WL54SU2 のドライバのインストールや無線 LAN 端末（子機）の無線設定を簡単に行なうことができます。

- ・WL54SC2（無線 LAN カード）／WL54SU2（無線 USB スティック）の場合、サテライトマネージャのインストールが必要です。

＜サテライトマネージャが使用できるパソコン＞

Windows Vista™ および Windows® XP/2000 Professional（日本語版）

※音声ガイドを再生するには、パソコンに WAV ファイルが再生可能なサウンドデバイスが必要になります。

※Windows Vista™ または Windows® XP (Service Pack 2 以降) を搭載したパソコンの場合、無線 LAN 内蔵パソコンなどでもらくらく無線スタート EX で設定することができます。

※イーサネットコンバータセットでは、WR7870S（親機）と WL54SE2（イーサネットコンバータ）の無線設定を設定済みで出荷していますので、らくらく無線スタートの設定は不要です。

2 ● 親機を設定する（クイック設定 Web (WWW ブラウザ) で設定する）

WWW ブラウザの画面で、無線 LAN アクセスポイント（親機）のすべての設定が行えます。

※クイック設定 Web からの設定では、無線 LAN 端末（子機）のドライバのインストール、無線設定は行えません。

本商品をご購入後、はじめてクイック設定 Web を開くと「らくらく Web ウィザード」が表示され、インターネット接続のための基本的な設定を行なうことができます。

※無線 LAN 端末（子機）から設定を行う場合は、ドライバのインストール（WL54SC2／WL54SU2）後、らくらく無線スタートなどで無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信が確立してからクイック設定 Web での設定を行ってください。

＜設定できる WWW ブラウザ＞

Windows Vista™ の場合

Internet Explorer 7.0 に対応

Windows®XP の場合

Internet Explorer 7.0 に対応

Internet Explorer 6.0 SP2 に対応

Windows®2000 Professional/Me/98SE の場合

Internet Explorer 6.0 SP1 に対応

※設定できる WWW ブラウザの最新情報は、ホームページ AtermStation にてご確認ください。

〈画面例〉



2-1 無線 LAN アクセスポイント（親機）を設置する

無線 LAN アクセスポイント（親機）の置き場所を決めよう

無線 LAN アクセスポイント（親機）には電源、回線、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。実際の接続や設定は「つなぎかたガイド」を参照してください。

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）はブロードバンドモ뎀／回線終端装置のそばに置こう
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）用の電源コンセントはありますか？
電源コンセントを確保しましょう。
- 無線 LAN 端末（子機）は無線 LAN アクセスポイント（親機）から無線で電波の届く距離に置こう
設定するときは無線 LAN アクセスポイント（親機）のそばで設定しましょう。



お知らせ

- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）は 1m 以上離してお使いください。

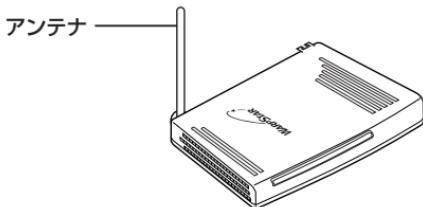
■ 縦置きの場合

図のようにスタンドを取り付けます。



■横置きの場合

図のように設置し、アンテナを立てます。



2

設置・接続をする

お願い

- 縦置きで設置の際は、両側に20mm（スタンドの幅）以上のスペースを確保してください。
- 狭い場所や壁などに近づけて設置しないでください。内部に熱がこもり、破損したり、火災の原因となることがあります。
- 無線LANアクセスポイント（親機）の上に物を置いたり、重ね置きはしないでください。

2-2 無線 LAN 端末（子機）を接続する

無線 LAN 端末（子機）の接続と設定は「つなぎかたガイド」を参照して行ってください。ここでは接続の際の注意事項と、サテライトマネージャまたは WWW ブラウザで無線設定をする場合について記載しています。

WL54SC2（無線 LAN カード）／WL54SU2（無線 USB スティック）で無線 LAN 接続する

WL54SC2（無線 LAN カード）／WL54SU2（無線 USB スティック）をパソコンに接続するには、①ドライバのインストール→②無線設定（らくらく無線スタートまたはサテライトマネージャ）の順で設定を行います。

ここでは接続の際の注意事項とサテライトマネージャでの無線設定について説明しています。

ドライバのインストールとらくらく無線スタートでの無線設定については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

【WL54SC2（無線 LAN カード）で使用上の注意】

- WL54SC2（無線 LAN カード）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、suspen（ススペンド）機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前に WL54SC2（無線 LAN カード）を差し直す必要がある場合があります。あらかじめ suspen（ススペンド）機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- 他の無線 LAN カードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNET インタフェースを搭載したパソコンで、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させていない場合は、WL54SC2（無線 LAN カード）のドライバが正しくインストールできないことや、正しく通信できないことがあります。他の無線 LAN カードや LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。（☞P50、51、52）
- 無線 LAN 内蔵パソコンに WL54SC2（無線 LAN カード）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線 LAN の【デバイスマネージャ】の【ネットワークアダプタ】にある内蔵無線アダプタを【無効】に設定してからご使用ください。
- サテライトマネージャのらくらく無線スタートを起動する前に誤って、WL54SC2（無線 LAN カード）をパソコンに挿入して、ハードウェアイザードが起動した場合は、【キャンセル】をクリックし、WL54SC2（無線 LAN カード）を取り外してください。
- あとから WL54SC2（無線 LAN カード）を追加で購入した場合は、本商品に添付の CD-ROM を使用してください。
- WL54SC2（無線 LAN カード）と無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離は、1m 以上離してお使いください。無線 LAN アクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。

【WL54SU2（無線USBスティック）ご使用上の注意】

- USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。動作確認パソコンはAtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) をご覧ください。WL54SU2（無線USBスティック）のUSBハブとの接続は保証の限りではありません。
- WL54SU2（無線USBスティック）はパソコンからの給電のみで動作しますが、パソコンによっては、susPEND機能などにより給電が停止した場合、通信を行う前にWL54SU2（無線USBスティック）を挿し直す必要がある場合があります。あらかじめsusPEND機能を無効にしてご使用いただくことをお勧めします。
- 他の無線LANカードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNETインターフェースを搭載したパソコンで、LANカードおよびLANボード機能を停止させていない場合は、WL54SU2（無線USBスティック）のドライバが正しくインストールできないことがあります。LANカードおよびLANボード機能を停止させてから、ドライバのインストールを行ってください。（●P50、51、52）
- 無線LAN内蔵パソコンにWL54SU2（無線USBスティック）を装着して使う場合は、必ず内蔵無線LANの【デバイスマネージャ】の【ネットワークアダプタ】にある内蔵無線アダプタを【無効】に設定してからご使用ください。
- サテライトマネージャのらくらく無線スタートを起動する前に誤って、WL54SU2（無線USBスティック）をパソコンに挿入して、ハードウェアイザードが起動した場合は、【キャンセル】をクリックして、WL54SU2（無線USBスティック）を取り外してください。
- WL54SU2（無線USBスティック）と無線LANアクセスポイント（親機）との距離は、1m以上離してお使いください。無線LANアクセスポイント（親機）と近すぎると通信速度が低下する場合があります。
- WL54SU2（無線USBスティック）のUSBコネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- USBコネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
- WL54SU2（無線USBスティック）のUSBコネクタを無理に折り曲げたり、無理に回転させたりしないでください。
- 隣り合うUSBポートの間隔により、複数のポートを同時に使用できない場合があります。また、USBインターフェースにWL54SU2（無線USBスティック）を接続した場合、電力不足となり、お使いいただけない場合があります。
- WL54SU2（無線USBスティック）とWL54SC2などの無線LANカードを同時に使用することはできません。同時に接続してしまった場合は、両方をいったん取り外して接続し直してください。それでも動作しない場合は、それぞれのドライバをアンインストールしてから接続し直してください。

② 他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

他の無線 LAN カードのソフトウェアがインストールされている場合や、ETHERNET インタフェースを搭載したノートパソコンで、LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させていない場合は、無線 LAN 端末（子機）が使用できない場合があります。以下の操作で他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。以下の手順は例です。パソコンによって異なる場合があります。詳細はパソコンメーカーにお問い合わせください。

<Windows Vista™の場合>

- ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システムとメンテナンス] — [システム] をクリックする
- ③ [タスク] 欄の [デバイスマネージャ] をクリックする
- ④ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする
- ⑤ [ネットワーク アダプタ] をダブルクリックする
- ⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効] を選択する

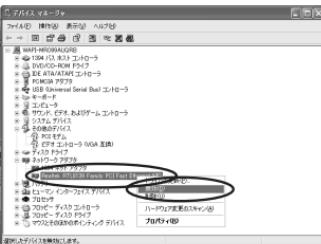


- ⑦ [はい] をクリックする

⑦ 他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

〈Windows® XP の場合〉

- ① [スタート] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
- ③ [システム] アイコンをダブルクリックする
- ④ [ハードウェア] タブをクリックする
- ⑤ [デバイスマネージャ] をクリックする
- ⑥ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑦ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効] を選択する



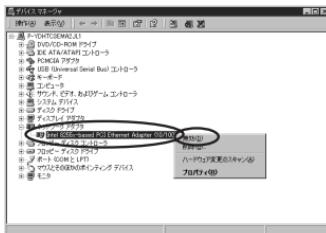
- ⑧ [はい] をクリックする

2-2 無線 LAN 端末（子機）を接続する

① 他の無線 LAN カードや LAN カードまたは LAN ボード機能を停止させるには

〈Windows® 2000 Professional の場合〉

- ① [スタート] — [設定] — [コントロールパネル] をクリックする
- ② [システム] アイコンをダブルクリックする
- ③ [ハードウェア] タブをクリックする
- ④ [デバイスマネージャ] をクリックする
- ⑤ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする
- ⑥ 不要なネットワークアダプタを選択して右クリックし、[無効] を選択する



- ⑦ [はい] をクリックする

② 無線動作モード 5GHz (IEEE802.11a) に接続するには

無線 LAN アクセスポイント（親機）では、5GHz と 2.4GHz の 2 つの動作モードが同時に動いています。それぞれの無動作モードごとにネットワーク名（SSID）が設定されています。

5GHz の場合の例：「WARPSTAR-XXXXXX-A」

2.4GHz の場合の例：「WARPSTAR-XXXXXX-G」

「らくらく無線スタート」で設定する無線 LAN 設定は、本商品の初期値では、2.4GHz モードです。5GHz モードの無線 LAN 設定を行う場合は、クイック設定 Web の [無線 LAN 設定] — [無線 LAN 基本設定] でらくらく無線スタート動作モードを変更して設定する（☞ 機能詳細ガイド）か、サテライトマネージャ、クイック設定 Web で設定してください。（☞ P53、62）

サテライトマネージャで設定する

サテライトマネージャで無線設定を行い、無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続するには次の手順で行います。

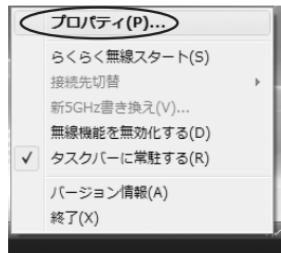
サテライトマネージャのインストール方法については、つなぎかたガイドを参照してください。

1 サテライトマネージャを起動する

[スタート] - [プログラム] - [AtermWARPSTAR ユーティリティ] - [サテライトマネージャ] をクリックする

通知領域（タスクトレイ）に [サテライトマネージャ] が表示されます。

2 通知領域（タスクトレイ）にある [サテライトマネージャ] のアイコンを右クリックし、[プロパティ] を選択する

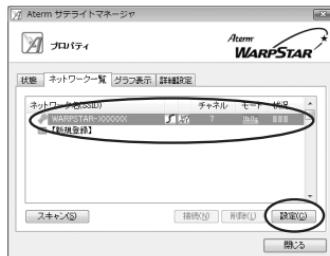


3 [ネットワーク一覧] タブをクリックする

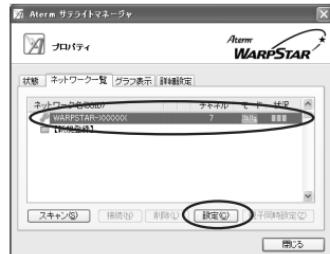
4 接続先のネットワーク名（SSID）をクリックして、[設定] をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時設定のネットワーク名（SSID）、暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。

新しく接続先を登録する場合は、[新規登録] をクリックしてください。



※画面はWindows Vista™の場合の例です。



※画面はWindows® XP (Service Pack2) の場合の例です。

2-2 無線 LAN 端末（子機）を接続する

（！）無線動作モード 5GHz(IEEE802.11a)に接続するには

無線 LAN アクセスポイント（親機）では、5GHz と 2.4GHz の 2 つの動作モードが同時に動いています。それぞれの無線動作モードごとにネットワーク名（SSID）が設定されてされています。

5GHz の場合の例：「WARPSTAR-XXXXXX-A」

2.4GHz の場合の例：「WARPSTAR-XXXXXX-G」

接続先を切り替えたいときは、通知領域（タスクトレイ）にある【サテライトマネージャ】のアイコンをクリックし、「接続先切替」で接続したい無線動作モードのネットワーク名（SSID）を選択します。

また、無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を 5GHz の場合と 2.4GHz の場合で同じに設定することで、自動切替えでご利用いただけます。ネットワーク名（SSID）の設定は、クイック設定 Web で行います。設定方法は機能詳細ガイドを参照してください。

5

無線 LAN の設定を行う

使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）に合わせて次のように設定します。

暗号化の設定を行う場合は必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。



[ネットワーク名 (SSID)]

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてネットワーク名（SSID）を入力します。手順 4 で使用するネットワーク名を選択した場合は、そのままにしておきます。

[通信モード]

インフラストラクチャ通信を選択します。

[暗号化モード]

無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせて「暗号化モード」で暗号化の方法を選択して、設定したい「暗号強度」や「暗号化キー」などを入力します。

※WEP (152bit) は、Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista™ ではご利用いただけません。

※TKIP、AES は、Windows Vista™ または Windows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

6

[登録] をクリックする



お知らせ

- 【詳細設定】タブをクリックすると、次の設定が行えます。

Windows Vista™の場合は、設定を有効にするには、[登録] をクリックしてください。



※画面はWindows Vista™の場合の例です。

・省電力モード

ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。ただし、「有効」や「最大」に設定するとスループットが低下します。

・送信出力

他のネットワークへの干渉を減らしたいときや、ノートパソコンなどのバッテリーを長く持たせたいときに設定します。

・ストリーミングモード

無線通信状態を監視するために無線 LAN 端末（子機）が行っている、無線 LAN ネットワークの参照（スキャン）動作を制限して、スキャン動作の影響で発生するストリーミング映像の一時的な乱れなどをおさえます。「自動」で動画や音声の途切れなどが発生する場合は「ON」に設定してください。

・アドホック通信設定 (Windows Vista™の場合のみ)

アドホック通信の設定を行う場合の【無線動作モード】・【チャネル番号】を設定します。Windows Vista™の場合のみの設定項目です。(Windows® XP/2000 Professional の場合は、「機能詳細ガイド」を参照してください。)

※Windows® XP/2000 Professional の場合は、無線機能の有効化／無効化、Windows® XP のワイヤレスネットワークの有効化／無効化の設定も行うことができます。

- サテライトマネージャ、またはらくらく無線スタートで設定を行った場合、Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定する必要があります。（「① Windows® XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合」(☞P58)）



お願い

- 同じネットワーク名（SSID）を設定した複数の無線 LAN アクセスポイント（親機）間をローミング接続する場合、サテライトマネージャの「ネットワーク一覧」のチャネル表示が「状態」の表示と異なる場合があります。「状態」表示の値を参照してください。
- 2台目以降の無線 LAN 端末（子機）を追加する場合は、1台目と同じ暗号化キーを入力してください。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）で「WPA-TKIP モード」を使用している場合、無線 LAN 端末（子機）側は暗号化キーが一致していれば、「WPA-TKIP モード」または「WPA-AES モード」のどちらの暗号化モードでも無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できます。
- 5GHz (IEEE802.11a) と 2.4GHz (IEEE802.11b, IEEE802.11g) で同じネットワーク名（SSID）を設定している場合は、必ず暗号化モードや暗号化キーも同じにしてください。違う暗号化モードや暗号化キーを設定すると、接続できなくなる場合があります。

① サテライトマネージャの使い方

通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックすると、ポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューでは次のことができます。

詳細はホームページに掲載されている「 機能詳細ガイド」を参照してください。



【プロパティ】：

通信モードの設定、暗号化設定することができます。

【状態】タブで無線 LAN アクセスポイント（親機）との接続状態を詳細に確認することができます。

無線の接続状態が「普通」または「強い」となることを確認してください。「普通」または「強い」と表示されないときは、「普通」または「強い」と表示される位置までパソコンを移動してください。

【らくらく無線スタート】：

無線 LAN アクセスポイント（親機）とのネットワーク名（SSID）や暗号化設定を簡単に行うことができます。

認定方法については、それぞれ次のとおり参照してください。

WL54SC2（無線 LAN カード）の場合 : 「つなぎかたガイド」または、無線 LAN 端末（子機）に添付されている取扱説明書など

WL54SU2（無線 USB スティック）の場合 : 「つなぎかたガイド」または、無線 LAN 端末（子機）に添付されている取扱説明書など

【接続先切替】：

サテライトマネージャで設定した接続先（無線 LAN アクセスポイント（親機））を切り替えて使用できます。

【新5GHz書き換え】（Windows Vista™の場合のみ）：

新 5GHz (W52/W53/W56) に対応していない無線 LAN 端末（子機）を使用している場合に表示されます。また、新 5GHz (W52/W53/W56) に対応している無線 LAN 端末（子機）を使用している場合はグレーアウトします。

【無線機能を無効化する／無線機能を有効化する】（Windows Vista™の場合のみ）：

「無線機能を無効化する」または「無線機能を有効化する」をクリックすると、無線機能を無効または有効に切り替えることができます。

Windows Vista™の場合のみの項目です。（Windows® XP/2000 Professional の場合は、「プロパティ」 - 「詳細設定」にて設定することができます。）

【タスクバーに常駐する】：

「タスクバーに常駐する」にチェックをつけるとパソコンを起動したときにタスクバーにサテライトマネージャが表示されます。

【バージョン情報】：

サテライトマネージャのバージョンや無線 LAN 端末（子機）のドライバのバージョンが確認できます。

【終了】：

サテライトマネージャを終了します。

ワイヤレスネットワークの設定（Windows Vista™/Windows® XPの場合）

Windows Vista™およびWindows® XPの場合は、内蔵されている「ワイヤレスネットワークの設定」で無線設定を行うことができます。

「ワイヤレスネットワークの設定」は、無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化モード設定が「暗号化無効」または「WEP(64bit、128bit、152bit^{*1})」、「TKIP^{*2}」、「AES^{*2}」の場合に、ご利用いただけます。なお、無線LANアクセスポイント（親機）でESS-IDステルス機能（SSIDの隠蔽）が設定されている場合は、ご利用いただけません。

※1：WEP（152bit）は、Windows® XP（Service Pack1以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。Windows Vista™ではご利用いただけません。

※2：TKIP、AESは、Windows Vista™またはWindows® XP（Service Pack2以降）を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

Windows® XPの場合は、通常は「ワイヤレスネットワークの設定」を無効にしてサテライトマネージャで設定してください。

2-2 無線 LAN 端末（子機）を接続する



Windows® XP でサテライトマネージャを使用して設定を行った場合

Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」は無効に設定されます。Windows® XP の「ワイヤレスネットワークの設定」で無線の設定を行いたい場合は、「ワイヤレスネットワークの設定」を「有効」に設定し、無線 LAN 端末（子機）を接続し直す必要があります。

- ① サテライトマネージャを起動する
- ② 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックする
- ③ 「詳細設定」タブをクリックする
- ④ 「Windows XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする」のチェックを外す



- ⑤ 「はい」をクリックする
- ⑥ 「閉じる」をクリックする
- ⑦ 通知領域（タスクトレイ）にあるサテライトマネージャアイコンを右クリックし、「終了」をクリックする
- ⑧ 無線 LAN 端末（子機）を取り外し、接続し直す

● Windows Vista™をご利用の場合→P74 手順 2 以降の手順に従って設定してください。

● Windows® XPをご利用の場合→P79 手順 2 以降の手順に従って設定してください。

WL54SE2（イーサネットコンバータ）で無線 LAN 接続する

WL54SE2（イーサネットコンバータ）をパソコンに接続するときは、①設置→②パソコンとの接続→③無線 LAN の設定の順で設定を行っていきます。

ここでは、設置、接続の際の注意事項と WWW ブラウザ（クイック設定 Web）での設定方法を説明しています。らくらく無線スタートでの設定方法については「つなぎかたガイド」を参照してください。

！ イーサネットコンバータセットの場合

ご購入時点で無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54SE2（イーサネットコンバータ）の無線設定が設定済みになっています。WL54SE2（イーサネットコンバータ）の無線設定は必要ありません。

■ 縦置きの場合

1 添付のラバーシートを縦置きスタンド裏面に貼り付ける

貼り付けたあと、ラバーシート（添付品）表面のフィルムをはがしてご使用ください。



- ラバーシート（添付品）は設置のための仮固定用であり、固定を保証するものではありません。過度の荷重を加えたり、ケーブルを引っ張ったりした場合に設置した床から離脱するおそれがあります。
- ほこり・ゴミなどがラバーシート（添付品）に付着すると床への密着強度が減少します。その場合には中性洗剤や水にてほこり・ゴミなどを洗い流してください。洗浄にて密着強度が増します。洗浄の際には、スタンドを本体から取り外してください。
- ラバーシート（添付品）をご使用にならない場合には、お子さまの手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだ場合には医師の診断を受けてください。

2

設置・接続をする

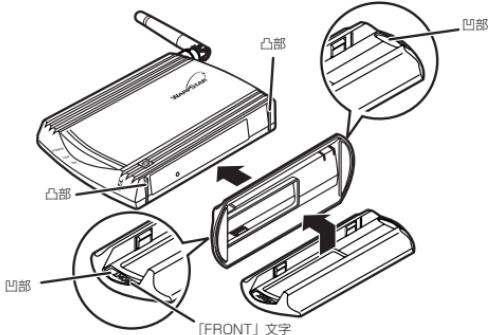
(次ページに続く)

2-2 無線LAN端末（子機）を接続する

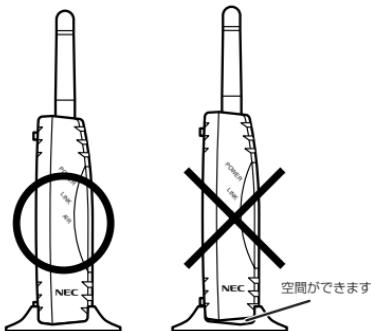
2

縦置きスタンドを取り付ける

縦置きスタンドは、「FRONT」文字のある方をWL54SE2の前になるよう装着してください。



- WL54SE2の凸部が、縦置きスタンドの凹部にはまり込むように装着してください。
- WL54SE2の前から見ると、右図のようになります。

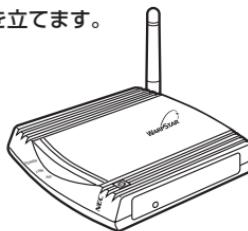


3

設置の際は無線状態を最適にするため、アンテナが垂直になるように設置する

■横置きの場合

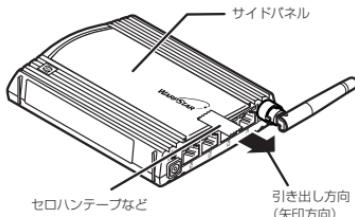
図のように設置し、アンテナを立てます。



WL54SE2のサイドパネルの取り外し方、取り付け方

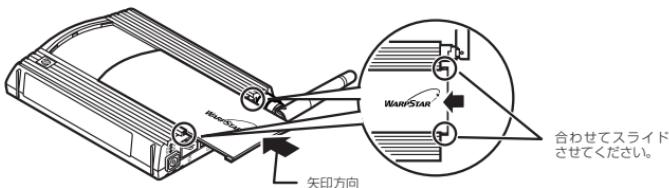
<取り外し方>

サイドパネルを取り外す際には、右図のようにサイドパネルの端にセロハンテープなどを貼り付け、右図の「引き出し方向（矢印方向）」にセロハンテープなどで引き出すと簡単に取り外すことができます。



<取り付け方>

サイドパネルを下図の「矢印方向」にスライドさせて装着してください。

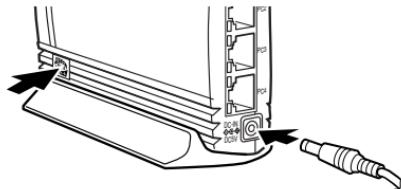


WWW ブラウザで設定する

ここでは、WL54SE2（イーサネットコンバータ）のクリック設定 Web で WL54SE2（イーサネットコンバータ）のみの設定を行う場合の設定方法を説明しています。
パソコンの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認してください。

■ WL54SE2（イーサネットコンバータ）の DHCP サーバ機能を起動する

- 1 WL54SE2（イーサネットコンバータ）から AC アダプタのプラグをいったん外し、約 10 秒待つ
- 2 WL54SE2（イーサネットコンバータ）側面のらくらくスタートボタンを押しながら、AC アダプタのプラグを接続し、AIR ランプが赤点滅したら、らくらくスタートボタンを離す
無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線接続はいったん切断されます。
WL54SE2（イーサネットコンバータ）の DHCP サーバが起動します。



■ WWW ブラウザで設定する

WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信ができるようにするための設定を行います。

1

パソコンなどを起動する

2

WWW ブラウザを起動し、WL54SE2（イーサネットコンバータ）の IP アドレスを入力し、設定画面を開く（工場出荷時は 192.168.0.220 です）

例：http://192.168.0.220/

WL54SE2（イーサネットコンバータ）の WWW ブラウザの設定画面が表示されない（☞P126）

3

管理者パスワードの初期設定を行う

画面に従ってパスワードを設定してください。

一度設定すると、次回からは、この画面は出なくなります。

●管理者パスワードは、WL54SE2 を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

忘れた場合は設定画面を開くことができず、初期化してすべての設定を最初からやり直しになります。



管理者パスワードメモ欄

4

【設定】をクリックする

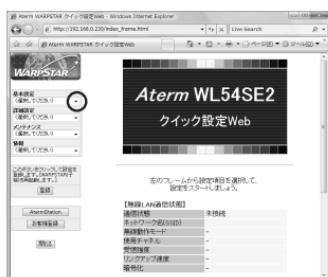
5

ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK]をクリックする

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

6

【基本設定】の ▾ から 【基本設定】を選択する



2-2 無線 LAN 端末（子機）を接続する

7

[ネットワーク名 (SSID)] に無線ネットワーク内で使用するネットワーク名 (SSID) を入力する

使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を確認しておいてください。



これは、2.4GHz モード側の初期値を表示しています。5GHz モード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。



[アクセスポイント検索] をクリックして [アクセスポイント検索] 画面を表示してネットワーク名 (SSID) を選択することもできます。

- ① [アクセスポイント検索] 画面で接続するネットワーク名 (SSID) を選択する
- ② [選択] をクリックする



無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定に合わせて暗号化の設定を行う

■暗号化モードで WEP を使用する場合

- ① [暗号化モード] [WEP] を選択する
- ② [暗号強度] を「64bit」「128bit」「152bit」から選択する
- ③ [指定方法] で「英数記号」または「16進」を選択する
- ※ [英数記号] → 英数字 (0～9, a～z, A～Z) と下記の記号の組み合わせで暗号を入力します。



* 「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

[16進] → 16進表記 (0～9, a～f, A～F) の組み合わせで暗号を入力します。

※指定した暗号強度によりそれぞれの入力桁数は異なります。

- ④ [使用する暗号化キー] を [1番～4番] から選択する
- ⑤ [暗号化キー] は④で指定した番号に③で指定した方法で任意の暗号を入力する

■暗号化モードで [WPA-PSK (TKIP)]、または [WPA-PSK (AES)] を使用する場合

- ① [暗号化モード] で [WPA-PSK (TKIP)] または [WPA-PSK (AES)] を選択する
 - ② [指定方法] を選択し、[暗号化キー] を入力する
- WPA 暗号化キーは、8～63 衝の英数記号、または 64 衝の 16 進で入力します。



暗号化キーの入力例：

[128bit] の場合(英数記号／13桁)
0123456789ABC



これは、2.4GHz モード側の初期値を表示しています。5GHz モード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。

2-2 無線 LAN 端末（子機）を接続する

9

【設定】をクリックする

10

【登録】をクリックする



11

WL54SE2（イーサネットコンバータ）のLINKランプが緑または橙点灯することを確認する

無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線通信が確立すると LINK ランプが緑または橙点灯します。

- ・ IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信緑点灯
- ・ IEEE802.11a 通信 橙点灯



重要

パソコンの IP アドレスを変更した場合は、WL54SE2（イーサネットコンバータ）の設定を終了したあとは、パソコンの IP アドレスの設定をお使いのネットワーク環境（ルータなど）に合わせて戻してください。

2-3 無線 LAN 内蔵パソコン から接続する

無線 LAN 内蔵のパソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線で接続してブロードバンドインターネット接続することができます。接続できる NEC 製ワイヤレス機器についてはホームページ AtermStation（「動作検証情報」 - 「無線 LAN 製品接続確認情報」）にて公開しています。

- ・お使いになる無線 LAN 内蔵パソコンが Windows Vista™ または Windows® XP (Service Pack 2 以降) の場合、らくらく無線スタート EX で無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線接続の設定を簡単に行うことができます。（☞P68）
- ・お使いになる無線 LAN 内蔵パソコンが Windows® XP (Service Pack 1 以前) の場合は「ワイヤレスネットワークの設定で設定する（Windows Vista™ / Windows® XP の場合）」（☞P74）を参照してください。

お願い

- 設定に利用するユーティリティや設定方法は、パソコンや OS によって異なります。（Windows® XP の場合でも専用のユーティリティを使用する場合があります。）設定方法の詳細については、パソコンなどのメーカーにお問い合わせください。
- パソコンに内蔵されている無線モジュールのタイプにより無線 LAN アクセスポイント（親機）の無線動作モードを変更する必要があります。クリック設定 Web で変更します。
 - ・ 2.4GHz モード（初期値）
 - ・ 暗号化キー（128bit WEP）の出荷時の設定値は本体底面のラベルを参照してください。
- IEEE802.11a (J52のみ) 対応無線 LAN 内蔵パソコンでは使用する周波数帯／チャネルが異なるため、IEEE802.11a での通信はご利用になれません。IEEE802.11b、IEEE802.11g 通信でご利用ください。
- Super AG 対応の無線 LAN 内蔵パソコンをご利用の場合は Super AG 機能を利用した高速な無線 LAN 通信がご利用になります。対応機器についてはホームページ AtermStation にてご確認ください。
- 2005 年 5 月以降の NEC 製の個人向けパソコン（LaVie）では、あらかじめらくらく無線スタート EX が収録されている場合があります。その場合はパソコンの取扱説明書などを参照してインストールしたあと、「らくらく無線スタート EX で設定する」（☞P71）へ進んでください。

らくらく無線スタート EX で設定する (Windows Vista™/Windows® XP (Service Pack 2以降) の場合のみ)

らくらく無線スタート EX は、無線 LAN 内蔵パソコンまたは無線 LAN 端末（子機）で Windows Vista™または Windows® XP (Service Pack 2以降) のワイヤレスネットワーク設定を使って設定している場合にご使用になります。

設定の際には、「①らくらく無線スタート EX で設定を行う場合のご注意」(☞P70) を参照してください。

くらくらく無線スタート EX で設定できる無線 LAN 端末（子機）の例>

- ・無線 LAN 内蔵パソコン (Windows Vista™または Windows® XP (Service Pack 2以降) 搭載)
- ・Windows Vista™または Windows® XP (Service Pack 2以降) 搭載のパソコンで、WL54SC2/WL54SC/WL54AG/WL300NC/WL130NC/WL54SU2/WL54SU/WL54TU/WL54SE2/WL54SE/WL54TE 以外の Aterm 無線 LAN 端末（子機）や他社製の無線 LAN カードをお使いの場合

らくらく無線スタート EX をインストールする

次の手順でらくらく無線スタート EX をインストールします。

- 1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯するなどパソコンのワイヤレス機能が使用でき、Windows Vista™または Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定から無線設定ができる状態になっていることを確認する

※ 無線設定を無線 LAN 内蔵パソコンや無線 LAN 端末（子機）の専用ユーティリティで行っている場合は、らくらく無線スタート EX で設定できません。専用ユーティリティの停止方法などそれぞれのパソコンのワイヤレス機能の使い方についてはご使用になっているパソコンや無線 LAN 端末（子機）の取扱説明書をご覧ください。

- 2 Windows Vista™または Windows® XP を起動する
Administrator (権限のあるアカウント) でログオンしてください。
- 3 添付の CD-ROM (ユーティリティ集) を CD-ROM ドライブにセットする
[自動再生] 画面が表示された場合は、[Menu.exe の実行] をクリックします。
「メニュー画面」が表示されます。
「メニュー画面」が表示されないときは (☞P18)

- 4 [Aterm 以外の子機 (無線 LAN 内蔵パソコンなど) で「らくらく無線スタート EX」から接続設定する] の [CLICK] をクリックする
※ Windows Vista™をご利用の際、ユーザー アカウント制御の画面が表示された場合（タスクバーに表示される場合もあります。）は、[許可] をクリックします。

5

[次へ] をクリックする



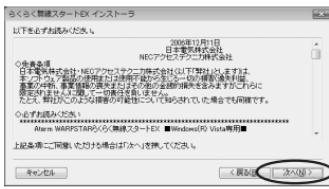
6

[次へ] をクリックする



7

画面の同意書を読み、同意できる場合は [次へ] をクリックする



8

表示されたインストール先へインストールする場合は、[次へ] をクリックする

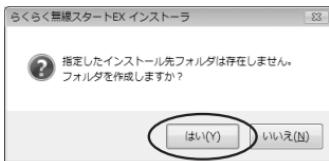
インストール先を変更する場合は、[参照] をクリックして変更してください。



9

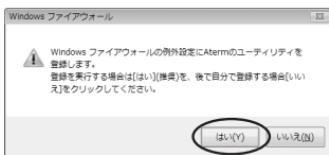
次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする

インストールが開始されます。



10

次の画面が表示された場合は、[はい] をクリックする



(次ページに続く)

2-3 無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

11

【今すぐ「らくらく無線スタート EX」を起動する】にチェックが入っている(✓)ことを確認し、[完了]をクリックする

インストールが完了し、らくらく無線スタート EX が起動します。



らくらく無線スタート EX で設定を行う場合のご注意

- らくらく無線スタート EX で設定を行う場合の利用条件は下記の通りです。

なお、下記条件を満たしていてもパソコンの環境や使用するアダプタとの相性的な問題により正しく動作しない場合もあります。

【パソコンの OS】

Windows Vista™またはWindows® XP (Service Pack 2以降) であること
(Windows® XP (Service Pack 1以前) /2000Professional/Me/98SE/98では動作しません。)

【無線 LAN 端末（子機）または無線 LAN 内蔵パソコンの無線 LAN アダプタ】

- ・Windows Vista™またはWindows® XP (Service Pack 2) のワイヤレスネットワーク設定を使って設定および制御されていること
- ・専用のユーティリティは終了していること（利用不可状態でも通知領域（タスクトレイ）に常駐していると正しく動作しない場合があります。）
- ・接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定されている無線動作モードおよび暗号化モードに対応していること
- ・使用する無線 LAN アダプタ以外のネットワークアダプタが無効になっていること

- 動作検証済みの機器については、ホームページ AtermStation にて順次公開予定です。
動作検証済みの無線 LAN アクセスポイント（親機）以外に接続する場合はらくらく無線スタート EX による自動設定はできません。

- らくらく無線スタート EX での設定中は、無線 LAN アクセスポイント（親機）は無線 LAN 通信ができませんのでご注意ください。

らくらく無線スタート EX での設定完了後、無線 LAN 通信が可能になります。

らくらく無線スタート EX で設定する

1

次の画面が表示されることを確認する
※1分以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

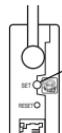


らくらく無線スタート EX を起動するには

あとから、らくらく無線スタート EX を起動するときは、[スタート] をクリックし、[プログラム] - [らくらく無線スタート EX] - [らくらく無線スタート EX] をクリックします。

2

無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SET スイッチ）を押し、前面の POWER ランプが緑点滅になったら離す



らくらくスタートボタン
(SETスイッチ)



POWERランプ
前面の POWER ランプ
が緑点滅になるまで押し
てください。



POWER ランプが約 10 秒間赤点灯した場合は、らくらく無線スタートに失敗しています。無線 LAN アクセスポイント（親機）側の暗号化を設定してください。（ 機能詳細ガイド）MAC アドレスフィルタリングで接続できる無線 LAN 端末（子機）の登録がいっぱいになっていないことを確認してください。（ 機能詳細ガイド）確認後、再度手順 1 から設定を行ってください。

(次ページに続く)

2-3 無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

3

らくらく無線スタートの準備ができているか確認する

※ 30 秒以内に次の手順に進まない場合は自動的にキャンセルされます。

無線 LAN 内蔵パソコン

次の画面が表示されることを確認します。



無線 LAN アクセスポイント（親機）

登録準備ができると前面の POWER ランプが橙点滅します。

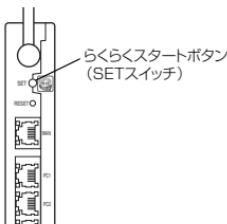


どちらか片方しか上記の状態になっていない場合は、他の無線 LAN アクセスポイント（親機）または無線 LAN 端末（子機）と設定を行おうとしている場合があります。

無線 LAN 内蔵パソコンで [キャンセル] をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を入れ直して手順 1 から設定をやり直してください。

4

もう一度無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SET スイッチ）を押し、手順 5 の前面の POWER ランプが橙点灯状態になったら離す



5

無線設定が完了していることを確認する

無線 LAN 内蔵パソコン

次の画面が表示されることを確認します。

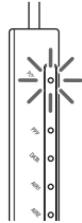


無線 LAN アクセスポイント（親機）

前面の POWER ランプが約 10 秒間橙点灯することを確認します。



失敗した場合は、POWER ランプが約 10 秒間赤点灯します。手順 1 から設定をやり直してください。



※前面の POWER ランプは約 10 秒間橙点灯したあと緑点灯に戻ります。

6

パソコンの画面右下の通知領域で正しく接続されたことを確認する

らくらく無線スタート EX での無線設定が完了します。



- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「MAC アドレスフィルタリング機能」を利用しているとき、設定する無線 LAN 端子（子機）が登録されていない場合は、らくらく無線スタート EX での無線設定登録のときに、MAC アドレスフィルタリングにも新たに登録されます。
ただし、MAC アドレスフィルタリングのエントリが制限数いっぱいに登録されている場合は、らくらく無線スタート EX は失敗になります。
- 無線 LAN アクセスポイント（親機）側で「ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）」を「有効」に設定している場合でもらくらく無線スタート EX での設定をすることができます。

2-3 無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

ワイヤレスネットワークの設定で設定する（Windows Vista™/Windows® XP の場合）

Windows Vista™またはWindows® XPのワイヤレスネットワークの設定を使って無線LAN内蔵パソコンと無線LANアクセスポイント（親機）との無線通信の設定を行う場合は次の手順で行います。

ご使用の無線 LAN 内蔵パソコンの機種や OS によって設定方法が異なります。無線 LAN 内蔵パソコンの取扱説明書を参照して設定してください。

Windows Vista™をご利用の場合（☞下記）

Windows® XPをご利用の場合（☞P79）

※ Windows Vista™またはWindows® XP (Service Pack 2 以降) のパソコンをご使用の場合は、らくらく無線スタート EX で設定することができます。（☞P68）

Windows Vista™の場合

以下の設定は Windows Vista™ のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/TKIP/AES をご利用になる場合の説明です。

なお、暗号化の設定を行う場合は、必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。（無線 LAN アクセスポイント（親機）は出荷時に暗号化設定がされています。変更方法は機能詳細ガイドを参照してください）

1 パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯などワイヤレス機能がONになっていることを確認する

- ・点灯していない場合は、ワイヤレス機能をONにしてください。
- ・それぞれのワイヤレススイッチのON／OFFのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 [スタート] (Windows® のロゴボタン) ー [ネットワーク] ー [ネットワークと共有センター] ー [ネットワークに接続] をクリックする

※通知領域（タスクトレイ）に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックして [ネットワークに接続] をクリックする方法もあります。

3 無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を選択する

※工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。



これは、2.4GHzモード側の初期値を表示しています。5GHzモード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-Aで暗号化キーは同じです。

※接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) が表示されない場合は、[接続またはネットワークをセットアップします] をクリックして、手順 7 へ進みます。



2

設置・接続をする

4

[接続] をクリックする

無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化設定がされている場合は、手順 5 に進みます。暗号化設定がされていない場合は、[接続します] をクリックして手順 14 に進みます。

※接続に失敗した場合は、

- 下記の手順で、一度接続した際に保存されていたネットワーク設定を削除してください。
- ① [ネットワークと共有センター] – [ワイヤレスネットワークの管理] をクリックする
- ② 接続するネットワーク名 (SSID)を選択して右クリックし、[ネットワークの削除] をクリックする
- ③ [ワイヤレスネットワークの管理] の画面を閉じる

上記の手順が完了したら、手順 2 から接続し直してください。

5

無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化キー番号が 1 番の場合（工場出荷時は 1 番）、[セキュリティキーまたはパスフレーズ] に暗号化キーを入力し、[接続] をクリックして、手順 14 に進む

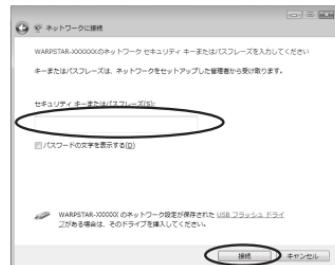
※無線 LAN アクセスポイント（親機）の工場出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P74）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定で、暗号化キー番号の 2 番～4 番を使っている場合は、[キャンセル] をクリックして、手順 6 に進みます。

※一度接続した際の暗号化設定を変更して接続する場合も [キャンセル] をクリックして、手順 6 に進みます。

6

[ネットワークと共有センター] – [接続またはネットワークをセットアップ] をクリックする



(次ページに続く)

2-3 無線LAN内蔵パソコンから接続する

7

【ワイヤレスネットワークに手動で接続します】を選択し、【次へ】をクリックする



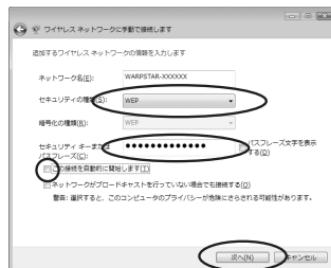
8

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時の暗号化キーは、無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P74）

〈暗号化モードでWEPを使用する場合〉

- ①[ネットワーク名]で無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を入力する
- ②[セキュリティの種類]で[WEP]を選択する
- ③[セキュリティキーまたはパスフレーズ]に無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キーを入力する
ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
 - ・ ASCII文字の場合：
英数字5文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合
英数字13文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合
 - ・ 16進数の場合：
0～9・A～Fで10文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に64bitWEPを設定している場合
0～9・A～Fで26文字：
無線LANアクセスポイント（親機）に128bitWEPを設定している場合
- ④【この接続を自動的に開始します】のチェックを外す
- ⑤【次へ】をクリックする



<暗号化モードでTKIPまたはAESを使用する場合>

- ①[セキュリティの種類]で[WPA-パーソナル]を選択する
- ②[暗号化の種類]で[TKIP]または[AES]を選択する
- ③[ネットワークセキュリティキー]を入力する

8～63桁の英数記号または、64桁の
16進数で入力します

※暗号化キーに使用できる文字は次の通り
です。

- ・8～63桁の場合

英数記号【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	ˋ	-

※「」(バックスラッシュ)はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

- ・64桁の場合

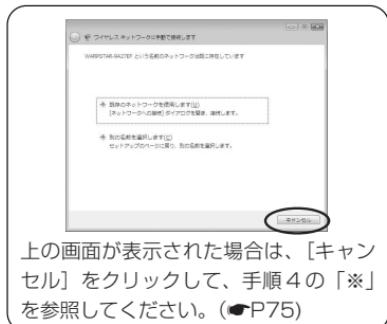
16進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

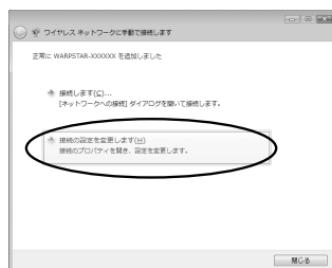
- ④[OK]をクリックする

9

[接続の設定を変更します]をクリックする



上の画面が表示された場合は、[キャンセル]をクリックして、手順4の「※」を参照してください。(☞P75)



(次ページに続く)

2-3 無線LAN内蔵パソコンから接続する

10

[セキュリティ]タブをクリックして設定内容を確認する

※暗号化モードでWEPを使用する場合は、[キーインデックス]で無線LANアクセスポイント（親機）に設定したキー番号を選択します。



※画面は暗号化モードでWEPを使用する場合の例です。

11

[OK]をクリックする

12

[接続します]をクリックする

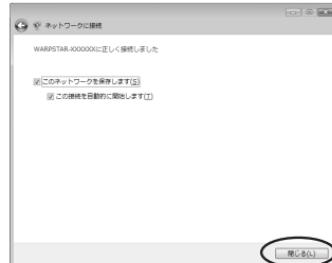
13

無線LANアクセスポイント（親機）のネットワーク名（SSID）を選択し、[接続]をクリックする



14

[閉じる]をクリックする



Windows® XPの場合

以下の設定は Windows® XP のワイヤレスネットワークを使用して、64bitWEP/128bitWEP/152bitWEP^{*1}/TKIP^{*2}/AES^{*2}をご利用になる場合の説明です。

なお、暗号化の設定を行う場合は、必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）側を先に設定してください。（無線 LAN アクセスポイント（親機）は出荷時に暗号化設定がされています。変更方法は機能詳細ガイドを参照してください）

*1 : WEP (152bit) は、Windows® XP (Service Pack1以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

*2 : TKIP、AES は、Windows® XP (Service Pack2以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

1

パソコンの電源を入れ、ワイヤレスランプが点灯などワイヤレス機能がONになっていることを確認する

- ・点灯していない場合は、ワイヤレス機能をONにしてください。
- ・それぞれのワイヤレススイッチのON／OFFのしかたはご使用になっているパソコンの取扱説明書をご覧ください。

2

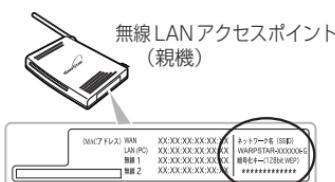
パソコンの画面右下の通知領域に表示されているワイヤレスネットワーク接続アイコンを右クリックし、[利用できるワイヤレスネットワークの表示]をクリックする

Windows® XP (Service Pack 1) 適用前の場合は[利用できるネットワーク]をクリックします。

3

接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) を選択する

*工場出荷時のネットワーク名 (SSID) は、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。



これは、2.4GHz モード側の初期値を表示しています。5GHz モード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。



*画面は Windows® XP (Service Pack 2) の場合の例です。

Windows® のアップデート状況により画面が異なります。

2-3 無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

※[利用できるネットワーク] に使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）が表示されていない場合には、無線 LAN アクセスポイント（親機）で ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）を設定している場合があります。ESS-ID ステルス機能を解除するか、無線 LAN 端末（子機）側の設定をサテライトマネージャで行ってください。



※画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

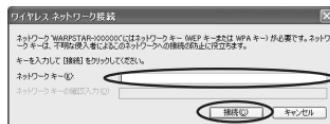


- [このネットワークで IEEE802.1x を有効にする] の は必ず外してください。

4 Windows® XP (Service Pack 2) の場合は [接続] をクリックする
Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は、そのまま手順 5 へ進みます。
無線 LAN アクセスポイント（親機）に暗号化設定がされている場合は手順 5 に進みます。
暗号化設定がされていない場合は、[接続] をクリックして設定は完了です。

5 無線 LAN アクセスポイント（親機）
の暗号化キー番号が 1 番の場合、
[ネットワークキー] に暗号化キー
を入力し、[接続] をクリックする

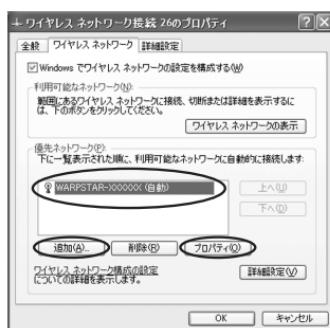
※キー番号に 2 番～4 番を使っている場合
や、一度設定した暗号化設定を変更する
場合は [キャンセル] をクリックし、手
順 6 に進みます。



6 [詳細設定の変更] をクリックする
Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は、[詳細設定] をクリックします。

7 [ワイヤレスネットワーク] タブをク
リックし、接続する無線 LAN アクセ
スポイント（親機）のネットワーク名
(SSID) をクリックして、[プロパティ]
をクリックする

接続する無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク名 (SSID) が [優先ネットワーク] (Windows® XP (Service Pack 2) 適用前の場合は [優先するネットワーク]) 欄に表示されていない場合は、[追加] をクリックします。



8

表示される画面に合わせて暗号化の設定を行う

※無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時の暗号化キーは、無線 LAN アクセスポイント（親機）の底面に記載されています。（☞P79）

■ Windows® XP (Service Pack 2) の場合

〈暗号化モードで WEP を使用する場合〉

- ①[ネットワーク認証]で[オープンシステム]を選択する
- ②[データの暗号化]で[WEP]を選択する
- ③[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
- ④[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

ASCII文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。

· ASCII文字の場合：

英数字 5 文字：

無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

英数字 13 文字：

無線 LAN アクセspoイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

英数字 16 文字：

無線 LAN アクセspoイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

· 16 進数の場合：

0～9・A～F で 10 文字：

無線 LAN アクセspoイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 26 文字：

無線 LAN アクセspoイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合

0～9・A～F で 32 文字：

無線 LAN アクセspoイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合

- ⑤無線 LAN アクセspoイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する
- ⑥[OK]をクリックする

〈暗号化モードで TKIP または AES を使用する場合〉

- ①[ネットワーク認証]で[WPA-PSK]を選択する
- ②[データの暗号化]で[TKIP]または[AES]を選択する
- ③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する

8～63 桁の英数記号または、64 桁の 16 進数で入力します

※暗号化キーに使用できる文字は次の通りです。

· 8～63 桁の場合

英数記号

【0～9、a～z、A～Z、下記の記号】

!	%)	-	:	?]	{
"	&	*	.	<	@	^	
#	'	+	/	=	[_	}
\$	(,	:	>	\	,	-

※「\」(バックスラッシュ) はパソコンの設定によっては、「¥」と表示されます。

· 64 桁の場合

16 進数【0～9、a～f、A～F】

暗号化キーは半角で入力します。

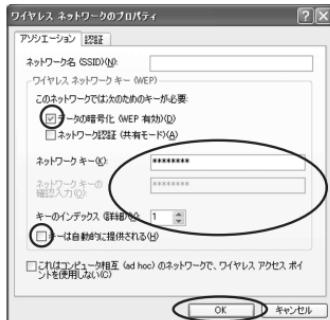
- ④[OK]をクリックする



2-3 無線 LAN 内蔵パソコンから接続する

■ Windows® XP (Service Pack 1) の場合

- ①[データの暗号化]にチェックする
（画面に [ネットワークアソシエーション] ・ [データの暗号化] の項目が表示されている場合は、それぞれ「開いています」・「WEP」を選択する）
- ②[キーは自動的に提供される]のチェックを外す
- ③[ネットワークキー]を入力し、同じものを[ネットワークキーの確認入力]に再入力する
ASCII 文字/16進数の区別は入力された文字列の長さを元に自動識別されます。
 - ・ ASCII 文字の場合：
英数字 5 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
英数字 13 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
英数字 16 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合
 - ・ 16 進数の場合：
0～9・A～F で 10 文字：
無線 LAN アクセスポイント（親機）に 64bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 26 文字：
無線 LAN アクセspoイント（親機）に 128bitWEP を設定している場合
0～9・A～F で 32 文字：
無線 LAN アクセspoイント（親機）に 152bitWEP を設定している場合
- ④無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせてキーのインデックス番号は、1 のまま使用する
- ⑤[OK]をクリックする



※ 画面は Windows® XP (Service Pack 1) の場合の例です。

■ Windows® XP (Service Pack 1) 適用前の場合

- ① [データの暗号化] にチェックする
- ② [キーは自動的に提供される] のチェックを外す
- ③ [ネットワークキー] は、無線 LAN アクセスポイント（親機）に入力した暗号化キーを入力する

キーの形式：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を英数字と設定した場合は、ASCII 文字を選択してください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「指定方法」を 16 進数と設定した場合は、16 進数を選択してください。

キーの長さ：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を標準 (64bit) と設定した場合は、40bit を選択してください。

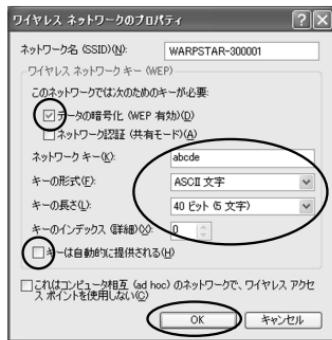
無線 LAN アクセスポイント（親機）で「暗号化強度」を拡張 (128bit) と設定した場合は、104bit を選択してください。

キーのインデックス：

無線 LAN アクセスポイント（親機）で設定されている番号に合わせてください。キーのインデックス（詳細）が 0～3 と表示されますので、1～4 と読み替えてください。（数字が 1 つずれていますので注意してください。）

※無線 LAN アクセスポイント（親機）側は、クイック設定 Web の【無線 LAN 設定】 - 【無線 LAN 詳細設定】 - 【暗号化 (WEP)】で使用する暗号化キーを確認してください。

- ④ [OK] をクリックする



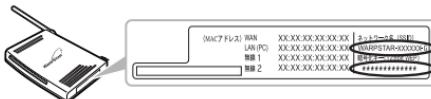
2 設置・接続をする

2-4 無線 LAN 内蔵のゲーム機 から接続する

本商品に無線 LAN 内蔵のゲーム機を接続することができます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）底面に記載されている無線設定をゲーム機側に設定してください。

設定方法については、各ゲーム機に添付の取扱説明書を参照してください。



※これは、2.4GHz モード側の初期値を表示しています。5GHz モード側のネットワーク名の初期値は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。

- ゲーム機側に、ネットワーク名 (SSID) および暗号化方式 (WEP:128bit)、暗号化キーの設定が必要です。
- らくらく無線スタートで設定することもできます。設定可能なゲーム機については、ホームページ AtermStation をご確認ください。

<無線接続できるゲーム機>

- ・ Wii®
- ・ ニンテンドーDS®
- ・ PLAYSTATION®3
- ・ PSP® 「プレイステーション・ポータブル」

無線 LAN アクセスポイント（親機）の場合

クイック設定 Web で設定を行うには、あらかじめ無線 LAN アクセスポイント（親機）とパソコンとの通信ができる状態にしておく必要があります。

無線 LAN 端末（子機）から設定を行う場合は、「つなぎかたガイド」を参照して無線 LAN アクセスポイント（親機）との無線設定が完了してから設定してください。

クイック設定 Web を利用するための準備

無線 LAN アクセスポイント（親機）と接続できているかどうかは、IP アドレスが正しく取得できるかどうかで確認することができます。

■ Windows Vista™ および

Windows® XP/2000 Professional の場合

- ① [スタート]（Windows® のロゴボタン） – [(すべての) プログラム] – [アクセサリ] – [コマンドプロンプト] をクリックする
- ② “ipconfig /renew” を入力して [Enter] キーを押す
- ③ IP アドレス（IP Address または IPv4 アドレス）が “192.168.0.XXX” になることを確認する

■ Windows® Me/98SE の場合

（※WL54SC2、WL54SU2はWindows® Me/98SEではご利用になれません。）

- ① [スタート] – [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- ② “winipcfg” を入力して [OK] をクリックする
- ③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウインドウの ▾ をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）と接続しているネットワークアダプタ名を選択する
- ④ [すべて解放] をクリックする
- ⑤ [書き換え] をクリックする
- ⑥ IP アドレスが “192.168.0.XXX” になることを確認する
- ⑦ [OK] をクリックする

クイック設定 Web の起動のしかた

クイック設定 Web で設定を行う場合は、次の手順で起動します。

設定方法については、ホームページに掲載されている「**⑩機能詳細ガイド**」の「クイック設定 Web の使い方」を参照してください。

①パソコンなどを起動する

②WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、クイック設定 Web のページを開く



無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力して開くこともできます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）例：http://192.168.0.1/

無線 LAN アクセスポイントモードに設定した場合は、「①無線 LAN アクセス ポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」（☞P99）を参考してください。

③ユーザー名とパスワードを入力する

ユーザー名には「admin」と入力し、パスワードには「つなぎかたガイド」で設定した管理者パスワードを入力してください。

ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。

*パスワード入力画面が表示されないときには（「WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない」☞P119）



④ [OK] をクリックする



お知らせ

- クイック設定 Web、らくらく Web ウィザードが利用できる WWW ブラウザについては、「設定方法について」（☞P45）を参照してください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの WWW ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- クイック設定 Web の画面のデザインは変更になることがあります。
- PPPoE の外付けブロードバンドモデルを使用するとき、ブロードバンドモデルに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデルに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定をしてください。

お願い

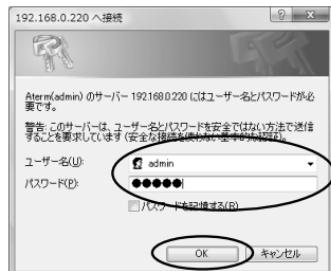
- クイック設定 Web の設定は、[登録] をクリックして無線 LAN アクセスポイント（親機）を再起動してからでないと有効になりません。

WL54SE2（イーサネットコンバータ）の場合

起動のしかた

クイック設定 Web で WL54SE2 の設定を変更する場合は、次の方法で起動します。
パソコンの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認してください。

- 1 WL54SE2（イーサネットコンバータ）から AC アダプタのプラグをいったん外し、約 10 秒待つ
- 2 WL54SE2（イーサネットコンバータ）側面のらくらくスタートボタンを押しながら、AC アダプタのプラグを接続し、AIR ランプが赤点滅したら、らくらくスタートボタンを離す
無線アクセスポイント（親機）との無線接続はいったん切断されます。
WL54SE2（イーサネットコンバータ）の DHCP サーバが起動します。
- 3 パソコンなどを起動する
- 4 WWW ブラウザを起動し、WL54SE2（イーサネットコンバータ）の IP アドレスを入力し、設定画面を開く（工場出荷時は 192.168.0.220 です）
例：http://192.168.0.220/
WL54SE2（イーサネットコンバータ）の WWW ブラウザの設定画面が表示されない（☞P126）
- 5 ユーザー名には「admin」と入力し、P63 で設定したパスワードを入力し、[OK] をクリックする
(ユーザー名は、半角小文字で入力してください。)
クイック設定 Web が表示されます。



3

本商品を使いこなす

設定項目について

ここではそれぞれの項目で何が設定できるのかを説明しています。

設定項目の詳細については機能詳細ガイドを参照してください。



設定の登録のしかた

それぞれのページで「設定」をクリックしたあと、「登録」をクリックしてください。

WL54SE2（イーサネットコンバータ）を再起動することにより設定内容をWL54SE2（イーサネットコンバータ）に書き込みます。

【基本設定】 – 【基本設定】

ネットワーク名（SSID）や、暗号化を設定します。

詳細については、P64、65 を参照してください。

【詳細設定】 – 【詳細設定】

ネットワーク設定（IP アドレス、ネットマスク）、無線 LAN 設定（無線クライアントモード、送信出力、Super AG 機能）を設定します。

【メンテナンス】 – 【管理者パスワードの変更】

管理者パスワード（パスワード）を設定できます。（初期値：空欄）

使用できる文字は半角英数字、-（ハイフン）、_（アンダースコア）で、64 文字以内です。

【メンテナンス】 – 【設定値の初期化】

【設定値の初期化】をクリックすると WL54SE2（イーサネットコンバータ）の設定が初期値に戻ります。

【メンテナンス】 – 【ファームウェア更新】

次の手順で、WL54SE2（イーサネットコンバータ）のバージョンアップができます。

①最新のファームウェアをホームページ AtermStation からダウンロードする

画面左下の【Aterm Station】をクリックすると、ホームページ AtermStation にリンクします。

ファイルが圧縮されている場合は、解凍します。

②【参照】をクリックする

③ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

④【更新】をクリックする

⑤【OK】をクリックする

⑥【OK】をクリックする

【情報】 – 【現在の状態】

TOP ページに WL54SE2（イーサネットコンバータ）の無線 LAN 通信状態、ネットワーク情報、装置情報が表示されます。

【情報】 – 【チャネルの状態】

周囲の無線 LAN アクセスポイント（親機）のチャネル状態を表示します。

【リンク】

ホームページ AtermStation、お客様登録のページにリンクしています。

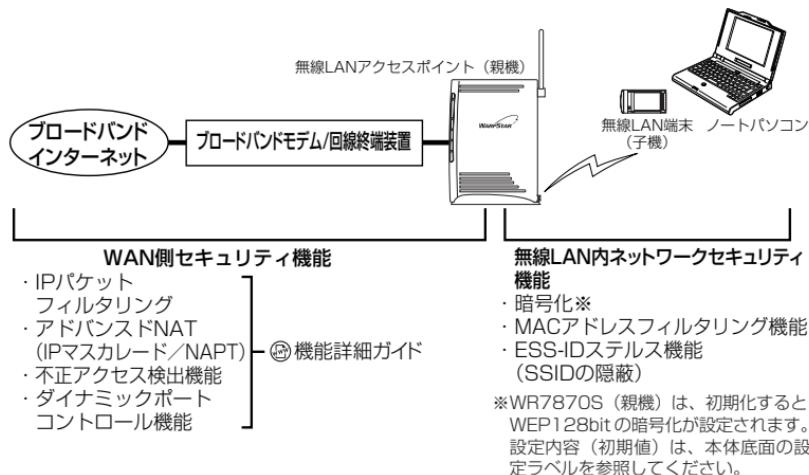
*お使いのモデムやルータ、およびパソコンの設定環境によってはリンク先に接続できない場合があります。

*インターネットに接続している場合のみリンク先に接続できます。

セキュリティ機能について

本商品には、ブロードバンド（ADSL／CATV／FTTH 線）からの不正なアクセスを防ぐ「WAN回線側セキュリティ機能」と、無線ネットワーク内のデータのやりとりを他人に見られたり、不正に利用されないための「無線 LAN 内ネットワークセキュリティ機能」があります。必要に応じてセキュリティの設定を行ってください。

設定方法については、「 機能詳細ガイド」を参照してください。



セキュリティ対策を行うことの重要性について

- インターネットに接続すると、ホームページを閲覧したり、電子メールで情報をやりとりすることができ、とても便利です。しかし、同時に、お使いのパソコンはインターネットからの不正なアクセスの危険にさらされることになります。悪意のある第三者から、パソコンやルーターに不正にアクセスされることによって、大事なデータを盗まれたり、ブロードバンド回線を無断利用されたりすることも考えられます。特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合にはその危険性を考慮して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。
本商品の機能を利用してセキュリティ対策を行ってください。
また、ウィルス対策ソフトウェアの導入など、パソコン側のセキュリティ対策も合わせて行っていただくことをお勧めします。
- 無線 LAN 端末（子機）による無線通信を行う場合は、無線 LAN 内のセキュリティ対策を行うことをお勧めします。無線 LAN 内のセキュリティ対策を行わない状態では、離れた場所から、お使いの無線ネットワークに入り込まれる危険性があります。無線ネットワーク内に入り込まれると、パソコンのデータに不正にアクセスされたり、あなたになりすましてブロードバンド回線を使用し、インターネット上で違法行為などを行われる危険性があります。

3-2 セキュリティ対策をする

他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できないようにする

本商品は、他の無線 LAN パソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）や自分のパソコンに不正アクセスされないようにする機能として、無線データの暗号化機能、ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）、MAC アドレスフィルタリング機能を搭載しています。無線 LAN 端末（子機）が複数台ある場合は、それぞれの無線 LAN 端末（子機）についての設定を行う必要があります。設定方法については、「 機能詳細ガイド」を参照してください。



無線暗号化

ユーザーが指定した任意の文字列（暗号化キー）を無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）に登録することによって、暗号化キーが一致した場合のみ通信ができるようになる機能です。これにより、送受信される無線データを暗号化して保護しますので、第三者からの傍受や盗聴から守ります。

<暗号化方式について>

● WEP (Wired Equivalent Privacy)

IEEE802.11 で定められた暗号化方式。

● TKIP (Temporal Key Integrity Protocol)

Wi-Fi Alliance の新セキュリティプロトコル（WPA）に採用の暗号化方式。

パケットごとに暗号化キー（WEP）を変更する機能やメッセージごとに改ざんを防ぐ機能があるため、WEP よりさらに強固なガードを実現します。

● AES (Advanced Encryption Standard)

米国商務省標準技術局（NIST）が選定した次世代の暗号化方式。

WEP よりさらに強固な暗号化を行うことができます。

お願い

- 暗号化の設定は必ず無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で同じ設定にしてください。
- 5GHz モードと 2.4GHz モードで同じネットワーク名（SSID）を設定している場合は、必ず暗号化モードや暗号化キーも同じにしてください。違う暗号化モードや暗号化キーを設定すると、接続できなくなる場合があります。
- 複数の無線 LAN 端末（子機）を使用する場合、すべての無線 LAN 端末（子機）に無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ暗号化キーを設定してください。
- WR7870S（親機）を初期化した場合は、WEP128bit（キーインデックス：1 番）に初期値が設定されます。ネットワーク名（SSID）および暗号化キー（WEP キー）の内容（初期値）は、本体底面の設定ラベルを参照してください。
- 1 つのネットワークで使用できる暗号化方式は、1 つです。混在はできません。また、AES、TKIP の暗号化方式をご利用になるには、対応した無線 LAN 端末（子機）が必要です。



お知らせ

- 暗号化設定は、無線動作モードごとに設定できます。使用する無線動作モードを変更する場合は、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 基本設定」で設定します。詳細は「 機能詳細ガイド」を参照してください。

ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）

無線 LAN 機器が、通信するお互いを識別する ID としてネットワーク名（SSID とも呼びます）があります。このネットワーク名（SSID）が一致しないと無線通信ができません。一般にネットワーク名（SSID）は検索することができますが、他のパソコンからのアクセスに対し、ネットワークの参照に応答しないようにすることができます。

※本商品独自の機能です。Aterm 以外の無線 LAN 端末（子機）では、接続できない場合があります。WL54SC2／WL54SU2 の設定ユーティリティは、サテライトマネージャをお使いください。

3

本商品を使いこなす



お知らせ

- ESS-ID ステルス機能（SSID の隠蔽）の設定は、無線動作モードごとに設定できます。使用する無線動作モードを変更する場合は、クリック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 基本設定」で設定します。詳細は「 機能詳細ガイド」を参照してください。

MAC アドレスフィルタリング機能

MAC アドレスが登録された無線 LAN 端末（子機）とのみデータ通信できるようにする機能です。これにより、MAC アドレスが登録されていない無線 LAN 端末（子機）から LAN やインターネットへ接続されるのを防ぐことができます。

※MAC アドレスフィルタリングで登録できる MAC アドレスは 5GHz モードと 2.4GHz モードで共通です。MAC アドレスフィルタリング機能を使用するかどうかは 5GHz モードと 2.4GHz モードで個別に設定できます。

使用する無線動作モードを変更する場合は、クリック設定 Web の「無線 LAN 設定」—「無線 LAN 基本設定」で設定します。詳細は「 機能詳細ガイド」を参照してください。

① WL54SE2（イーサネットコンバータ）を使用している場合

無線 LAN アクセスポイント（親機）で MAC アドレスによる接続制限（MAC アドレスフィルタリング）を行う場合、WL54SE2（イーサネットコンバータ）の無線クライアントモードによって次のように設定してください。

＜WL54SE2（イーサネットコンバータ）の無線クライアントモードが標準モードまたは拡張モードの場合＞

WL54SE2（イーサネットコンバータ）の底面に記載されている無線の MAC アドレスを登録することで無線接続する WL54SE2（イーサネットコンバータ）を制限できます。

＜WL54SE2（イーサネットコンバータ）の無線クライアントモードが MAC クローンモードの場合＞

WL54SE2（イーサネットコンバータ）の底面に記載されている無線の MAC アドレスと WL54SE2（イーサネットコンバータ）に接続しているパソコンなどの端末の MAC アドレスをすべて登録してください。

→WL54SE2（イーサネットコンバータ）では接続されている複数の端末のうち、最初にアクセスのあった端末の MAC アドレスを記憶し、他の端末からのアクセス時は MAC アドレスを最初の端末のものに変換します。

このため、MAC アドレスフィルタに未登録の端末が最初にアクセスすると、LINK ランプが消灯し、WL54SE2（イーサネットコンバータ）に接続しているすべての端末が無線接続できなくなります。（WL54SE2（イーサネットコンバータ）の電源を入れたときに MAC アドレスを登録された端末が接続されていない場合も、無線接続できなくなります。）

なお、既に LINK ランプが点灯している WL54SE2 に、MAC アドレスが未登録の端末を接続すると通信できてしまいます。



お知らせ

●無線 LAN アクセスポイント（親機）側の「MAC アドレスフィルタリング機能」を使用している場合に、WL54SE2（イーサネットコンバータ）の無線クライアントモード（初期値：「拡張モード」）を「MAC クローンモード」にして利用するには、下記の手順で設定してください。

①らくらく無線スタートでの設定を行う。（ 「つなぎかたガイド」）

②無線 LAN アクセスポイント（親機）側のクリック設定 Web で「MAC アドレスフィルタリング」の設定で、WL54SE2（イーサネットコンバータ）に接続するすべてのパソコンやゲーム機などの MAC アドレスを登録する。

③無線 LAN アクセスポイント（親機）側のクリック設定 Web で「MAC アドレスフィルタリング機能」を「使用する」に設定する。

④WL54SE2（イーサネットコンバータ）のクリック設定 Web で無線クライアントモードを「MAC クローンモード」に変更する。（ P88）

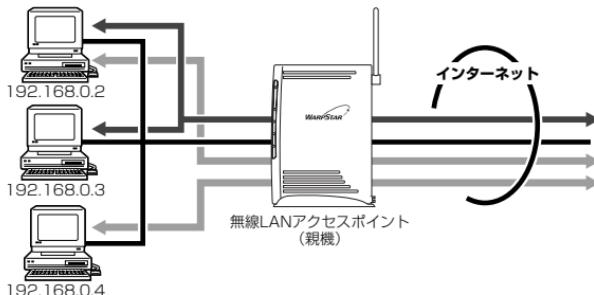
3-3 便利な機能

複数の接続先に接続する設定（PPPoE マルチセッション）

PPPoE マルチセッションとは、1 つの回線契約で複数の接続先へ同時に接続を行う機能です。

接続先の登録数は最大 5 箇所、同時接続可能セッション数は最大 3 箇所です。

本機能は、プロバイダや接続事業者のサービス内容をご確認のうえ、ご使用ください。



接続先は、「優先する接続先（優先接続）」1 箇所とその他の接続先として 4 箇所までを設定できます。（例：一般的なフレッツ契約では 1 回線につき 2 セッションまで許容されています。）

また、優先する接続先以外の接続先には、それぞれの「静的ルーティング設定」で、LAN 側から WAN 側へのパケット振り分けルールを設定します。

LAN 側から WAN 側へのパケットのうち、「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致するパケットおよびその応答パケットは、条件の一致した「その他の接続先」のアカウントを使って接続します。

「静的ルーティング設定」で設定した条件と一致しなかったパケットおよびその応答パケットは、「優先接続」に指定されている接続先のアカウントを使って接続します。

設定方法については機能詳細ガイドを参照してください。



お知らせ

ー制限事項ー

- PPPoE マルチセッションで本商品の UPnP 機能をご利用になる場合は、UPnP 機能をご利用になる接続先を「優先接続」に指定してください。

UPnP 機能をご利用になる接続先が「優先接続」に指定されていない場合は、正常に通信できなくなることがあります。

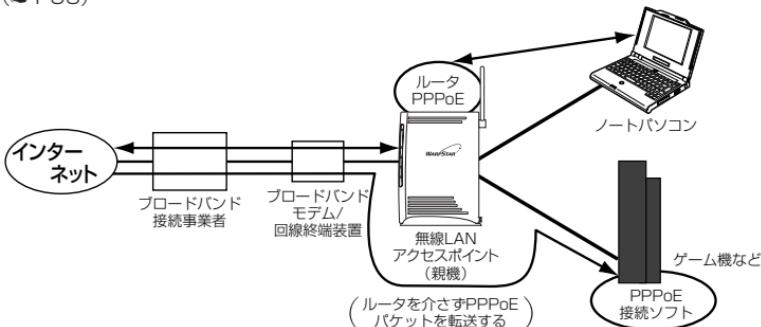
※本商品の初期状態では、[接続設定 1] が UPnP 機能の優先接続先になっています。

PPPoE ブリッジ機能

パソコンやゲーム機などで PPPoE (PPP over Ethernet) プロトコルの利用が必要な場合やグローバル IP アドレスが必要なアプリケーションを利用する場合は、PPPoE ブリッジ機能を使用して、接続できます。

無線 LAN アクセスポイント（親機）が PPPoE モードのときに使用することができます。本機能を使用した場合、LAN 側に接続されているパソコンやゲーム機のうち使用できるのは最大 8 台までです。PPPoE ブリッジで接続できるパソコンやゲーム機の台数は接続事業者によって異なります。接続事業者にてご確認ください。

※ PPPoE プロトコルの利用やグローバル IP アドレスの利用が必要ではなく、複数のセッションで通信したい場合は、PPPoE マルチセッションをご利用いただけます。
(☞P93)



■ PPPoE ブリッジ機能でできること

(1) 次のアプリケーションなどをご利用いただけます。

〈利用確認アプリケーション〉

● Windows® XP の場合

リモート デスクトップ

リモート アシスタンス

● Windows Vista™ の場合

リモート デスクトップ

Windows リモート アシスタンス

Windows ミーティングスペース

(2) PPPoE 対応のゲーム機 (PlayStation®2 など) を接続できます。

(3) PPPoE ブリッジ機能を用いることにより、ご利用のパソコンは、無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能や NAT 機能を介さずに、直接無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続しているプロードバンドモデム／回線終端装置と PPPoE の処理を行うため、パソコンにグローバル IP アドレスを取得することができます。

● お願い

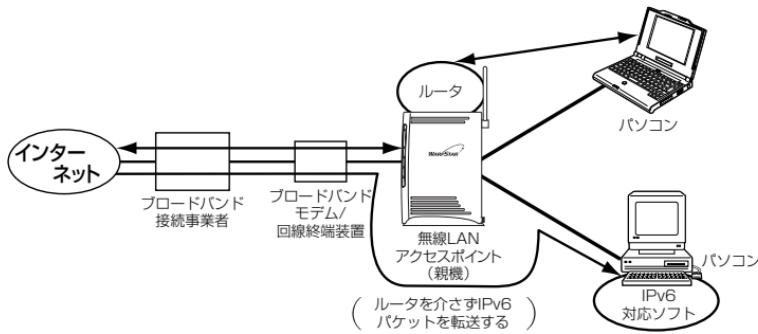
- アプリケーションの操作方法は、パソコンのサポート窓口でお問い合わせください。

- 「PPPoE ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどを使いになることをお勧めします。

IPv6 ブリッジ機能

IPv6 (Internet Protocol Version 6) プロトコルの利用が必要なサービスをご契約の場合は、IPv6 ブリッジ機能を使用して、IPv6 による通信を行うことができます。有線側、無線側それぞれについて、ブリッジ機能の使用可否を設定することができます。本商品とパソコン側の設定が必要です。本商品の設定方法については、「[⑩ 機能詳細ガイド](#)」を参照してください。

ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコン側の設定をすることで、利用できます。



お知らせ

- Ethernet タイプの無線 LAN 端末（子機）から無線接続して IPv6 ブリッジ機能をご利用になる場合は、拡張クライアントモードに対応した WL54SE2/WL54SE をご利用ください。（WL54TE/WL11E2 ではご利用になれません。）
なお、WL54SE は、拡張クライアントモードに対応させるために、ファームウェアのバージョンアップが必要な場合があります。ホームページ AtermStation の「ダウンロード」 - 「バージョンアップ」にてご確認ください。
- ブロードバンド映像配信の一部のサービスは、無線で利用できない場合があります。
セットトップボックスは本商品に接続し、有線 LAN 接続でご利用ください。



お願い

- パソコン側の設定方法は、お使いのプロバイダのサポート窓口でお問い合わせください。
- 「IPv6 ブリッジ機能」では、外部からのアクセスが可能になり、セキュリティが低下します。セキュリティ対策ソフトなどをお使いになることをお勧めします。

DMZ ホスティング

外部からのアクセスを LAN 上のあらかじめ指定したパソコンにすべて転送する機能です。Web／FTP サーバの外部公開や LAN 上へファイアウォールを設定することができます。

(  機能詳細ガイド)

VPN パススルー

VPN クライアントのソフトウェアを使って会社のネットワークに自宅から接続するなど VPN (Virtual Private Network : 仮想閉域網) に PPTP/IPsec で接続できます。

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「 機能詳細ガイド」を参照してください。

IP パケットフィルタリング

宛先／送信元 IP アドレスやポート番号、パケットの方向などを指定して、パケットの通過を制限する機能です。

不必要的パケットの送受信を制限することができるので、セキュリティの高いネットワークが構築できます。

(  機能詳細ガイド)

ポートマッピング

あらかじめ固定的に使用するポート番号と転送先パソコンを指定することで、ネットワーク対応ゲームやストリーミングなどの外部から直接アクセスが必要なアプリケーションの通信が使用できます。

(  機能詳細ガイド)

UPnP 機能

本商品とパソコンの UPnP (ユニバーサルプラグアンドプレイ) 機能を利用して、TV 電話をするなど、パソコンの Windows Live Messenger、Windows Messenger や MSN Messenger の機能をご利用になることができます。

本商品とパソコン側の設定が必要です。設定方法の詳細については、「 機能詳細ガイド」を参照してください。

ただし、本商品の設定は初期値で「使用する」になっていますので、パソコンで、UPnP の設定をすることで、利用ができます。



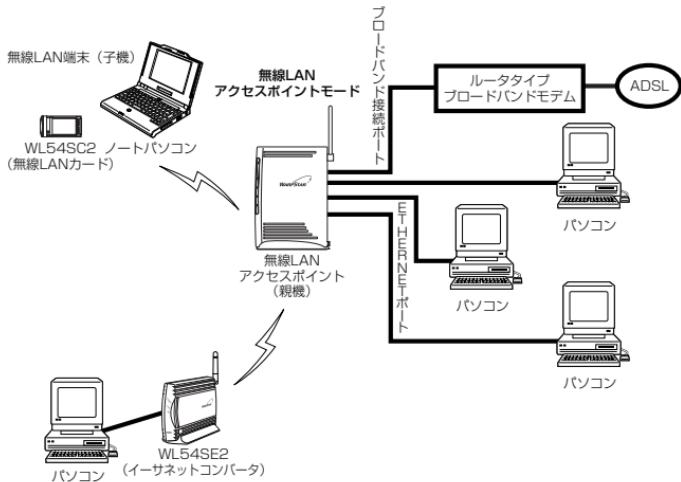
お知らせ

- UPnP 機能は、Windows Vista™、Windows ®XP/Me のパソコンでのみご利用になります。
- フレッツ・ADSL などの PPPoE が使用できる環境では、PPPoE ブリッジ機能を使用することで、1 台のパソコンのみで利用ができます。
- ルータタイプの ADSL モデムにルータモード（ローカルルータモード）で接続している時は、上記の機能はご利用になれません。ADSL モデムを PPPoE ブリッジモードに切り替えて本商品を PPPoE モードに設定するか、本商品を無線 LAN アクセスポイントモードに設定してお使いください。

3-4 無線 LAN アクセスポイントとして使う(ルータ機能を停止する)

本商品では、無線 LAN アクセスポイントモードを利用して、既存の LAN に無線のアクセスポイントとして接続したり、ルータタイプのブロードバンドモデムや、下記のような構成でネットワークを拡張することができます。

本モード設定によりルータ機能が停止し、ハブおよび無線 LAN アクセスポイントとして動作します。



お知らせ

- ルータタイプのブロードバンド modem と接続する場合で、次のような場合には本商品のルータ機能を止めて無線 LAN アクセスポイントモードをご利用ください。
 - ・ 本商品の持つルータ機能を使用しないとき
 - ・ ルータ機能を持つ装置を多重した接続になり、回線が持つスループットを十分に引き出しきることができないとき
- ルータモード（ローカルルータモード）と無線 LAN アクセスポイントモードでは次のような違いがあります。
ルータタイプのブロードバンド modem をお使いの場合は、お使いの環境に合わせて、それぞれのモードをお使いください。

<ルータモード（ローカルルータモード）と無線 LAN アクセスポイントモードの使い分け>

	お勧めの環境	制限事項など
ルータモード (ローカルルータモード)	ルータを多重化接続してセキュリティを高めたい場合。	無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能をご利用いただけますが、ブロードバンド modem と設定が競合するため、正しく動作しない場合があります。
無線 LAN アクセスポイントモード	ルータを多重化することにより回線がもつスループットを十分に引き出せない場合。	無線 LAN アクセスポイント（親機）のルータ機能は停止されます。ブロードバンド modem のルータ機能をご利用いただけます。

3-4 無線LANアクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）

無線LANアクセスポイントモード設定

無線LANアクセスポイントモードの設定は、らくらくスタートボタン（SETスイッチ）か、らくらくWebウィザードで行います。

●らくらくスタートボタン（SETスイッチ）で設定する場合

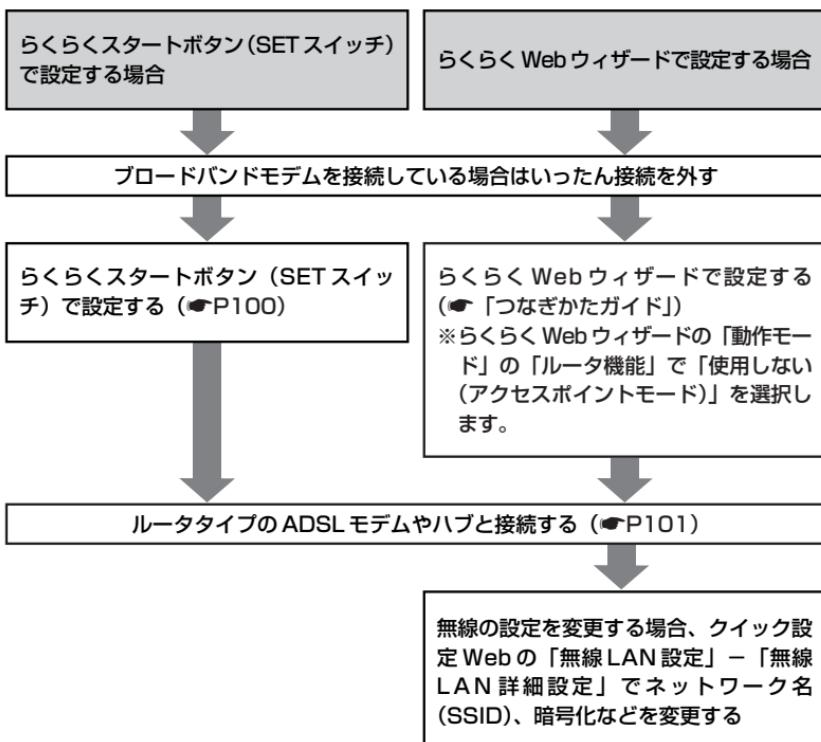
→無線LANアクセスポイント（親機）の設定値を工場出荷時状態のまま変更せずにご利用になる場合は、この設定方法をお勧めします。

設定の際は、無線LANアクセスポイント（親機）の設定値が、いったん初期化されます。初期化を行うと、本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。

●らくらくWebウィザードで設定する場合

→無線LANアクセスポイント（親機）の設定値を変更する予定がある場合は、この設定方法をお勧めします。

設定手順は下記の通りです。



！無線LANアクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止する）した場合のご注意

- 無線LANアクセスポイントモードで、「らくらく無線スタート」を行う場合は、必ず、ブロードバンドモデムなどDHCPサーバ機能を持った機器を本商品に接続した状態で行ってください。
- 無線LANアクセスポイントモードで、クイック設定Webを開く場合は、「http://web.setup/」およびデスクトップの【クイック設定Web】アイコンから開くことはできません。
→無線LANアクセスポイントモードでのクイック設定Webの開き方は下記の通りです。
(無線LANアクセスポイントモードの設定方法によって開き方が異なりますのでご注意ください。)

<らくらくスタートボタンで無線LANアクセスポイントモードに設定した場合>
パソコンのIPアドレスを「192.168.0.XXX」(XXXは2~199,211~254で同一ネットワーク内で使用していないIPアドレス)に固定に設定したあと、WWWブラウザのアドレスに、「http://192.168.0.210/」と入力して開きます。

<らくらくWebウィザードで無線LANアクセスポイントモードに設定した場合>
WWWブラウザのアドレスに、らくらくWebウィザードでの設定で指定したIPアドレスを入力して開きます。(例：http://192.168.0.210/)
※ブロードバンドモデムなどDHCPサーバ機能を持った機器を接続していないときは、パソコンのIPアドレスを、らくらくWebウィザードでの設定で指定したIPアドレスと同じネットワーク体系に固定に設定してから、この方法で開きます。

3-4 無線LANアクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）

らくらくスタートボタン（SETスイッチ）で設定する

らくらくスタートボタン（SETスイッチ）を使用して、無線LANアクセスポイントモードに設定します。無線LANアクセスポイント（親機）の設定値が初期化され、工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。



- 本商品の無線設定を変更（SSIDや暗号化の設定を変更）した後に、この方法で切り替えると、切り替え前に接続できていた無線LAN端末（子機）から接続できなくなります。
→無線設定が工場出荷時の状態に戻っていますので、再度、本商品と無線LAN端末（子機）との無線設定を行ってください。（☞機能詳細ガイド）

1

無線LANアクセスポイント（親機）からACアダプタのプラグをいったん外して、約10秒待つ

2

無線LANアクセスポイント（親機）背面のらくらくスタートボタン（SETスイッチ）を押しながら、ACアダプタのプラグを接続し、POWERランプ以外のすべてのランプが緑点滅したら、らくらくスタートボタン（SETスイッチ）を離す



3

PPPランプが橙点灯することを確認する



お知らせ

- この方法で設定したあとに、ルータモード（ローカルルータモード）に変更する（ルータ機能を使用する）場合は、無線LANアクセスポイント（親機）を初期化し（☞P110）、クリック設定Web（らくらくWeb ウィザード）で本商品の設定をはじめから行ってください。（☞「つなぎかたガイド」）

「ルータタイプのADSLモデムやハブと接続する」（☞P101）に進みます。



3-4 無線 LAN アクセスポイントとして使う（ルータ機能を停止する）

ルータタイプの ADSL モデムやハブと接続する

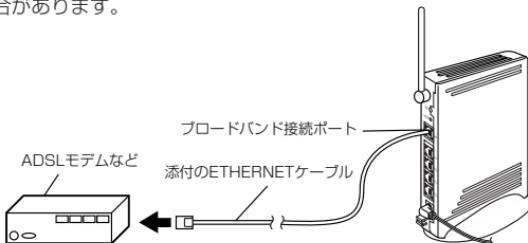
必要があれば無線 LAN アクセスポイント（親機）とルータタイプの ADSL モデムまたはハブを接続します。

1

無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面にあるブロードバンド接続ポートとルータタイプの ADSL モデムなどを ETHERNET ケーブルで接続する

ブロードバンド接続ポートにカチッと音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。

ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。



2

ADSL モデムのなど電源を入れる

3

無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯することを確認する

ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑または赤点灯すれば、ADSL モデムは正しく接続されています。



お知らせ

- らくらく Web ウィザードで設定した場合、無線の設定を変更するときは、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 詳細設定」でネットワーク名 (SSID)、暗号化などを変更します。

※クイック設定 Web を開く場合は、「①無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」(P99) を参照してください。

3-5 他の無線 LAN 端末（子機）から接続する

Aterm シリーズの無線 LAN 端末（子機）

Aterm シリーズ以外の無線 LAN 端末（子機）の場合は、P104へ進んでください。
※については P105 を参照してください。

WL54SC2/WL54SC/WL54AG/WL300NC/WL130NC/
WL54SU2/WL54SU/WL54TU/WL54SE2/WL54SE/WL54TE



設定方法を確認し、無線 LAN 端末（子機）側の設定を行います。

らくらく無線スタートで設定してください。

WL54SC2/WL54SU2 の場合

本商品に添付のつなぎかたガイドまたは、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書および CD-ROM を使用して、らくらく無線スタートで設定してください。

WL54SC/WL54AG/WL130NC/WL300NC/WL54SU/WL54TU の場合（※ 1）

無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書および CD-ROM を使用して、らくらく無線スタートで設定してください。

WL54SE2 の場合

本商品に添付のつなぎかたガイドまたは、無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書を参照して、らくらく無線スタートで設定してください。

WL54SE/WL54TE の場合

無線 LAN 端末（子機）に添付の取扱説明書を参照して、らくらく無線スタートで設定してください。

※らくらく Web ウィザードでの設定は 1 台目のパソコンからの設定が無線 LAN アクセスポイント（親機）に書き込まれていますので設定の必要はありません。



無線 LAN 端末（子機）からのインターネット接続を確認する



下記の無線LAN端末（子機）では、設定の際に現在無線LAN端末（子機）側で使用している設定ツール（サテライトマネージャなど）とドライバが必要です。アンインストール（削除）はしないでください。いったん削除してしまった場合は、ホームページAtermStationにて最新版をダウンロードし、インストールすることができます。

WL11C2

WL11CA
/WL11CBWL11C/WL11U
/WL11U(W)

WL11E2

無線LAN端末（子機）の設定にあわせて無線LANアクセスポイント（親機）側の設定を行います。

無線LANアクセスポイント（親機）にMACアドレスフィルタリングの設定を行っている場合は、無線LAN端末（子機）のMACアドレスを登録しておいてください。「MACアドレスフィルタリング機能」（☞P92）（※2）（※3）

クリック設定Webで無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化設定を64bitWEPに変更します。

クリック設定Webで無線LANアクセスポイント（親機）の暗号化キーを16進に変更します。

無線LAN端末（子機）を使用するパソコンのOSを確認します。（※4）

Windows® XP以外のOSの場合
(Windows Vista™は除く)

Windows® XPの場合

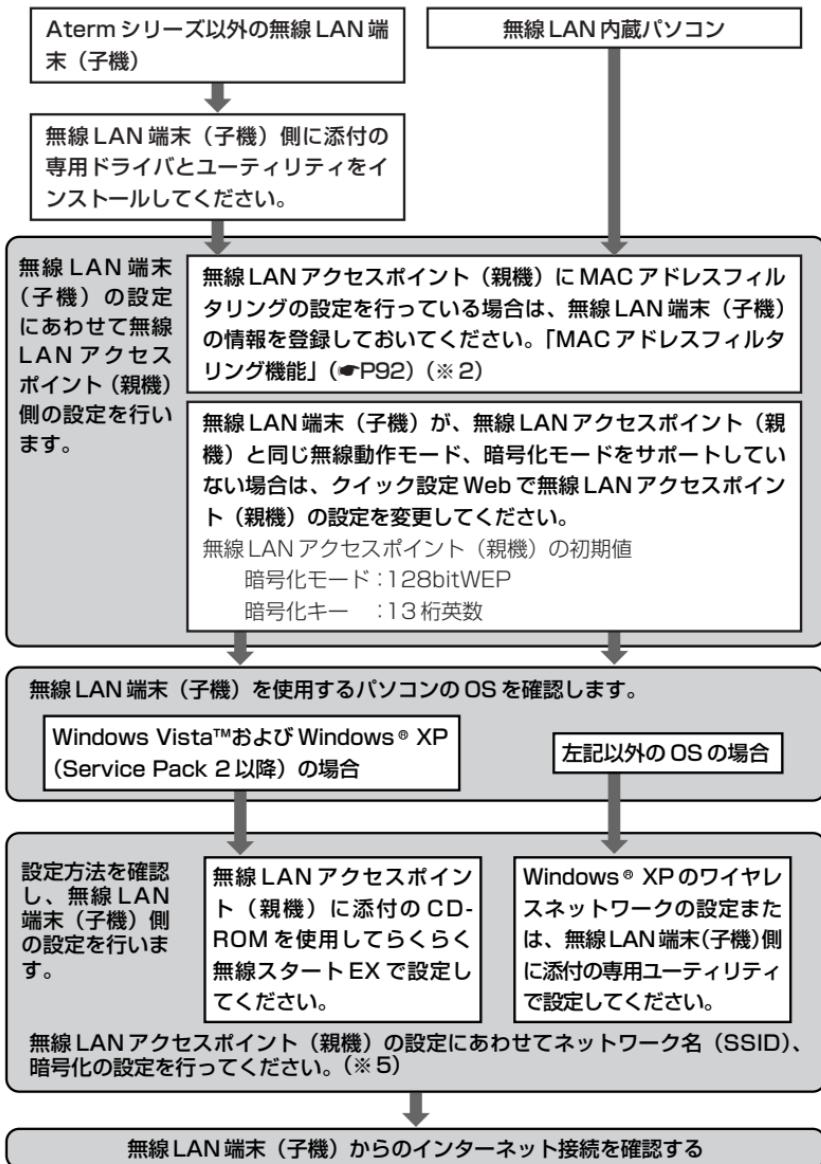
無線LAN端末（子機）側のCD-ROMからドライバとユーティリティ（サテライトマネージャ）をインストールし、無線LAN端末（子機）側のユーティリティ（サテライトマネージャ）で設定してください。（※6）

Windows® XPのワイヤレスネットワークの設定で設定してください。（※6）

無線LAN端末（子機）のクリック設定Webで設定してください。

無線LANアクセスポイント（親機）の設定に合わせてネットワーク名（SSID）、暗号化の設定を行ってください。（※5）

Atermシリーズ以外の無線LAN端末（子機）



- ※ 1 WL130NCは、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信でのみ、本商品に接続できます。
- ※ 2 すでにインターネット接続が可能な場合、MACアドレスフィルタリングの設定をしていただくことをお勧めします。
- ※ 3 WL54SE2（イーサネットコンバータ）/WL54SE/WL54TE（ETHERNETボックス）、WL11E2（ETHERNETボックス）の場合はWL54SE2（イーサネットコンバータ）/WL54SE/WL54TE（ETHERNETボックス）、WL11E2（ETHERNETボックス）に接続しているパソコンなどの端末のMACアドレスも登録してください。
- ※ 4 使用できるOSは接続する無線LAN端末（子機）によって異なります。
- ※ 5 無線LANアクセスポイント（親機）の工場出荷時のネットワーク名（SSID）は無線LANアクセスポイント（親機）の底面に貼ってある無線LAN設定ラベルに記載されています。
- ※ 6 Windows VistaTMまたはWindows[®] XP（Service Pack 2以降）のパソコンでお使いの場合は、無線LANアクセスポイント（親機）に添付のCD-ROMを使用して、らくらく無線スタートEXで設定することもできます。

※本商品はIEEE802.11a通信で5GHz帯（W52/W53/W56）に対応しています。従来のチャネル（J52）とは使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。

以下の相互接続一覧表を参照のうえ、ご注意ください。

バージョンアップ対応機種などの最新情報は、ホームページAtermStationにてご確認ください。

無線LAN端末（子機）	IEEE802.11a（J52）対応 無線LAN端末（子機）	WL54SC2/WL54SU2/ WL54SE2 (J52/W52/W53/W56)
無線LANアクセ spoイント（親機）		
WR7870S IEEE802.11a（W52/W53/W56）対応 無線LANアクセスポイント（親機）	×	◎
IEEE802.11a（J52）対応 無線LANアクセスポイント（親機）	△	△
IEEE802.11a（W52/W53）対応 無線LANアクセスポイント（親機）	×	○

◎：W52帯（5150-5250MHz）、W53帯（5250-5350MHz）、W56帯（5470-5725MHz）を使用して、最大19チャネルから選択が可能です。

○：W52帯（5150-5250MHz）、W53帯（5250-5350MHz）を使用して、最大8チャネルから選択が可能です。

△：J52帯（5150-5250MHz）を使用して、最大4チャネルから選択が可能です。

×：利用不可。



お知らせ

- 無線LANアクセスポイント（親機）に接続できる無線LAN端末（子機）は「7-1 別売りオプション」(●P141) やホームページAtermStation（「動作検証情報」—「無線LAN製品接続確認情報」）で確認してください。

4-1 ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

各種ユーティリティやファームウェアを最新のものにバージョンアップすることによって、WR7870S（親機）に新しい機能を追加したり、場合によっては、WR7870S（親機）の操作を改善します。

[用語] ファームウェア：本商品を動かすソフトウェアのことです。

ファームウェアやユーティリティをバージョンアップする

ホームページ AtermStation からダウンロードしてきた最新のファームウェアやユーティリティにバージョンアップします。

お願い

- ファームウェアのバージョンアップ中（約 1 分間）は絶対に WR7870S（親機）の電源を切らないでください。
- ファームウェアをバージョンアップするときは、そのあとでユーティリティも最新のものにバージョンアップしてください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと、本商品が動作しなくなります。
- バージョンアップを開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、タスクトレイ（Windows Vista™および Windows® XP の場合は「通知領域」）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

■ ファームウェアをバージョンアップする

● ファームウェアのワンタッチバージョンアップ

インターネットに接続された状態で、ホームページ AtermStation に新しいファームウェアが更新された場合に、クイック設定 Web のトップ画面に [ファームウェア更新] のボタンが表示されます。

このボタンをクリックすることで、簡単にバージョンアップができます。

* 無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、ご利用になれません。

(注) 本機能は、常に本商品の電源が ON になっており、かつインターネットに接続されている必要があります。

また、サーバ側の負荷分散のために更新情報の検出が数週間遅れる場合があります。



本サービスは、予告なく変更あるいは終了する場合があります。

詳しくは、ホームページ AtermStation をご覧ください。

4-1 フームウェアやユーティリティをバージョンアップする

●自動更新(オンラインバージョンアップ)

クイック設定Webからフームウェアのバージョンアップを行うことができます。
本商品からインターネットに接続できる必要があります。

※無線LANアクセスポイントモードに設定している場合は、ご利用になれません。

1 クイック設定Webを起動する

2 ユーザー名に【admin】と入力し、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックする

3 「メンテナンス」の ▾ をクリックし、「フームウェア更新」を選択する

4 「自動更新（オンラインバージョンアップ）」を選択する



5 [更新]をクリックする

6 [OK]をクリックする



7 次の画面が表示されるので、電源コンセントを取り外さずそのまましばらく待つ



(次ページに続く)

4-1 フームウェアやユーティリティをバージョンアップする

8

次の画面で、最新のフームウェアバージョンの数字が新しい場合は、[最新バージョンに更新]をクリックする

[現在のバージョン]と[最新のバージョン]が同じ場合はここで終了です。[閉じる]をクリックして、クイック設定Webを閉じます。



9

しばらくすると、クイック設定Web画面に「フームウェア更新中です。1分ほどお待ちください」と表示される

●バージョンアップの途中で電源を切らないでください。



10

[OK]をクリックする



■ユーティリティとファームウェアをダウンロードし、バージョンアップする

ホームページ AtermStation から、ユーティリティやファームウェアをダウンロードしてバージョンアップを行うことができます。

ダウンロードしたファームウェアでのバージョンアップ方法は「[⑩機能詳細ガイド](#)」を参照してください。

1 AtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) にアクセスする

2 「ダウンロード」 - 「バージョンアップ」にて、お使いの機種を選択する

3 内容をよく読んでご利用になるファームウェアやユーティリティをダウンロードする

4 ダウンロードが終了したら、インターネットの接続を切断する

5 ユーティリティのバージョンアップの場合は、ダウンロードしたファイルをダブルクリックする

インストールが始まります。

詳細は、各ユーティリティのセットアップのページや AtermStation の説明をお読みください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化する

初期化とは、無線 LAN アクセスポイント（親機）に設定した内容を消去して購入時の状態に戻すことをいいます。無線 LAN アクセスポイント（親機）がうまく動作しない場合や今までとは違う回線に接続し直す場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

初期化には、以下の方法があります。ご利用しやすい方法で行ってください。

クイック設定 Web で初期化する (☞ 下記)

RESET スイッチで初期化する (☞ P111)

初期化しても、購入後にお客様がバージョンアップした無線 LAN アクセスポイント（親機）のファームウェアはそのままです。

クイック設定 Web で初期化する

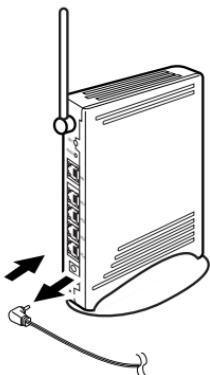
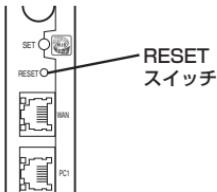
- 1 パソコンを起動する
- 2 WWW ブラウザを起動し、「http://web.setup/」を入力し、クイック設定 Web のページを開く
無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスを入力しても開きます。（工場出荷時は 192.168.0.1 です。）
例：http://192.168.0.1/
※無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、「①無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」(☞ P99) を参照してください。
- 3 ユーザー名に「admin」と入力し、管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックする
ユーザー名は、すべて半角小文字で入力してください。
- 4 「メンテナンス」の ▾ をクリックし、[設定値の初期化] を選択する
- 5 [工場出荷時設定に戻す] をクリックする


- 6 [OK] をクリックする
無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動します。

RESETスイッチで初期化する

無線 LAN アクセスポイント（親機）の RESET スイッチを使って初期化を行います。RESET スイッチは、背面にあります。

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っていることを確認する
 - 無線 LAN アクセスポイント（親機）の背面にある RESET スイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で押し続け、POWER ランプが赤点滅を始めたら離す
POWER ランプが赤点滅するまで約 6 秒～10 秒かかります。
 - 無線 LAN アクセスポイント（親機）から AC アダプタのプラグをいったん取り外したあと、10 秒ほど待ってから、再び差し込む



お願い

- 無線LANアクセスポイント（親機）の設定を初期化した場合、管理者パスワードの設定もクリアされ、パケットフィルタなどの設定も初期値に戻りますので、初期化後に必ず再設定してください。
 - 無線LANアクセスポイント（親機）は、工場出荷時に、ネットワーク名（SSID）、暗号化キーが設定されています。初期化するとネットワーク名（SSID）、暗号化キーの設定も工場出荷時の設定（無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載）になります。暗号化の設定を変更している場合などは、無線LAN端末（子機）から接続できなくなる場合があります。その場合は、無線LANアクセスポイント（親機）の設定を変更するか、無線LAN端末（子機）の暗号化設定も工場出荷時の状態（無線LANアクセスポイント（親機）の底面に記載）に戻してください。

WL54SE2（イーサネットコンバータ）を初期化する

WL54SE2（イーサネットコンバータ）に設定した内容を消去して初期値にします。WL54SE2（イーサネットコンバータ）がうまく動作しない場合や今までとは異なった使い方をする場合は、WL54SE2（イーサネットコンバータ）を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。

スイッチで初期化する

- WL54SE2（イーサネットコンバータ）のPOWERランプが緑点灯していることを確認する

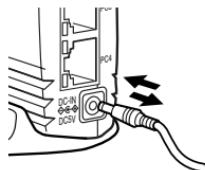
電源を入れ直した場合や電源を入れた直後の場合はWL54SE2（イーサネットコンバータ）が起動するまでしばらく待ちます。（30秒程度）

- WL54SE2（イーサネットコンバータ）の底面にあるリセットスイッチを細い棒状のもの（つまようじなど電気を通さない材質のもの）で長押しして、POWERランプが赤点滅を始めたら離す

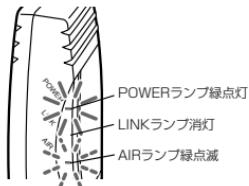
POWERランプが赤点滅するまで約6秒～10秒かかります。



- WL54SE2（イーサネットコンバータ）からACアダプタのプラグをいったん取り外したあと、約10秒ほど待ってから再び差し込む



- WL54SE2（イーサネットコンバータ）のPOWERランプが緑点灯、LINKランプが消灯、AIRランプが緑点滅すると初期化が完了する



■ WL54SE2（イーサネットコンバータ）の初期値

WL54SE2（イーサネットコンバータ）を初期化すると、次のような設定になります。

設定項目		初期値
無線 LAN 設定	ネットワーク名（SSID）	未設定
	暗号化モード	暗号化無効
	暗号化キー	未設定
	キー1	
	キー2	
	キー3	
	キー4	
	使用する暗号化キー番号	1番
	無線クライアントモード	拡張モード
	送信出力	100%
	Super AG 機能	使用する(圧縮あり)
ネットワーク設定	IP アドレス	192.168.0.220
	ネットマスク	255.255.255.0
管理者設定	管理者名	admin
	管理者パスワード	未設定



お知らせ

- 無線 LAN アクセスポイント（親機）とのセットモデルの場合、無線設定・ネットワーク名（SSID）・暗号化キーは設定済みです。（設定内容は無線 LAN アクセスポイント（親機）底面に貼付のラベルに記載されています。）設定を初期化してしまった場合は、上記の初期値になります。この場合の再設定方法については、「つなぎかたガイド」を参照してください。

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

本書の他に、ホームページに掲載している電子マニュアル「 機能詳細ガイド」の「お困りのときには」で、さまざまな症状と対策方法を記載しております。本章と合わせてご覧ください。

該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化し（ P110）、初めから設定し直してみてください。初期化を行うと本商品のすべての設定が工場出荷時の状態に戻りますのでご注意ください。初期化を行う前に、現在の設定内容を保存しておくことができます。（ 機能詳細ガイド）

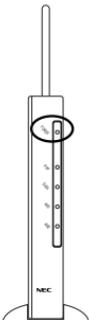
- ・設置に関するトラブル（ 下記）
- ・ユーティリティに関するトラブル（ P126）
- ・ご利用開始後のトラブル（ P132）
- ・添付の CD-ROM に関するトラブル（ P135）

設置に関するトラブル

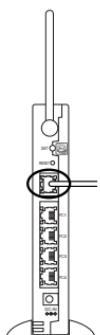
どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の POWER ランプは点灯していますか？	→いいえ (a 参照 )
↓ はい	
無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED は緑または赤点灯していますか？	→いいえ (b 参照 )
↓ はい	
無線 LAN 通信はできていますか？	
無線 LAN 端末（子機）からの接続の場合	無線 LAN アクセスポイント（親機）と正しく接続されていますか？
	→いいえ (c 参照 )
↓ はい	
パソコンに IP アドレスが設定されていますか？ (確認方法は、P118 を参照してください)	→いいえ (d 参照 )
↓ はい	
無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定が行えますか？	
WWW ブラウザ（クイック設定 Web）で無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示できますか？	→いいえ (e 参照 )
↓ はい	
< PPPoE モードの場合 >	
設定後、無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の PPP ランプが点灯していますか？ ※ルータモード（ローカルルータモード）の場合は、PPP ランプは点灯しません。	→いいえ (f 参照 )
< ルータモード（ローカルルータモード）の場合 >	
・ WAN 側 IP アドレスが正しく表示されていますか？ ・ クイック設定 Web の【情報】 - 【現在の状態】 - 【状態表示】で WAN 側 IP アドレスが表示されていますか？	→いいえ (g 参照 )
↓ はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ (h 参照 )

a.無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の POWER ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
POWER ランプが点灯しない 	<p>電源が入っていません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AC アダプタ（電源プラグ）が外れている → AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ● AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている → 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると無線 LAN アクセスポイント（親機）に供給されている電源も切れてしまいます。 ● AC アダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先またはお問い合わせ先にご相談ください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らないことがあります。

b.無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のプロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑または赤点灯しない

症 状	原因と対策
プロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑または赤点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> ● プロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていない → プロードバンドモデム／回線終端装置の電源を入れて、正しく回線のLINKが確立できていることを確認してください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のプロードバンド接続ポートがプロードバンドモデムまたは回線終端装置に ETHERNET ケーブルで正しく接続されているか確認してください。 プロードバンド接続ポートにカチッとき音がするまで差し込み、ケーブルを軽く引いて、ロックがかかっていることを確認してください。 ケーブルによってはあまり強く差し込んだり、強く引っ張ると、接触不良や断線の原因になる場合があります。 ● ETHERNET ケーブルの規格が正しいか確認してください。 接続に使用しているケーブルが「ETHERNET ケーブル（カテゴリ 5）」であることを確認してください。（☞P137） ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のプロードバンド接続ポートと無線 LAN アクセスポイント（親機）の ETHERNET ポート（PC1）を添付の ETHERNET ケーブルで接続してみる。 プロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯する場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）は、問題ありません。 プロードバンドモデム／回線終端装置が故障している可能性があります。 <p>点灯しない場合 無線 LAN アクセスポイント（親機）を初期化してみてください。 それでも解決しない場合は無線 LAN アクセスポイント（親機）の故障の可能性があります。別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先へお問い合わせください。</p>

5-1 トラブルシューティング

c.無線 LAN 通信ができない

症 状	原因と対策
<p>サテライトマネージャの通信状態が範囲外または使用不可になっている</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● WL54SC2（無線 LAN カード）または WL54SU2（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 <p>〈Windows Vista™ の場合〉</p> <p>次の手順でいったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバとユーティリティの削除] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする ③ 画面の指示に従って、アンインストールを行う <p>〈Windows® XP/2000 Professional の場合〉</p> <p>次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTARユーティリティ] – [ドライバのアンインストール] をクリックする ② 画面の指示に従って、アンインストールを行う ③ WL54SC2（無線 LAN カード）または WL54SU2（無線 USB スティック）を接続する ● 暗号化キーの設定が無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）とで一致しているかを確認してください。（☞P54、65、76、81、☞機能詳細ガイド） ● 5GHz モードと 2.4GHz モードで同じネットワーク名（SSID）を設定している場合は、必ず暗号化モードや暗号化キーも同じにしてください。違う暗号化モードや暗号化キーを設定すると、接続できなくなる場合があります。 ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかつたり通信が正常に行えない場合があります。 → ファイアウォールなどの動きによって本商品との通信に必要なポートが止められてしまっている可能性があります。 その場合には、次の手順で設定を確認してください。 <ol style="list-style-type: none"> ① ファイアウォールソフト側で本商品との通信に必要なポートを開ける (アドレス : 192.168.0.*、TCP ポート番号 : 23/53/75/80、UDP ポート番号 : 69/161) ② ①で改善しない場合は、ファイアウォールソフトを停止またはアンインストールする ● WL54SC2（無線 LAN カード）または WL54SU2（無線 USB スティック）から接続している場合は、「サテライトマネージャに関する問題」（☞P127）も参照してください。
<p>無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）間の電波状態が悪い</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 電波の届く範囲まで無線 LAN 端末（子機）を移動したり、無線 LAN アクセスポイント（親機）や無線 LAN 端末（子機）の向きをかえたりして電波状態を確認してください。

症 状	原因と対策
Windows Vista™ および Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定で、通知領域に「ワイヤレスネットワーク接続」のバルーンが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● バルーンは一度表示されると消えてしまう場合があります。その場合は、ワイヤレスネットワーク接続のアイコンを右クリックして「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックすると、設定を行うことができます。 ● WL54SC2（無線 LAN カード）または WL54SU2（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 <Windows Vista™ の場合> 次の手順でいったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。 <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート]（Windows® のロゴボタン） - [すべてのプログラム] - [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] - [ドライバとユーティリティの削除] をクリックする ② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする ③ 画面の指示に従って、アンインストールを行う <Windows® XP/2000 Professional の場合> 次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。 <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] - [ドライバのアンインストール] をクリックする ② 画面の指示に従って、アンインストールを行う ③ WL54SC2（無線 LAN カード）または WL54SU2（無線 USB スティック）を接続する
WL54SE2（イーサネットコンバータ）のPOWERランプが点灯しない	<p>電源が入っていないません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AC アダプタ（電源プラグ）が外れている → AC アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに差し込んでください。 ● AC アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動したコンセントに差し込まれている → 電源はパソコンの電源などに連動したコンセントではなく、壁などの電源コンセントに直接接続してください。パソコンの電源が切れると WL54SE2（イーサネットコンバータ）に供給されている電源も切れてしまいます。 ● AC アダプタ（電源プラグ）が破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに AC アダプタ（電源プラグ）をコンセントから外して別紙に示す修理受け付け先または、お問い合わせ先にご相談ください。
WL54SE2（イーサネットコンバータ）のLINKランプが点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54SE2（イーサネットコンバータ）との間の無線状態が悪い場合があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54SE2（イーサネットコンバータ）を近づけてみてください。 また、無線 LAN アクセスポイント（親機）と WL54SE2（イーサネットコンバータ）が近すぎても通信できない場合があります。この場合は 1m 以上離してご使用ください。 ● 設定に誤りがある場合があります。 ※どうしても動作しない場合は、初期化して最初から設定し直してください。（☞P112）

5-1 トラブルシューティング

症 状	原因と対策
WL54SE2（イーサネットコンバータ）に接続したパソコンからインターネットに接続できない	<p>● WL54SE2（イーサネットコンバータ）をらくらく無線スタートで設定後、LINK ランプが点灯しているにもかかわらず WL54SE2（イーサネットコンバータ）に接続したパソコンからインターネットに接続できない場合は、次の手順でETHERNETケーブルを接続し直してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① WL54SE2（イーサネットコンバータ）とパソコンを接続しているETHERNETケーブルを取り外す ② WL54SE2（イーサネットコンバータ）の電源を切る ③ WL54SE2（イーサネットコンバータ）とパソコンをETHERNETケーブルで接続する ④ WL54SE2（イーサネットコンバータ）の電源を入れる ⑤ LINK ランプが点灯することを確認する

d.パソコンにIPアドレスが設定されていない

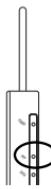
症 状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.0.XXX」に設定されていない	<p>● パソコンの設定で「IPアドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線LANアクセスポイント（親機）の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、bの手順で再度パソコンのアドレスを確認する b. 次の手順でIPアドレスを取り直す <p><Windows Vista™およびWindows® XPの場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] (Windows® のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ② 「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] キーを押す ③ IPアドレス (IP Address またはIPv4アドレス) が「192.168.0.XXX」になることを確認する <p><Windows® 2000 Professionalの場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [プログラム] - [コマンドプロンプト] をクリックする ② 「ipconfig /renew」と入力して [Enter] キーを押す ③ IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する <p><Windows® Me/98SEの場合></p> <ol style="list-style-type: none"> ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする ② 「winipcfg」と入力して [OK] をクリックする ③ Ethernetアダプタ情報のフルダウンウインドウから、使用しているEthernetアダプタ名を選択する ④ [解放] をクリックして、IPアドレスが「0.0.0.0」になっていることを確認します。「IPアドレスはすでに解放しています」と表示されたときは [OK] をクリックする ⑤ [書き換え] をクリックして、IPアドレスが「192.168.0.XXX」になることを確認する

e.WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定画面が表示されない（クリック設定 Web が起動しない）

症 状	原因と対策
<p>WWW ブラウザ画面のアドレスに「http://web.setup/」と入力してもクリック設定 Web が表示されない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● プロキシの設定をしていませんか。 → プロキシの設定をしている場合、受付が拒否されます。 Internet Explorer の場合以下の設定を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> ① [ツール] - [インターネットオプション] - [接続] - [LAN の設定] の順にクリックする ② [LAN にプロキシサーバーを使用する] の [詳細設定] をクリックして、例外に「web.setup」を入れる ● 代わりに IP アドレスを入れても表示できます。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の IP アドレスが工場出荷時の場合は「http://192.168.0.1」です。 IP アドレスを変更している場合は、変更した値を入力してください。 ● 無線 LAN アクセスポイントモードに設定している場合は、「① 無線 LAN アクセスポイントモードに設定（ルータ機能を停止）した場合のご注意」(☞P99) を参照してください。 ● お使いのパソコンにプロキシが設定されていたり、ファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトがインストールされている場合に、設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。(☞P35、42)
<p>WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求される</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ● WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）にアクセスすると、ユーザー名と管理者パスワードを要求されます。 → ユーザー名には、[admin] を入力してください。パスワードには、WWW ブラウザで無線 LAN アクセスポイント（親機）に一番最初にアクセスした際に、登録したパスワードを入力してください。
<p>無線 LAN アクセスポイント（親機）のクリック設定 Web が開かない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● JavaScript® が無効に設定されている → WWW ブラウザの設定で JavaScript® を有効に設定してください。(☞P43) ● 複数固定 IP サービスをご利用の場合、グローバル IP アドレスを割りつけたパソコンから無線 LAN アクセスポイント（親機）を設定するには「http://web.setup/」と入力してもクリック設定 Web 画面は開きません。WWW ブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割りあてられた無線 LAN アクセスポイント（親機）のグローバル IP アドレス（例えば http://200.200.200.1/）を入力してください。 ● IP アドレスの取得がうまくいっていないことが考えられます。 パソコンの IP アドレスを自動取得に設定してみてください。(☞P37)

5-1 トラブルシューティング

f. PPPoE モードで無線 LAN アクセスポイント（親機）前面の PPP ランプが点灯しない

症 状	原因と対策
PPP ランプが点灯しない 	<ul style="list-style-type: none"> ● パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが速い点滅をしている 	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードバンドモデム／回線終端装置の WAN 側が接続されていることを確認してください。ADSL モデムをご使用の場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。 NEC 製の ADSL モデムをご使用の場合はモデム前面の LINE ランプまたは ADSL ランプが点灯します。LINE ランプまたは ADSL ランプが点滅している場合は ADSL モデムの取扱説明書を参照して対処してください。 対処後、パソコンから WWW ブラウザなどでインターネットにアクセスしてください。 PPPoE モードの場合、インターネットへ通信が開始された時点で PPP ランプが点滅し、しばらくして点灯に変わります。
PPP ランプが遅い点滅、速い点滅を繰り返している 	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）に登録した接続ユーザー名、接続パスワードとプロバイダなどから送られてくる接続ユーザー名、接続パスワードが正しいことを確認してください。 接続ユーザー名、接続パスワードについてはご契約のプロバイダへお問い合わせください。 ● 接続ユーザー名、接続パスワードが間違っています。 一般的に下記が区別されますのでご注意ください。 接続ユーザー名（ログイン名）：半角、全角 接続パスワード：半角、全角、大文字、小文字 を合わせてください。 接続ユーザー名@XXXX.ne.jp と入力するのが一般的です。

g.WAN側IPアドレスが正しく表示されない

症 状	原因と対策
クイック設定Webの状態表示でWAN側IPアドレスが表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードバンドモデム／回線終端装置がWAN側に接続されていることを確認してください。 ADSLモデムをご使用の場合、ADSLリンクが確立していることを確認してください。 ● ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っているか確認してください。 ● 接続事業者から指定されたIPアドレス情報が正しく設定されているか確認してください。 らくらくWeb ウィザード（「つなぎかたガイド」） クイック設定Webの「基本設定」－「接続先設定」 ● ブロードバンドモデム／回線終端装置の設定が合っているか確認してください。動作モードがPPPoE ブリッジモードの場合には本商品の動作モードはPPPoE モードでご使用ください。 ● 他のブロードバンドルータやパソコンに接続していたブロードバンドモデムを無線LANアクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている場合、ブロードバンドモデムの機種によっては、過去に接続したルータやパソコンのMACアドレスと無線LANアクセスポイント（親機）のMACアドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、ブロードバンドモデムの電源をいったん切って、20～30分後に電源を入れ直すことで回避できる場合があります。 ● 無線LANアクセスポイント（親機）WAN側のIPアドレスが正しく取得できないことがありますので、クイック設定Webの「情報」－「現在の状態」で「[IP解放]」をクリックしてから「[IP取得]」をクリックしてIPアドレスを更新してください。 ● CATV接続事業者によってはドメイン名やホスト名を本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定Webの「基本設定」－「接続先設定」からドメイン名やホスト名を入力してください。 ● CATV接続事業者によってはゲートウェイやネームサーバを本商品に入力しないと接続できない場合があります。 接続事業者に確認してクイック設定Webの「基本設定」－「接続先設定」からゲートウェイやネームサーバを入力してください。 ● CATV接続事業者によっては本商品のMACアドレスを申請する必要があります。 無線LANアクセスポイント（親機）のWAN側のMACアドレスを申請してください。 ● クイック設定Webの「接続先設定」で「IPアドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。

5-1 トラブルシューティング

h.インターネットに接続できない

● ADSL/FTTH (PPPoE 接続) に関するトラブル

症 状	原因と対策
ダイヤルアップ接続のウィンドウが開いてくる	● WWW ブラウザやメールソフトの設定が、LAN 接続の設定になっていない。 → LAN 接続の設定になっているかどうかを確認してください。 (☞P42)
インターネット接続中に回線が切斷される	● PPPoE モードの場合、無通信監視タイマで自動切斷される場合があります。 無通信監視タイマはクリック設定 Web の【接続先設定】の【接続先の切斷】で設定できます。
ルータタイプ ADSL モデムに接続している	● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続できません。 → クlick 設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。 IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 取得] を選択し、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 [IP 取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、ADSL モデムがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が緑点灯しているか確認してください。 ● ルータタイプ ADSL モデムの接続設定ができていない。 ADSL モデムが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 → 次の手順で、IP アドレスが同じであることを確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 (1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クリック設定 Web の「情報」の「現在の状態」－「WAN 側状態」の「IP アドレス」が空欄になっている (2) IP アドレスを変更します。 クリック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を「192.168.1.1」など左から 3 つ目を変更して、「設定」をクリックします。 (3) [登録] をクリックします。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）を無線 LAN アクセスポイントモードに設定して接続できるか確認してください。 (☞P97) それでも ADSL 接続ができない場合は、ADSL モデムのサポート窓口に ADSL モデムの設定をお問い合わせください。

症 状	原因と対策
PPPoE 接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーIDとパスワードが間違っている → ADSL インターネット接続のユーザーIDは、「*****@biglobe.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力するのが一般的です。プロバイダからのユーザーIDとパスワードを再確認して正しく設定してください。 ● 使用する無線 LAN アクセスポイント（親機）の動作モードは正しいですか。 → ルータタイプの ADSL モデムに接続して使用する場合、PPPoE モードでは接続できません。あらかじめ ADSL モデムのタイプを確認してください。 ● パソコンに、ADSL モデムに添付されていた PPPoE 接続専用ソフトを入れたまま、それを使用していませんか。または、Windows Vista™/Windows® XP の PPPoE 機能を使用していませんか。 → PPPoE の外付けブロードバンドモデムを使用するとき、ブロードバンドモデムに付属のユーティリティでは、パソコンを同時に 1 台しかインターネットに接続できません。複数台のパソコンを接続する場合はブロードバンドモデムに付属のユーティリティは使用しないでください。インターネット接続の設定は本商品のらくらく Web ウィザードまたはクイック設定 Web で設定してください。 ● フレッツ・ADSL 接続後、電源の ON/OFF などで、異常終了した場合、無線 LAN アクセスポイント（親機）の再起動において、一定時間（最大で 5 分間程度）接続できない場合があります。一定時間経過後再接続してください。
PPPoE 接続に成功してもホームページが開けない	<ul style="list-style-type: none"> ● IP アドレス、DNS ネームサーバアドレスが間違っている。 → 自動取得できないプロバイダの場合、プロバイダから指定された IP アドレスや DNS ネームサーバアドレスを接続先の設定画面で入力してください。

5-1 トラブルシューティング

● CATV 接続に関するトラブル

症 状	原因と対策
CATV インターネット接続に失敗する	<ul style="list-style-type: none">●回線側のIP アドレスが取得できていない。 → クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」を確認してください。正しく IP が取得できていない場合は、いったん [IP 解放] をクリックしてから [IP 取得] をクリックして IP アドレスを正しく更新してください。●他のプロードバンドルータやパソコンに接続していた CATV ケーブルモデムを無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続し直して通信しようとしている。 → CATV ケーブルモデムの機種によっては、過去に接続したルーターやパソコンの MAC アドレスを記憶して、この MAC アドレスが一致しないと通信できない場合があります。この場合は、CATV ケーブルモデムの電源をいったん切って、20 分ほど待つてから電源を入れ直すことで回避できる場合があります。●CATV 接続事業者によっては、本商品の MAC アドレスを申請する必要があります。無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側の MAC アドレスを申請してください。
CATV インターネット接続に成功してもホームページが開けない	<ul style="list-style-type: none">●ドメイン名、ホスト名が指定されていない。 → CATV 事業者によってはドメイン名やホスト名を入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の「基本設定」 - 「接続先設定」または、「らくらく Web ウィザード」(☞「つなぎかたガイド」) でドメイン名やホスト名を入力してください。●ゲートウェイ、DNS ネームサーバが指定されていない。 → CATV 事業者によってはゲートウェイや DNS ネームサーバを入力しないと接続できない場合があります。事業者に確認して「クイック設定 Web」の「基本設定」 - 「接続先設定」または、「らくらく Web ウィザード」(☞「つなぎかたガイド」) からゲートウェイやネームサーバを入力してください。

症 状	原因と対策
WAN 側 IP アドレスが取得できない しばらくすると回線が切断され、WAN 側 IP アドレスが、空欄になってしまふ	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。 ● WAN 側 IP アドレスが正しく設定されていない場合、ブロードバンド接続がエラー終了します。 <ul style="list-style-type: none"> → クイック設定 Web の「情報」の「現在の状態」で「WAN 側状態」の「IP アドレス」をご確認ください。 IP アドレスが表示されていない場合は、[IP 取得] をクリックし、IP アドレスが正しく表示されていることをご確認ください。 [IP 取得] でも IP アドレスが表示されない場合は、CATV ケーブルモデルがエラー表示していないか、または無線 LAN アクセスポイント（親機）背面のブロードバンド接続ポート状態表示 LED が点灯しているか確認してください。 → CATV 接続事業者によっては、ルータからの IP アドレス取得の要求があると IP アドレスがクリアされてしまう場合があります。 クイック設定 Web の「接続先設定」で「IP アドレスの自動取得」の「要求する」のチェックを外します。 ● クイック設定 Web の「接続先設定」で「IP アドレスの割り当て競合検出」のチェックを外してみてください。 ● CATV ケーブルモデルが無線 LAN アクセスポイント（親機）と同じ IP アドレス 192.168.0.1 になっている可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> → 次の手順で、IP アドレスが同じか確認したあとで、LAN 側の IP アドレスを変更します。 <ol style="list-style-type: none"> (1) IP アドレスを確認します。 WAN 側：クイック設定 Web の「情報」 – 「現在の状態」の「WAN 側状態」 – 「IP アドレス」が空欄になっている (2) IP アドレスを変更します。 クイック設定 Web の「詳細設定」の「LAN 側設定」で「IP アドレス」を「192.168.1.1」など左から 3 つ目を変更して、【設定】をクリックします。 (3) 【登録】をクリックします。

ユーティリティに関するトラブル

●無線 LAN アクセスポイント（親機）のクイック設定 Web に関する問題

症 状	原因と対策
管理者パスワードを忘れてしまった	<p>● 無線 LAN アクセスポイント（親機）を工場出荷状態に初期化してください。この場合、設定した値はすべて初期値に戻ってしまいます。（☞P110）</p> <p>ただし、クイック設定 Web の【メンテナンス】 - 【設定値の保存＆復元】で以前の設定値をファイルに保存してあると簡単に復元させることができます。設定変更する場合は設定値を保存しておくことをお勧めします。（☞ 機能詳細ガイド）</p>
無線 LAN アクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	<p>クイック設定 Web で確認することができます。</p> <p>「情報」 - 「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認します。</p>
【設定】をクリックしても、状態が反映されない	<p>● 【登録】をクリックしていない → 各設定項目において、【設定】をクリックしても状態は反映されません。</p> <p>左側フレーム内の【登録】をクリックし、無線 LAN アクセスポイント（親機）を再起動する必要があります。</p>
	
【登録】をクリックした後に、「ページを表示できません」と表示される	<p>● 無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動しているためです。 → 【登録】をクリックすると、無線 LAN アクセスポイント（親機）が再起動するため、「ページが表示できません」と表示されますが、異常ではありません。WWW ブラウザを終了し、再度、WWW ブラウザを起動してください。</p>
WL54SE2（イーサネットコンバータ）の WWW ブラウザの設定画面が表示されない	<p>● パソコンのネットワーク体系と WL54SE2（イーサネットコンバータ）のネットワーク体系が違っている場合があります。パソコンの設定が「IP アドレスを自動的に取得する」になっていることを確認し（☞P37）、いったん WL54SE2（イーサネットコンバータ）の電源を切り、らくらくスタートボタンを押しながら電源を入れてください。</p>

●サテライトマネージャに関する問題

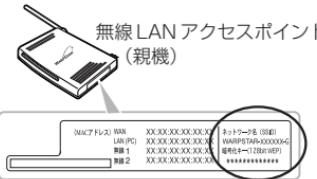
症 状	原因と対策
インストール時に「このパソコンには無線制御用ソフトが既にインストールされているため…」という画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● サテライトマネージャのインストールをいったん停止し、パソコンにインストールされている無線制御用ソフトをアンインストールしてから再度サテライトマネージャをインストールしてください。
らくらく無線スタートが成功しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化が解除されている → 無線 LAN アクセスポイント（親機）の暗号化設定を行ってください。（☞P5 機能詳細ガイド） ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている → 無線 LAN アクセスポイント（親機）の MAC アドレスフィルタリングの設定がいっぱいになっている場合はらくらく無線スタートの設定ができません。設定を確認してください。（☞P5 機能詳細ガイド） ● 使用するネットワークに DHCP サーバとなる機器が存在しない状態で無線 LAN アクセスポイント（親機）が無線 LAN アクセスポイントモードに設定されている → DHCP サーバとなる機器を設置するか、サテライトマネージャで無線 LAN の設定をしてください。（☞P53） ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらく無線スタート動作モードが 5GHz (IEEE802.11a) で、無線 LAN 端末（子機）として WL54AG/WL54TU/WL54TE、J52のみ対応の無線 LAN 内蔵パソコンを設定しようとしている → WR7870S と 5GHz (IEEE802.11a) の周波数帯／チャネルが異なるため 5GHz モードではご利用になれません。 (WL54AG/WL54TU/WL54TE のバージョンアップ対応など最新情報についてはホームページ AtermStation をご確認ください。) ● WL54SE2 の場合、WL54SE2 に既に何か設定がされている → WL54SE2 をいったん初期化して設定してください。（☞P112） ● パソコンでファイアウォール、ウィルスチェックなどが動作している → 設定の前にファイアウォール、ウィルスチェックなどのソフトはいったん停止してください。設定が完了したらもう一度必要な設定を行ってください。 ● パソコンに設定された固定 IP アドレスが無線 LAN アクセスポイント（親機）のネットワーク体系とあっていない → パソコンの設定で「IP アドレスを自動的に取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。（☞P37） ● 古いバージョンのドライバやユーティリティがインストールされている → 古いバージョンのドライバやユーティリティをアンインストールしてから、本商品に添付の CD-ROM を使用して、ドライバやユーティリティをインストールしてください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）のらくらくスタートボタンを長く押しすぎている → らくらくスタートボタンは、POWER ランプが緑点滅状態になつたらいったん離します。「つなぎかたガイド」などの手順に従ってもう一度らくらく無線スタートを行ってください。

5-1 トラブルシューティング

症 状	原因と対策
らくらく無線スタートが成功しない (つづき)	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN 端末（子機）（WL54SC2/WL54SU2 など）の他にネットワークデバイス（ETHERNET ボードなど）が動作している <ul style="list-style-type: none"> → 他の無線 LAN カードや LAN カードおよび LAN ボード機能を停止させてから、サテライトマネージャのらくらく無線スタートで設定を行ってください。 ● らくらく無線スタート EX の場合、無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティなどが動作している <ul style="list-style-type: none"> → 無線 LAN 端末（子機）専用の設定ユーティリティはいったん停止してください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない <ul style="list-style-type: none"> → 無線 LAN アクセスポイント（親機）に無線 LAN 端末（子機）で使用可能な暗号化方式や暗号化強度を設定してください。WEP（128bit）に対応していない無線 LAN 端末（子機）を利用する場合無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定を変更する必要があります。
Windows Vista™およびWindows® XP/2000 Professionalで、サテライトマネージャがインストールできない	<ul style="list-style-type: none"> ● Administrator 権限のあるユーザーでログオンしていない。 <ul style="list-style-type: none"> → 「Administrator」権限のあるユーザーでログオンしてください。「Administrator」権限のないユーザーではインストールが行えません。
サテライトマネージャが使用できない	<ul style="list-style-type: none"> ● WL54SC2（無線 LAN カード）または WL54SU2（無線 USB スティック）のドライバが正しくインストールされていない場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> 〈Windows Vista™の場合〉 <p>次の手順でいったんドライバとユーティリティを削除してから、もう一度、ドライバとユーティリティをインストールしてください。</p> <p>① [スタート]（Windows® のロゴボタン） – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] – [ドライバとユーティリティの削除] をクリックする</p> <p>② ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は、[続行] をクリックする</p> <p>③ 画面の指示に従って、アンインストールを行う</p> 〈Windows® XP/2000 Professionalの場合〉 <p>次の手順でいったんドライバを削除してから、もう一度ドライバをインストールしてください。</p> <p>① [スタート] – [すべてのプログラム] – [Aterm WARPSTAR ユーティリティ] – [ドライバのアンインストール] をクリックする</p> <p>② 画面の指示に従って、アンインストールを行う</p> <p>③ WL54SC2（無線 LAN カード）または WL54SU2（無線 USB スティック）を接続する</p> ● 上記の手順でも正しくインストールされない場合は、次ページの手順で再インストールしてください。

症 状	原因と対策
サテライトマネージャが 使用できない (つづき)	<p>〈Windows® XP の場合〉</p> <p>① [スタート] – [コントロールパネル] をクリックする ② [パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする ③ [システム] アイコンをクリックする ④ [ハードウェア] タブをクリックする ⑤ [デバイスマネージャ] をクリックする ⑥ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする ⑦ [NEC AtermWL54SC2 (PA-WL54SC2) Wireless Network Adapter] または [NEC AtermWL54SU2 (PA-WL54SU2) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する ⑧ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする 以降は、「^⑩機能詳細ガイド」の「無線 LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。</p> <p>〈Windows® 2000 Professional の場合〉</p> <p>① [スタート] – [設定] – [コントロールパネル] をクリックする ② [システム] アイコンをダブルクリックする ③ [ハードウェア] タブをクリックする ④ [デバイスマネージャ] をクリックする ⑤ [ネットワークアダプタ] をダブルクリックする ⑥ [NEC AtermWL54SC2 (PA-WL54SC2) Wireless Network Adapter] または [NEC AtermWL54SU2 (PA-WL54SU2) Wireless Network Adapter] を右クリックし、[プロパティ] を表示する ⑦ [ドライバ] タブで [ドライバの更新] をクリックする 以降は、「^⑩機能詳細ガイド」の「無線 LAN 端末（子機）の使い方」「ドライバのインストール」を参照して再インストールを行ってください。</p>

5-1 トラブルシューティング

症 状	原因と対策
<p>[サテライトマネージャ]アイコンが使える状態(青表示)にならない 通信状態が「範囲外」となる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源が入っているか確認してください。 ● 通信モードがあっているか確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信は「インフラストラクチャ通信」で使用します。 ※ 通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、[設定] をクリックして確認します。 ● 接続する無線動作モードのネットワーク名（SSID）があっているか確認してください。 無線 LAN アクセスポイント（親機）の設定に合わせて設定してください。 ※ 無線 LAN アクセスポイント（親機）の出荷時設定は、底面に記載されています。
<p>[サテライトマネージャ]は使える状態（青表示）になるが無線 LAN アクセスポイント（親機）に接続できない</p>	 <p>これは、2.4GHz モード側の初期値を表示しています。5GHz モード側のネットワーク名は、WARPSTAR-XXXXXX-A で暗号化キーは同じです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 通信モードが「アドホック通信」の場合は、チャネル番号が一致しているか確認してください。 ※ 通信モードはサテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、[設定] をクリックして確認します。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎていなか確認してください。 ● WL54SC2（無線 LAN カード）または WL54SU2（無線 USB スティック）のランプのつき方（P31、32）を確認してください。 消灯している場合は WL54SC2（無線 LAN カード）または WL54SU2（無線 USB スティック）が無線 LAN アクセスポイント（親機）を正しく認識していません。サテライトマネージャのアイコンを右クリックし、「プロパティ」を選択して、「ネットワーク一覧」で「ネットワーク名（SSID）」をクリックし、[設定] をクリックして、無線 LAN アクセスポイント（親機）との通信の設定をやり直してください。 ● コードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。 → お互いを数メートル以上離してお使いください。 ● 暗号化の設定をしている場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と接続する無線通信モードで暗号化キーが一致しているか確認してください。（P54、65、76、81、機能詳細ガイド） ● Windows® XPをご利用の場合は、「[Windows® XP のワイヤレスネットワーク設定を無効にする] 設定になっていることを確認してください。（P58）

症 状	原因と対策
接続する無線動作モードのネットワーク名(SSID)を忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ●有線 LAN (ETHERNET ポート) のパソコンから、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 詳細設定」で設定し直してください。 ●サテライトマネージャ「プロパティ」の「ネットワーク一覧」で「[スキャン]」をクリックして無線 LAN アクセスポイント(親機)を検索してください。ネットワーク名(SSID)で無線 LAN アクセスポイント(親機)を識別できます。 ●無線 LAN アクセスポイント(親機)背面の RESET スイッチによる初期化(工場出荷状態に戻す)をしてください。(☞P111) 出荷時のネットワーク名(SSID)の設定は無線 LAN アクセスポイント(親機)の底面に記載されています。(☞P130)
「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント(親機)がみつからない	<ul style="list-style-type: none"> ●電波状態により「ネットワークの参照」で無線 LAN アクセスポイント(親機)の電波を検出できない場合があります。このような場合は、「新規登録」で直接ネットワーク名(SSID)を入力してください。 ●クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 詳細設定」の「無線 LAN 端末(子機)の接続制限」で「ESS-ID ステルス機能(SSIDの隠蔽)」を「使用する」に設定している場合は、「ネットワークの参照」に応答しません。 ●「新規登録」で直接ネットワーク名(SSID)を入力してください。 ●WL54SC2(無線 LAN カード)またはWL54SU2(無線 USB スティック)のドライバが正常に組み込まれていないことが考えられます。ドライバをいったんアンインストールしたあと、再度インストールしてみてください。 ●他の無線 LAN カードのソフトウェアがインストールされている場合や、Ethernet インタフェースを搭載したパソコンで、LAN カードまたは LAN ボードの機能を停止させていない場合は、WL54SC2(無線 LAN カード)またはWL54SU2(無線 USB スティック)のドライバが正しくインストールされないことがあります。LAN カードまたは LAN ボードの機能を停止させてから、サテライトマネージャでの設定を行ってください。(☞P50、51、52)
接続する無線動作モードの暗号化設定の暗号化キーを忘れてしまった	<ul style="list-style-type: none"> ●有線 LAN (ETHERNET ポート) に接続したパソコンから、クイック設定 Web の「無線 LAN 設定」 - 「無線 LAN 詳細設定」で設定を確認してください。 ●無線 LAN アクセスポイント(親機)を工場出荷状態に戻してください。(☞P110) ネットワーク名(SSID)や暗号化設定(WEP キー)は本体底面のラベルの値に戻ります。(☞P130)
WL54SC2(無線 LAN カード)またはWL54SU2(無線 USB スティック)が使えない	<ul style="list-style-type: none"> ●「無線状態が良好なのに通信できない」(☞P133) を参照してください。

5-1 トラブルシューティング

ご利用開始後のトラブル

症 状	原因と対策
時々通信が切れる 途中から通信速度が遅くなつた 通信が切断されることがある	● ブロードバンドモデム側のトラブルシューティングをご確認ください。特に ADSL モデムに接続の場合はノイズ環境により左右されます。
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.0.xxx は、ハーデウェアのアドレスが...と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	● [OK] をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう一台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記の手順を行って IP アドレスを再取得してください。 <IP アドレスの再取得> <Windows Vista™およびWindows® XPの場合> ① [スタート] (Windows のロゴボタン) - [すべてのプログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ② 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押す ③ IP アドレス (IP Address または IPv4 アドレス) が「192.168.0.xxx」になることを確認する <Windows® 2000 Professionalの場合> ① [スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [コマンドプロンプト] をクリックする ② 「ipconfig /renew」を入力して [Enter] キーを押す ③ IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する <Windows® Me/98SEの場合> ① [スタート] - [ファイル名を指定して実行] をクリックする ② 「winipcfg」を入力して [OK] をクリックする ③ Ethernet アダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているアダプタ名を選択する ④ [解放] をクリックして、IP アドレスが「0.0.0.0」になることを確認する 「IP アドレスはすでに解放しています」と表示されたときは、[OK] をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤ [書き換え] をクリックして、IP アドレスが「192.168.0.xxx」になることを確認する
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE モード、ルータモード (ローカルルータモード) 共通)	● パソコンに IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも無線 LAN アクセスポイント（親機）の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a. パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる 起動後、前ページを参照して再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b. 上記の「IP アドレスの再取得」を行ってください。
前回はできたのにインターネット接続ができない (PPPoE モードの場合)	● ブロードバンドモデム／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ● ADSL モデムの場合、ADSL リンクが確立していることを確認してください。

症 状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない（ルータモード（ローカルルータモード）の場合）	<ul style="list-style-type: none"> ● ブロードバンドモ뎀／回線終端装置の電源が入っていることを確認してください。 ● ブロードバンドモ뎀／回線終端装置と無線 LAN アクセスポイント（親機）の電源投入順序によっては無線 LAN アクセスポイント（親機）の WAN 側 IP アドレスが正しく取得できないことがありますので、クリック設定 Web の【情報】→【現在の状態】で【IP の解放】をクリックしてから【IP 取得】をクリックして IP アドレスを更新してください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）が正常に動作しないが、原因がわからない	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定に誤りがある場合があります。 どうしても動作しない場合は、初期化して購入時の状態に戻し、最初から設定し直してください。
無線状態が良好なのに速度がでない	<ul style="list-style-type: none"> ● 近くに隣接する無線チャネルを使っている人がいる、または「チャネル状況表示」には表示されないデジタルコードレス電話機、ワイヤレスマウス、ワイヤレスキーボード、Bluetoothなどの電波を放射する装置で電波干渉がある。 <ul style="list-style-type: none"> → サテライトマネージャ[プロパティ]→[状態]の「チャネル状況表示」で使用しているチャネルを確認し、クリック設定 Web で使用する無線チャネルの番号を変更してください。 → クリック設定 Web を起動して[無線 LAN 設定]→[無線 LAN 詳細設定]内の[無線 LAN アクセスポイント(親機)設定]の「使用チャネル」の番号を変更します。 設定値の目安として、無線動作モードが2.4GHz モードの場合、他の無線設備が使用しているチャネルから4 チャネル以上ずらすようにしてください。 ・ 無線動作モード 2.4GHz モードの場合： 設定値 1～13 ・ 無線動作モード 5GHz モードの場合： 設定値 36,40,44,48ch (W52), 52,56,60,64ch (W53) 100,104,108,112,116,120,124,128,132, 136,140ch (W56) ※ただし、新しいチャネル (W52/W53/W56) と従来のチャネル (J52) は使用している周波数帯／チャネルが異なるため通信できない組み合わせがあります。 詳細は、機能詳細ガイド「無線機能の使い方」→「機能一覧(無線)」の「IEEE802.11a 無線 LAN」を参照してください。 ● 無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）が近すぎる → 1m以上離してください。 → WL54SC2/WL54SU2 の場合はサテライトマネージャで「送信出力」を下げるみてください。（☞P55） その場合、遠くにある WL54SC2（無線 LAN カード）から接続にくくなります。
無線 LAN 通信ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 「らくらく無線スタート」および「らくらく無線スタート EX」の設定中は、無線 LAN アクセスポイント（親機）は無線 LAN 通信ができませんのでご注意ください。 「らくらく無線スタート」および「らくらく無線スタート EX」の設定完了後、無線 LAN 通信が可能になります。

5-1 トラブルシューティング

症 状	原因と対策
無線状態が良好なのに通信できない	<ul style="list-style-type: none">●〈IP アドレスの再取得〉(☞P132) を参照して、IP アドレスが取得できるか確認してください。●固定 IP アドレスでお使いの場合は、無線 LAN アクセスポイント（親機）と無線 LAN 端末（子機）に接続しているパソコンのネットワーク体系を一致させてください。 (例：無線 LAN アクセスポイント（親機）が 192.168.0.1 のとき、無線 LAN 端末（子機）は 192.168.0.XXX)●他の無線 LAN カードや LAN カードまたは、LAN ボードの機能を停止させてください。(☞P50、51、52)
WL54SC2（無線 LAN カード）、WL54SU2（無線 USB スティック）を利用して、AV サーバなどのストリーミングをしていると画像が乱れたり音が飛び	<ul style="list-style-type: none">●無線状態が悪い（無線 LAN アクセスポイント（親機）との距離が離れすぎている) → 電波状態が良好となるところに移動してください。●電波干渉がある → 無線チャネルを確認して、別のチャネルに変更してください。 (☞P133)●サテライトマネージャのストリーミングモードを「ON」にする。 (☞P55)●AV サーバのレートを低品質に下げてご利用ください。
無線 LAN アクセスポイント（親機）のバージョンを確認したい	<ul style="list-style-type: none">●次の方法で確認できます。<ul style="list-style-type: none">・ クイック設定 Web の「情報」－「現在の状態」の「ファームウェアバージョン」で確認できます。

添付の CD-ROM に関するトラブル

症 状	原因と対策
CD-ROM セット直後に表示される画面を表示しない	<p>CD-ROM をセットすると、画面が表示されるように設定されています。 → 表示したくない場合は、以下のどちらかの方法でメニューを消してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 不要な場合は をクリックします。（機種によっては [終了] をクリックします。） ● Windows® XP/2000 Professional の場合、Shift キーを押しながら CD-ROM をセットします。

WR7870S（親機）ハードウェア仕様

項目		諸元および機能	備考
WAN インターフェース	インターフェース	ブロードバンド接続ポート（100BASE-TX/10BASE-T）	Auto MDI-X 対応
	データ転送速度	100Mbps/10Mbps	
LAN インターフェース	物理インターフェース	8ビンモジュラージャック (RJ-45) × 4ポート	
	インターフェース	100BASE-TX/10BASE-T	Auto MDI-X 対応
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
	全二重／半二重	全二重／半二重	自動判別
無線 LAN インターフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル	[W52] 5.2GHz 帯 (5150-5250MHz) /36,40,44,48ch ※屋内限定 [W53] 5.3GHz 帯 (5250-5350MHz) /52,56,60,64ch ※屋内限定 [W56] 5.6GHz 帯 (5470-5725MHz) /100,104,108,112,116,120,124,128, 132,136,140ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
		伝送速度 (※ 1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch
		伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式
		伝送速度(※ 1)	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル	2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch
		伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
		伝送速度 (※ 1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	アンテナ	ダイポールアンテナ	
	セキュリティ(※ 2)	SSID、WEP (152/128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)	
ヒューマン インターフェース	POWER	電源通電時点灯	
	PPP	PPP セッション確立時緑点灯 無線 LAN アクセスポイントモード時橙点灯	
	DATA	データ通信時点灯	
	AIR1	2.4GHz モード通信利用可能時点灯 データ送受信点滅	
	AIR2	5GHz モード通信利用可能時点灯 データ送受信点滅	
	スイッチ	SET スイッチ×1、RESET スイッチ×1	
	動作環境	温度 0 ~ 40°C 湿度 10 ~ 90%	結露しないこと
外形寸法		約 27 (W) × 125 (D) × 172 (H) mm	突起部分を除く
電源		AC100V ± 10% 50/60Hz	AC アダプタ使用
消費電力		11W (最大)	AC アダプタ含む
質量(本体のみ)		約 0.3kg	
VCCI		VCCI クラス B	

※ 1 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※ 2 Windows Vista™およびWindows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

〈WEP (152bit) の場合〉

Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。
Windows Vista™ ではご利用いただけません。

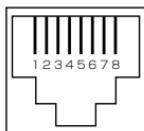
〈TKIP、AES の場合〉

Windows Vista™ または Windows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

※ WDS の機能は 52,56,60,64ch (W53)、100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) では、ご利用になれません。

ETHERNET ポートインターフェース

コネクタ形状



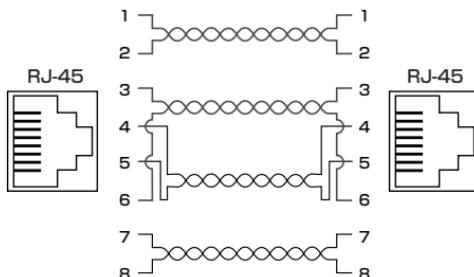
● ETHERNET ポート (100BASE-TX / 10BASE-T)

ピン番号	略称	機能
1	RD +	受信データ +
2	RD -	受信データ -
3	TD +	送信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	TD -	送信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

● ブロードバンド接続ポート

ピン番号	略称	機能
1	TD +	送信データ +
2	TD -	送信データ -
3	RD +	受信データ +
4	NC	未使用
5	NC	未使用
6	RD -	受信データ -
7	NC	未使用
8	NC	未使用

ETHERNET ケーブル (カテゴリー 5)



6-1 製品仕様

WL54SC2（無線 LAN カード）仕様

項目	諸元	備考	
端末インターフェース	CardBus		
無線 LAN インターフェース	IEEE802.11a IEEE802.11b IEEE802.11g	<p>周波数帯域/ チャネル (※3)</p> <p>[J52] 5.2GHz 帯 (5150-5250MHz) /34,38,42,46ch (※屋内限定) [W52] 5.2GHz 帯 (5150-5250MHz) /36,40,44,48ch (※屋内限定) [W53] 5.3GHz 帯 (5250-5350MHz) /52,56,60,64ch (※屋内限定) [W56] 5.6GHz 帯 (5470-5725MHz) /100,104,108,112,116,120,124, 128,132,136,140ch</p> <p>伝送方式</p> <p>OFDM (直交周波数分割多重) 方式</p> <p>伝送速度 (※1)</p> <p>54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)</p> <p>周波数帯域/ チャネル</p> <p>2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch</p> <p>伝送方式</p> <p>DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式</p> <p>伝送速度 (※1)</p> <p>11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)</p> <p>周波数帯域/ チャネル</p> <p>2.4GHz 帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch</p> <p>伝送方式</p> <p>OFDM (直交周波数分割多重) 方式</p> <p>伝送速度 (※1)</p> <p>54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)</p> <p>アンテナ</p> <p>ダイバーシティアンテナ (内蔵)</p> <p>セキュリティ (※2)</p> <p>SSID、WEP (152/128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)</p>	
ヒューマンインターフェース	状態表示 LED × 2		
利用可能端末	PC-AT 互換機		
利用可能 OS	Windows Vista™ 日本語版 Windows® XP 日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版		
電源	DC3.3V × 500mA	パソコンから 給電	
消費電力	1.7W (最大)		
外形寸法	約 54 (W) × 109 (D) × 5 (H) mm		
質量	約 0.04kg		
動作環境	温度 0 ~ 40°C 湿度 10 ~ 90 %	結露しないこと	

* 1 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

* 2 Windows Vista™ および Windows® XP のワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

<WEP (152bit) の場合>

Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

Windows Vista™ ではご利用いただけません。

<TKIP、AES の場合>

Windows Vista™ または Windows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

* 3 34,38,42,46ch (J52)、52,56,60,64ch (W53)、100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56) を利用したアドホック通信は行えません。

WL54SU2（無線USBスティック）仕様

項目	諸元	備考
端末インターフェース	USB (USB2.0 推奨※1)	
無線LAN インターフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル (※4) [J52] 5.2GHz帯 (5150-5250MHz) /34,38,42,46ch (※屋内限定) [W52] 5.2GHz帯 (5150-5250MHz) /36,40,44,48ch (※屋内限定) [W53] 5.3GHz帯 (5250-5350MHz) /52,56,60,64ch (※屋内限定) [W56] 5.6GHz帯 (5470-5725MHz) /100,104,108,112,116,120,124, 128,132,136,140ch
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 (※2)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル 2.4GHz帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch
	伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式
	伝送速度(※2)	11/5.5/2/1Mbps(自動フォールバック)
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル 2.4GHz帯 (2400-2484MHz) /1 ~ 13ch
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 (※2)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	アンテナ	内蔵アンテナ (ノンダイバーシティ)
	セキュリティ(※3)	SSID、WEP(152/128/64bit)、WPA-PSK(TKIP、AES)
ヒューマンインターフェース	状態表示LED × 1	
利用可能端末	PC-AT互換機	
利用可能OS	Windows Vista™日本語版 Windows® XP日本語版 Windows® 2000 Professional 日本語版	
電源	DC5V × 420mA	パソコンから給電
消費電力	2.1W (最大)	
外形寸法	約31(W) × 121(D) × 11(H) mm	コネクタ部含む
質量	約0.03kg	
動作環境	温度0 ~ 40°C 湿度10 ~ 90%	結露しないこと

※1 USB1.1の環境では十分なデータ転送速度が得られないため、USB2.0でのご使用をお勧めします。
動作確認パソコンはAtermStation (<http://121ware.com/aterm/>) をご覧ください。
WL54SU2のUSBハブとの接続は保証の限りではありません。

※2 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※3 Windows Vista™およびWindows® XPのワイヤレスネットワークの設定を利用する場合は、利用できる暗号化モードに注意してください。

〈WEP (152bit) の場合〉

Windows® XP (Service Pack1 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。
Windows Vista™ではご利用いただけません。

〈TKIP、AES の場合〉

Windows Vista™またはWindows® XP (Service Pack2 以降) を適用したパソコンの場合のみご利用いただけます。

※4 34,38,42,46ch (J52)、52,56,60,64ch (W53)、100,104,108,112,116,120,124,
128,132,136,140ch (W56) を利用したアドホック通信は行えません。

6-1 製品仕様

WL54SE2（イーサネットコンバータ）仕様

項目		諸元および機能
LAN インターフェース	物理インターフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) × 4ポート
	インターフェース	100BASE-TX/10BASE-T (Auto MDI-X 対応)
	伝送速度	100Mbps/10Mbps
	全二重／半二重	全二重／半二重（自動判別）
無線 LAN インターフェース	IEEE802.11a	周波数帯域/ チャネル [J52] 5.2GHz帯 (5150-5250MHz) /34,38,42,46ch (※屋内限定) [W52] 5.2GHz帯 (5150-5250MHz) /36,40,44,48ch (※屋内限定) [W53] 5.3GHz帯 (5250-5350MHz) /52,56,60,64ch (※屋内限定) [W56] 5.6GHz帯 (5470-5725MHz) /100,104,108,112,116,120,124,128, 132,136,140ch
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 (※1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11b	周波数帯域/ チャネル 2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch
	伝送方式	DS-SS (スペクトラム直接拡散) 方式
	伝送速度(※1)	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)
	IEEE802.11g	周波数帯域/ チャネル 2.4GHz帯 (2,400-2,484MHz) /1 ~ 13ch
	伝送方式	OFDM (直交周波数分割多重) 方式
	伝送速度 (※1)	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)
	アンテナ	ダイポールアンテナ、内蔵アンテナ (ダイバーシティ)
プロトコル	セキュリティ	SSID、WEP(152/128/64bit)、 WPA-PSK (TKIP, AES)
	POWER	TCP/IP
	LINK	IEEE802.11a 無線リンク確立時橙点灯 IEEE802.11b, IEEE802.11g 無線リンク確立時緑点灯
	AIR	無線 LAN でデータ送受信中緑点滅
	スイッチ	RESETスイッチ×1、SETスイッチ×1
電源		AC100V±10% 50/60Hz (ACアダプタ使用:出力5V、2A)
消費電力		8W (最大)
外形寸法		約26 (W) × 130 (D) × 97 (H) mm (突起部分を除く)
質量 (本体のみ)		約0.2kg
動作環境		温度0~40℃ 湿度10~90% (結露しないこと)

※1 表示の「伝送速度」は規格に基づくものであり、ご利用環境や接続機器などにより「実効速度」は異なります。

※ WL54SE2（イーサネットコンバータ）では、アドホック通信をご利用になれません。

7-1 別売りオプション

オプションとして次の製品を別売しています。(製造終了となっている商品もあります。ご了承ください。)

■ 無線LANカード

Aterm WL54SC2 (PA-WL54SC2)、Aterm WL54SC (PA-WL/54SC)
 Aterm WL300NC (PA-WL300NC2)、Aterm WL130NC (PA-WL130NC)
 Aterm WL54AG (PA-WL/54AG)、Aterm WL11CB (PC-WL/11C (B))
 Aterm WL11CA (PC-WL/11C (A))、Aterm WL11C (PC-WL/11C)
 Aterm WL11C2 (PA-WL/11C2)、Aterm WL54AG-SD (PA-WL/54AG-SD1)

■ 無線USBスティック (USB2.0推奨)

Aterm WL54SU2 (PA-WL54SU2)、Aterm WL54SU (PA-WL/54SU)
 Aterm WL54TU (PA-WL/54TU)
 パソコンのUSBポートに接続します。

■ 無線LAN USB ボックス

Aterm WL11U (PC-WL/11U)、Aterm WL11U (W) (PC-WL/11U (W))
 パソコンとUSBで接続します。

■ イーサネットコンバータ、無線LAN ETHERNETボックス

Aterm WL54SE2 (PA-WL54SE2)、Aterm WL54SE (PA-WL/54SE)
 Aterm WL54TE (PA-WL/54TE)、Aterm WL11E2 (PA-WL/11E2)
 パソコンとETHERNETケーブルで接続します。

■ ワイヤレスLAN外部アンテナ

(WL54AG用) (PA-WL/ANT3)

※WL54SC2、WL54SCでは使用できません。

電波状態が悪いときなど、WL54AG(無線LANカード)に接続して使用します。
 (WL54AG (S)、WL54AG-SDも含みます。)

ただし、周囲の電波状況や壁の構造(鉄筋壁、防音壁、断熱壁)などにより、改善状態は異なります。(改善できないこともあります。)



お知らせ

- オプション品は、お近くの販売店のほか、オンラインショップ Shop@Aterm(<http://shop.aterm.jp/>)でもご購入いただけます。
- WL54AG/WL54AG-SD/WL54TU/WL54TEは、IEEE802.11a通信の新チャネル(W52)に対応していない場合、IEEE802.11b、IEEE802.11g通信のみの利用となります。
 新チャネル(W52)対応に書き換えることでIEEE802.11a通信も利用することができます。書き換え方法はホームページ AtermStationをご確認ください。
- WL130NC/WL11CB/WL11CA/WL11C/WL11C2/WL11U/WL11U (W) /WL11E2はIEEE802.11b、IEEE802.11g通信を利用している時の利用できます。
- WL11C/WL11U/WL11U (W)での暗号化はWEP (64bit)のみ対応になります。
- IEEE802.11a (J52のみ)対応の無線LAN端末(子機)では使用する周波数帯/チャネルが異なるため、IEEE802.11aでの通信はご利用になれません。IEEE802.11b、IEEE802.11g通信をご利用ください。
- バージョンアップ対応機種などの最新情報は、ホームページ AtermStationにてご確認ください。

索引

◎マークの項目については、ホームページに公開している機能詳細ガイドで説明しています。

[数字]

100BASE-TX / 10BASE-T 対応スイッチング HUB (4 ポート) ◎

[A ~ Z]

ACT ランプ 31, 32
AC アダプタ接続コネクタ 30, 34
ADSL モデム 19
AES 90
AIR ランプ 33
AIR1 ランプ 29
AIR2 ランプ 29
CATV ケーブルモデム 19
CD-ROM 5, 18, 27, 135
DATA ランプ 29
DHCP クライアント機能 ◎
DHCP サーバ機能 62, ◎
DMZ ホスティング 96, ◎
DNS
 ～フォワーディング ◎
ESS-ID ステルス機能
 (SSID の隠蔽) 91
ETHERNET ポート 30, 34
 ～インターフェース 137
 ～にパソコンを接続する つなぎかたガイド
ETHERNET ポート状態表示 LED 30, 34
FTTH 回線終端装置 19
IEEE802.11a 無線 LAN ◎
IEEE802.11b 無線 LAN ◎
IEEE802.11g 無線 LAN ◎
IPv6 ブリッジ機能 95
IP アドレス
 WAN 側～が正しく表示されない場合 121
 ～取得 37, 38, 39, 40
プロードバンドモ뎀の～と無線 LAN
 アクセスポイント（親機）の
 IP アドレスが同じとき 122, 125

IP パケットフィルタリング 96, ◎
JavaScript® 43
LINK ランプ 33
MAC アドレス
 ～フィルタリング機能 92, ◎
PC カードコネクタ 31
POWER ランプ 29, 33
PPPoE ブリッジ ◎
PPPoE ブリッジ機能 94, ◎
PPPoE マルチセッション 93, ◎
PPPoE モード つなぎかたガイド
PPP キープアライブ ◎
PPP ランプ 29
PWR ランプ 31
RESET スイッチ 30, 111
RIP ◎
TCP/IP 35, 37, 38, 39, 40
TKIP 90
TV 電話をする 96
UPnP 機能 96, ◎
USB コネクタ 32
VPN パススルー 96, ◎
WAN 側機能 ◎
WEP 90
WL54SC2 (無線 LAN カード) 31
 ～で無線 LAN 接続する 48
 ～をパソコンに取り付ける つなぎかたガイド
WL54SE2 (イーサネットコンバータ) 33
 ～で無線 LAN 接続をする 59
WL54SU2 (無線 USB スティック) 32
 ～で無線 LAN 接続する 48
 ～をパソコンに取り付ける つなぎかたガイド
WR7870S (無線 LAN アクセスポイント
 （親機）) 29
WWW ブラウザの設定 42

[ア行]

- アドバンスドNAT
 (IP マスカレード/NAPT) 23、
- アドバンスドNAT
 (ポートマッピング) 26、
- アドホック通信
- アドホックモード 22、
- 暗号化キー 90
- 安全にお使いいただくために 7
- インターネット
 ~に接続する つなぎかたガイド
- インターネット接続先の登録 つなぎかたガイド
- インターフェース 136～140
- オートチャネルセレクト 23
- 置き場所を決める 46
- オプション 141

[カ行]

- 回線契約 35
- 回線終端装置 19
- 外部にサーバを公開する
- 各部の名前とはたらき 29
- 管理者パスワード 63、86、107
 ~の設定
- 起動
 クイック設定 Web 86、87
 サテライトマネージャを~ 53
- 機能
 ~一覧 17
 ~詳細ガイド 17
- 「機能詳細ガイド」目次 17
- キャップ 32
- クイック設定 Web 85
 ~で初期化する 110
 ~で設定する 45、62
- ゲーム機を接続する 84
- 構成品 27
- 購入時の状態に戻す（初期化） 110、112
- ご利用開始後のトラブル 132

[サ行]

- サスペンド機能 48、49
- サテライトマネージャ 53
 ~で無線 LAN (子機)
 の通信の設定をする 53
 ～の設定
- ～の使い方 56
- ～を起動する 53
 ～をインストールする
 つなぎかたガイド
- 時刻設定
- 情報表示（装置情報、状態表示）
- 初期化 110、112
- シングルユーザアクセスモード
- スタンド 27
 ~を取り付ける 46
- 静的ルーティング
- 製品仕様 136
- セキュリティ機能 89
- 接続する
 インターネットに~ つなぎかたガイド
 ハブを~ 101
 他の無線 LAN 端末 (子機)
 から~ 102
- 無線 LAN ~ 48、59
- 無線 LAN 内蔵のゲーム機から~ 84
- 無線 LAN 内蔵パソコンから~ 67
- 無線動作モード 5GHz に~ 52、54
- ルータタイプの ADSL
 モデムやハブと~ 101
- 設置する 46、59
- 設置に関するトラブル 114
- 設定
 クイック設定 Web ~ 85
 無線 LAN アクセスポイントモード ~ 98
 ワイヤレスネットワークの~ 57、74
- 設定値の初期化 110、112
- 設定方法について 45
- ソフトウェアのご使用条件 5

[タ行]

- ダイナミックポート
 コントロール機能 ⑩
 縦置きスタンドを取り付ける 60
停止
 LAN カードまたは LAN ボード
 機能を～ 50、51、52
 ルータ機能を～ 97
できること 19
電源を接続する つなぎかたガイド
添付 CD-ROM に関するトラブル 135
動作モード つなぎかたガイド
登録
 インターネット接続先の～
 ～ つなぎかたガイド
ドライバをインストールする ⑩
トラブルシューティング 114

[ナ行]

- ネットワーク
 パソコンの～の確認 37
ネットワークゲーム 24
ネットワーク対応アプリケーション ⑩
ネットワーク名
 54、64

[ハ行]

- バージョンアップ 106
はじめに（マニュアル構成） 表紙裏
パソコンインターフェース ⑩
パソコンの準備 35
パソコンを接続する
 無線 LAN アクセスポイント（親機）に～
 ～ つなぎかたガイド
ファイアウォール 35
ファイルとプリンタの共有 ⑩
複数固定 IP サービス対応 ⑩
不正アクセス検出機能 ⑩
ブロードバンド接続ポート 30
ブロードバンド接続ポート
 状態表示 LED 30
 ～が点灯しないとき 115

- プロバイダ 35
別売りオプション 141
ポートマッピング 96、⑩
他の無線 LAN 端末（子機）から接続する
 Aterm シリーズ以外の
 無線 LAN 端末（子機） 104
 Aterm シリーズの
 無線 LAN 端末（子機） 102

[マ行]

- 無線 LAN アクセスポイント 29
無線 LAN アクセスポイント
 として使う 97
無線 LAN アクセスポイントモード
 97、⑩
 ～に設定する 98
無線 LAN 内蔵のゲーム機から接続する 84
無線 LAN 内蔵パソコンから接続する 67
無線暗号化 90
無通信監視タイマ ⑩
目次 15

[ヤ行]

- ユーティリティ ⑩
 ～に関するトラブル 126
 ～の使いかた ⑩
用語解説 ⑩

[ラ行]

- らくらく Web ウィザード つなぎかたガイド
らくらくスタートボタン（SET スイッチ）
 30、34、100
らくらく無線スタート つなぎかたガイド
らくらく無線スタート EX 68
ランプ表示 29、30、31、32、33、34
リセットスイッチ 34、112
ルータ機能 ⑩
ルータモード（ローカルルータモード）
 97、つなぎかたガイド

[ワ行]

- ワイヤレスネットワークの設定 57、74

● 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

● 輸出する際の注意事項

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。

● 廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。

● ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (5) セキュリティ対策をほどこさず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任はいっさい負いかねますのであらかじめご了承ください。
- (6) せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

END USER LICENSE AGREEMENT

1. License Grant and Limitations.

The End User License Agreement shall state that:

Licensee grants the end user ("End User") a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from: (i) copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User's archive procedures; (ii) transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application; (iii) modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code; (iv) exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and (v) using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User's rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.

2. Ownership; Disclaimers; Limitations of Liability.

In addition, the End User License Agreement shall: (i) state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownership of all copies of the Sublicensed Code; (ii) expressly disclaim all warranties; (iii) disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and (iv) exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.

3. Third Party Beneficiary.

The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following:

Third-Party Beneficiary. The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its principal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501 ("Wind River"), is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User's use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.

4. U.S. Government Use.

All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be "commercial computer software" and "commercial computer software documentation", respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be "technical data-commercial items" pursuant to DFAR Section 227.7015(a). Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).

5. Export Restrictions.

The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

ご注意

AtermStation ホームページアドレス

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。

最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの  必ずお読みください「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

NECアクセステクニカ株式会社

Aterm WR7870Sシリーズ取扱説明書 第1版

AM1-000623-001

2007年7月



* A M I - 0 0 0 6 2 3 - 0 0 1 V *